



令和7年度 国民スポーツ大会



第45回九州ブロック大会

実施要項



主催 | 公益財団法人日本スポーツ協会・九州各県・九州各県スポーツ協会・九州各県教育委員会
九州関係競技団体・開催市町・開催市町教育委員会
後援 | スポーツ庁・九州高等学校体育連盟・九州中学校体育連盟
主管 | 長崎県実行委員会・長崎県関係競技団体

この事業は、
競輪の補助金を受けて実施しています。

競輪の補助事業



目次

○ 第45回九州ブロック大会日程及び会場一覧	1
○ 第45回九州ブロック大会競技会場所在地一覧	4
○ 第45回九州ブロック大会会場交通手段一覧	5
○ 九州ブロック大会開催基準要項	6
○ 第45回九州ブロック大会総則	8
○ 第45回九州ブロック大会宿泊要項	11
○ 第45回九州ブロック大会諸納入金振込口座一覧	14
○ 第79回国民スポーツ大会総則抜粋	15

◆競技別実施要項

【前期競技】

(1) カヌー	26
(2) 水泳（水球・アーティスティックスイミング）	29
(3) テニス	32
(4) バレーボール（ビーチバレーボール）	34
(5) 馬術	36
(6) ボウリング	41
(7) ロールイング	44
(8) 体操（トランポリン・新体操・競技）	47
(9) ゴルフ	51
(10) スポーツクライミング	53
(11) 空手道	58

【後期競技】

(1) ハンドボール	60
(2) フットサル	62
(3) アスリート	65
(4) サッカー	67
(5) ボウリング	71
(6) ウエイトリフティング	76
(7) ソフトテニス	78
(8) 軟式野球	80
(9) 柔道	82
(10) ソフトボール	86
(11) バドミントン	88
(12) 弓道	90
(13) ライフル射撃	92
(14) 剣道	94
(15) 銃剣道	97
(16) なぎなた	99
(17) ホッケー	101
(18) バレーボール（6人制）	104
(19) バスケケットボール	106
(20) 卓球	109
(21) ラグビーフットボール	111

【冬季大会】

(1) アイスホッケー	115
-------------	-----

○ 長崎県競技団体事務局一覧	117
○ 長崎県実行委員会事務局	117
○ 参加監督・選手交代（変更）・棄権届	118
○ 参加監督・選手交代（変更）・棄権手続きにあたっての留意事項	119

令和7年度国民スポーツ大会第45回九州ブロック大会

前期競技 日程及び会場一覧

令和7年5月18日(日)～7月27日(日) (競技日◎ 練習日○ 予備日△ 設営日□)

競 技 名	種別・種目	5月							九州 代表 数	会 場 地 市 町 村	競技会場	練習会場
		14 (水)	15 (木)	16 (金)	17 (土)	18 (日)	19 (月)	20 (火)				
カヌー (カヌースラローム) (カヌーワイルドウォーター)	成年男子	スラローム カヤックシングル			□	○	◎		4	鹿児島県 湧水町	川内川轟の瀬特設カヌー競技場	同左
		スラローム カナディアンシングル			□	○	◎		1			
		ワイルドウォーター カヤックシングル			□	○	◎		1			
	成年女子	スラローム カヤックシングル			□	○	◎		3			
		スラローム カナディアンシングル			□	○	◎		1			
		ワイルドウォーター カヤックシングル			□	○	◎		1			

競 技 名	種別・種目	7月							九州 代表 数	会 場 地 市 町 村	競技会場	練習会場
		9 (水)	10 (木)	11 (金)	12 (土)	13 (日)	14 (月)	15 (火)				
水泳	アーティスティックスイミング	少 年 女 子				○	◎		2	長崎市	長崎市民総合プール	同左
テニス	成 年 男 子				○	◎	◎		6	長崎市	ベネックス総合運動公園かきど まり庭球場	同左
	成 年 女 子				○	◎	◎		5			
バレーボール	少 年 男 子				○	◎	◎		4	諫早市	結の浜マリンパーク	同左
	少 年 女 子				○	◎	◎		4			
馬術	成 年 男 子				○	◎	◎	△	13	諫早市	諫早ゆうゆうランド千拓の里馬 事公園	同左
	成 年 女 子				○	◎	◎	△	11			
	少 年				○	◎	◎	△	個人12 団体2			
ボウリング	成 年 男 子				○	◎	◎		4	諫早市	諫早パークレーン	同左
	成 年 女 子				○	◎	◎		4			
	少 年 男 子				○	◎	◎		4			
	少 年 女 子				○	◎	◎		4			

競 技 名	種別・種目	7月							九州 代表 数	会 場 地 市 町 村	競技会場	練習会場
		16 (水)	17 (木)	18 (金)	19 (土)	20 (日)	21 (月)	22 (火)				
ローイング	成年男子	舵手付きフォア			○	◎	◎		3	諫早市	本明川水上競技場	同左
		シングルスカル			○	◎	◎		3			
	成年女子	舵手付きクォドルブル			○	◎	◎		3			
		ダブルスカル			○	◎	◎		3			
	少年男子	シングルスカル			○	◎	◎		3			
		舵手付きクォドルブル			○	◎	◎		3			
		ダブルスカル			○	◎	◎		3			
	少年女子	舵手付きクォドルブル			○	◎	◎		4			
		ダブルスカル			○	◎	◎		2			
体操	成年男子	競技		□	□	○	◎		1	長崎市	長崎県立総合体育館	同左
	成年女子	競技		□	□	○	◎		1			
	少年男子	競技		□	□	○	◎		4			
	少年女子	競技		□	□	○	◎		4			
カヌー	スプリント	成年男子	カヤックシングル			□	○	◎	4	大分県 豊後高田市	豊後高田市 真玉B&G海洋センターカヌー場	同左
		成年男子	カナディアンシングル			□	○	◎	4			
		成年女子	カヤックシングル			□	○	◎	3			
		成年女子	カナディアンシングル			□	○	◎	1			
		少年男子	カヤックシングル			□	○	◎	5			
		少年男子	カヤックペア			□	○	◎	2			
		少年男子	カナディアンシングル			□	○	◎	4			
		少年男子	カナディアンペア			□	○	◎	2			
		少年女子	カヤックシングル			□	○	◎	4			
		少年女子	カヤックペア			□	○	◎	2			
ゴルフ	少 年 男 子			○	◎				5	大村市	大村湾カントリー倶楽部ニューコース	同左

競技名	種別・種目	7月							九州 代表 数	会 場 地 市 町 村	競技会場	練習会場
		21 (月)	22 (火)	23 (水)	24 (木)	25 (金)	26 (土)	27 (日)				
水泳	水球	少 年 男 子				○	◎	◎	1	長崎市	長崎市民総合プール	同左
	女 子					○	◎	◎	1			
体操	男子	トランポリン	○	◎					1	長崎市	長崎県立総合体育館	同左
	女子	トランポリン	○	◎					1			
	少年男子	新体操		□	○	◎	◎		1			
	少年女子	新体操		□	○	◎	◎		4			
スポーツクライミング	成 年 男 子					□	◎	◎	3	大村市	(26日リード競技) 長崎県立大村高等学校 (27日ボルダリング競技) グリーンおおむら	同左
	少 年 男 子					□	◎	◎	3			
	少 年 女 子					□	◎	◎	3			
空手道	成 年 男 子					○	◎		2	諫早市	諫早市小野体育館	同左
	成 年 女 子					○	◎		2			
	少 年 男 子					○	◎		2			
	少 年 女 子					○	◎		2			

令和7年度国民スポーツ大会第45回九州ブロック大会

後期競技 日程及び会場一覧

令和7年8月16日(土)～9月1日(月) (競技日◎ 練習日○ 予備日△ 設営日□)

競 技 名	種別・種目	8月							九州 代表 数	会 場 地 市 町 村	競技会場	練習会場
		14 (木)	15 (金)	16 (土)	17 (日)	18 (月)	19 (火)	20 (水)				
ハンドボール	成 年 男 子					○	◎	◎	2	佐世保市	佐世保市体育文化館	同左
	成 年 女 子					○	◎	◎	3			
	少 年 男 子	□	○	◎	◎				3			
	少 年 女 子	□	○	◎	◎				2			
フェンシング	成 年 女 子		○	◎	◎				2	島原市	島原復興アリーナ	同左
	少 年 男 子		○	◎	◎				2			
	少 年 女 子		○	◎	◎				3			
アーチェリー	成 年 男 子		□	○	◎				2	諫早市	長崎県立諫早東高等学校	同左
	成 年 女 子		□	○	◎				2			
	少 年 男 子		□	○	◎				4			
	少 年 女 子		□	○	◎				4			

競 技 名	種別・種目	8月							九州 代表 数	会 場 地 市 町 村	競技会場	練習会場
		20 (水)	21 (木)	22 (金)	23 (土)	24 (日)	25 (月)	26 (火)				
サッカー	成 年 男 子			○	◎	◎			3	島原市 雲仙市	島原市営平成町多目的広場 島原市営平成町人工芝グラウンド 島原市営陸上競技場 国見総合運動公園多目的芝生広場 長崎県立百花台公園サッカー場	同左
	少 年 男 子			○	◎	◎			4			
	少 年 女 子			○	◎	◎			3			
ボクシング	成 年 男 子	□	○	◎	◎	◎			4	雲仙市	雲仙市小浜体育館	同左
	女 子	□	○	◎	◎	◎			1 (＋1)			
	少 年 男 子	□	○	◎	◎	◎			4			
ウエイトリフティング	成 年 男 子		□	○	◎	◎			1～2位は2名 3～5位は1名	諫早市	諫早市小野体育館	同左
	少 年 男 子		□	○	◎	◎			1～6位は1名			
ソフトテニス	成 年 男 子			○	◎	◎			2	長崎市	ベネックス総合運動公園かきどまり庭球場	同左
	少 年 男 子			○	◎	◎			4			
	少 年 女 子			○	◎	◎			4			
軟式野球	成 年 男 子			○	◎	◎	△		5	長崎市	長崎県営野球場	SUNボールパークかきどまり
				○	◎	◎	△			諫早市	たちばなしんきんフィールド・オブ・ドリームス	たちばなしんきんボールパーク
柔道	成 年 男 子			□	○	◎			3	諫早市	諫早市中央体育館	同左
	少 年 男 子			□	○	◎			4			
ソフトボール	成 年 男 子		□	○	◎	◎	△		1	大村市 東彼杵町 諫早市	大村市総合運動公園	大村市鈴田運動広場 大村市森園運動広場 大村市野球場補助グラウンド 長崎県立大村城南高校 東彼杵町民グラウンド なごみの里運動公園ソフトボール場
	成 年 女 子		□	○	◎	◎	△		2		大村市野球場	
	少 年 男 子		□	○	◎	◎	△		2		大村市総合運動公園	
	少 年 女 子		□	○	◎	◎	△		2			
バドミントン	成 年 男 子		□	○	◎	◎			6	島原市	島原復興アリーナ	同左
	成 年 女 子		□	○	◎	◎			2			
	少 年 男 子		□	○	◎	◎			2			
弓道	成 年 男 子		□	○	◎	◎			4	大村市	大村市営弓道場	同左
	成 年 女 子		□	○	◎	◎			4			
	少 年 男 子		□	○	◎	◎			3			
	少 年 女 子		□	○	◎	◎			3			

競 技 名	種別・種目		8月							九州 代表 数	会 場 地 市 町 村	競技会場	練習会場
			20 (水)	21 (木)	22 (金)	23 (土)	24 (日)	25 (月)	26 (火)				
ライフル射撃	成年男子	FR3×20			○	◎				3	長崎市	長崎県小江原射撃場	同左
		FR60PR			○		◎			3			
		AP60			○		◎			4			
	成年女子	R3×20			○	◎				4			
		AR60W			○		◎			4			
		AP60W			○	◎				3			
	少年男子	AR60J			○		◎			4			
		BR60J			○	◎				3			
		BP60J			○	◎				3			
	少年女子	AR60WJ			○	◎				4			
		BP60WJ			○		◎			3			
剣道	成 年 女 子					○	◎			3	佐世保市	佐世保市東部スポーツ広場体育館	同左
	少 年 男 子					○	◎			3			
	少 年 女 子					○	◎			3			
銃剣道	少 年 男 子				○	◎				2	諫早市	諫早市飯盛体育館	同左
なぎなた	少 年 女 子					○	◎			5	松浦市	松浦市文化会館	松浦市立武道館

競 技 名		種別・種目	8月 / 9月							九州 代表 数	会 場 地 市 町 村	競技会場	練習会場
			27 (水)	28 (木)	29 (金)	30 (土)	31 (日)	1 (月)	2 (火)				
ホッケー		成 年 男 子		○	◎	◎	◎			1	佐世保市 川棚町	佐世保青少年の天地プレイグラウンド 川棚大崎自然公園交流広場	同左
		成 年 女 子		○	◎	◎	◎			1			
		少 年 男 子			○	◎	◎	◎		1			
		少 年 女 子			○	◎	◎	◎		1			
バレーボール	6人制	成 年 男 子			○	◎	◎			1	諫早市	諫早市小野体育館	諫早市森山スポーツ交流館
		成 年 女 子			○	◎	◎			1		諫早市中央体育館	諫早市飯盛体育館
		少 年 男 子			○	◎	◎			4	島原市	島原復興アリーナ	県立島原工業高等学校
		少 年 女 子			○	◎	◎			4			県立島原農業高等学校
バスケットボール		成 年 男 子			○	◎	◎			2	大村市	シーハットおおむら	同左
		成 年 女 子			○	◎	◎			2			
		少 年 男 子			○	◎	◎			4	長崎市	長崎県立総合体育館	
		少 年 女 子			○	◎	◎			4			
卓球		成 年 女 子			○	◎	◎			3	佐世保市	佐世保市体育文化館	同左
		少 年 男 子			○	◎	◎			2			
		少 年 女 子			○	◎	◎			5			
ラグビーフットボール		成 年 男 子		○	◎	○	◎			2	長崎市	ベネックス総合運動公園かきどまり運動広場(芝)	長崎市営ラグビー・サッカー場
		女 子		○	◎	○	◎			2		ベネックス総合運動公園かきどまり陸上競技場	ベネックス総合運動公園かきどまり運動広場(芝)
		少 年 男 子		○	◎	○	◎			2		ベネックス総合運動公園かきどまり陸上競技場 ベネックス総合運動公園かきどまり運動広場(芝)	ベネックス総合運動公園かきどまり補助競技場

令和7年度国民スポーツ大会第45回九州ブロック大会
冬季大会 日程及び会場一覧

令和7年12月6日(土)～12月7日(日) (競技日◎ 練習日○ 予備日△ 設営日□)

競 技 名	種別・種目		12月							九州 代表 数	会 場 地 市 町 村	競技会場	練習会場
			3 (水)	4 (木)	5 (金)	6 (土)	7 (日)	8 (月)	9 (火)				
アイスホッケー	成 年 男 子				○	◎	◎			4	福岡市	福岡県立総合アイススケートリンク	同左
	少 年 男 子				○	◎	◎			1 (+1)			

令和7年度国民スポーツ大会第45回九州ブロック大会 競技会場〈所在地一覧〉

【前 期 競 技】

競技名		種別	会場地	競技会場	住所	電話番号
カヌー	スラロームワイルドウォーター	全種別	鹿児島県湧水町	川内川轟の瀬特設カヌー競技場	鹿児島県始良郡湧水町恒次1674-1	
水泳	アーティスティックスイミング	少年女子	長崎市	長崎市民総合プール	長崎市松山町2-2	095-845-1212
テニス		全種別	長崎市	ベネックス総合運動公園かきどまり庭球場 (長崎市総合運動公園かきどまり庭球場)	長崎市柿泊町2210	095-843-8100
バレーボール	ビーチバレー	全種別	諫早市	結の浜マリナーパーク	諫早市飯盛町池下17-2	0957-48-2213
馬術		全種別	諫早市	諫早ゆうゆうランド干拓の里馬事公園	諫早市小野島町2232	0957-24-6776
ボウリング		全種別	諫早市	諫早パークレーン	諫早市天満町9-26	0957-23-1150
ローイング		全種別	諫早市	本明川水上競技場	諫早市川内町1933-1	0957-22-1500
体操		全種別	長崎市	長崎県立総合体育館	長崎市油木町7-1	095-843-6521
カヌー	スプリント	全種別	大分県豊後高田市	豊後高田市真玉B&G海洋センターカヌー場	大分県豊後高田市西真玉6636	0978-53-4733
ゴルフ		少年男子	大村市	大村湾カントリー倶楽部ニューコース	大村市東野岳町1420-1	0957-55-3131
水泳	水球	全種別	長崎市	長崎市民総合プール	長崎市松山町2-2	095-845-1212
スポーツクライミング	リード	全種別	大村市	長崎県立大村高等学校	大村市久原1-591	0957-52-2660
	ボルダリング	全種別		グリーンおおむら	大村市玖島1-15-1	0957-54-1011
空手道		全種別	諫早市	諫早市小野体育館	諫早市黒崎町170-3	0957-21-5150

【後 期 競 技】

競技名		種別	会場地	競技会場	住所	電話番号
ハンドボール		全種別	佐世保市	佐世保市体育文化館	佐世保市光月町6-17	0956-22-1522
フェンシング		全種別	島原市	島原復興アリーナ	島原市平成町2-1	0957-64-2344
アーチェリー		全種別	諫早市	長崎県立諫早東高等学校	諫早市森山町杉谷317	0957-36-1010
サッカー	全種別	島原市	島原市営平成町多目的運動広場	島原市平成町2-1	0957-64-2344	
			島原市営平成町人工芝グラウンド	島原市平成町1-1	0957-73-9333	
			島原市営陸上競技場	島原市上の原3-5643-7	0957-64-6256	
		雲仙市	国見総合運動公園多目的芝生広場	雲仙市国見町神代丙1230-1	0957-78-3331	
			長崎県立百花台公園サッカー場	雲仙市国見町多比良戊1448-4	0957-78-3545	
ボクシング	全種別	雲仙市	雲仙市小浜体育館	雲仙市小浜町マリーナ3-1	0957-74-3901	
ウエイトリフティング	全種別	諫早市	諫早市小野体育館	諫早市黒崎町170-3	0957-21-5150	
ソフトテニス	全種別	長崎市	ベネックス総合運動公園かきどまり庭球場 (長崎市総合運動公園かきどまり庭球場)	長崎市柿泊町2210	095-843-8100	
軟式野球	成年男子	長崎市	長崎県営野球場	長崎市松山町2-5	095-845-2259	
		諫早市	たちばなしんきんフィールド・オブ・ドリームス (スポーツパークいさはや第1野球場)	諫早市久山町2014-16	0957-25-4500	
柔道	全種別	諫早市	諫早市中央体育館	諫早市小船越町1048-2	0957-22-7766	
ソフトボール	成年男子	大村市 東彼杵町	大村市総合運動公園	大村市黒丸町5番1	0957-20-7200	
	成年女子		大村市野球場	大村市玖島1-25-3	0957-20-7200	
	少年男子		大村市総合運動公園	大村市黒丸町5番1	0957-20-7200	
	少年女子					
バドミントン	全種別	島原市	島原復興アリーナ	島原市平成町2-1	0957-64-2344	
弓道	全種別	大村市	大村市営弓道場	大村市幸町25番地180	0957-54-5128	
ライフル射撃	全種別	長崎市	長崎県小江原射撃場	長崎市小江原5-1-10	095-845-0108	
剣道	全種別	佐世保市	佐世保市東部スポーツ広場体育館	佐世保市浦川内町無番地	0956-39-5855	
銃剣道	少年男子	諫早市	諫早市飯盛体育館	諫早市飯盛町平古場266	0957-48-0910	
なぎなた	少年女子	松浦市	松浦市文化会館	松浦市志佐町浦免1110	0956-72-5758	
ホッケー	全種別	佐世保市	佐世保青少年の天地プレイグラウンド	佐世保市烏帽子町376	0956-23-9616	
		川棚町	川棚大崎自然公園交流広場	東彼杵郡川棚町小串郷217	0956-82-2661	
バスケットボール	成年男子	大村市	シーハットおおむら	大村市幸町25-33	0957-20-7200	
	成年女子					
	少年男子	長崎市	長崎県立総合体育館	長崎市油木町7-1	095-843-6521	
	少年女子					
バレーボール	6人制	成年男子	諫早市	諫早市小野体育館	諫早市黒崎町170-3	0957-21-5150
		成年女子		諫早市中央体育館	諫早市小船越町1048-2	0957-22-7766
		少年男子	島原市	島原復興アリーナ	島原市平成町2-1	0957-64-2344
		少年女子				
卓球		全種別	佐世保市	佐世保市体育文化館	佐世保市光月町6-17	0956-22-1522
ラグビーフットボール	成年男子	長崎市	ベネックス総合運動公園かきどまり運動広場(芝)(長崎市総合運動公園かきどまり運動広場)	長崎市柿泊町2210	095-843-8100	
	女 子		ベネックス総合運動公園かきどまり陸上競技場(長崎市総合運動公園かきどまり陸上競技場)	長崎市柿泊町2210	095-843-8100	
	少年男子		ベネックス総合運動公園かきどまり陸上競技場・運動広場(芝)(長崎市総合運動公園かきどまり陸上競技場・運動広場)	長崎市柿泊町2210	095-843-8100	

【冬 季 大 会】

競技名		種別	会場地	競技会場	住所	電話番号
アイスホッケー		全種別	福岡市	福岡県立総合プールのスケートリンク	福岡市博多区東平尾公園2-1-3	092-623-4400

令和7年度国民スポーツ大会第45回九州ブロック大会 競技会場〈交通手段一覧〉

【後 期 競 技】

競技名		種別	会場地	競技会場	鉄道				路線バス/路面電車				
					乗車駅	降車駅	運賃(片道)	降車後	乗車バス停	行先/経由	降車バス停	運賃(片道)	降車後
ハンドボール		全種別	佐世保市	佐世保市体育文化館	長崎	中佐世保	2130円	200m徒歩2分	長崎駅前	高速	佐世保駅前	1550円	1km徒歩10分
フェンシング		全種別	島原市	島原復興アリーナ	長崎	島原港	2100円	→	島原港駅前	加津佐海水浴場	復興アリーナ入口	160円	800m徒歩10分
アーチェリー		全種別	諫早市	長崎県立諫早東高等学校	長崎	諫早東高校	1040円	350m徒歩4分	長崎駅前	諫早駅前雲仙	諫早東高前	1350円	250m徒歩3分
サッカー		全種別	島原市	島原市営平成町多目的運動広場	長崎	島原港	2100円	→	島原港駅前	加津佐海水浴場	復興アリーナ入口	160円	800m徒歩10分
				島原市営平成町人工芝グラウンド	長崎	島原港	2100円	→	島原港駅前	加津佐海水浴場	復興アリーナ入口	160円	800m徒歩10分
				島原市営陸上競技場	長崎	島原港	2100円	2km徒歩25分					
			雲仙市	国見総合運動公園多目的芝生広場	長崎	神代	1590円	2.5km徒歩30分	長崎駅前	諫早駅前島原港	神代	1820円	3km徒歩35分
				長崎県立百花台公園サッカー場	長崎	多比良	1700円	7km車10分	長崎駅前	諫早駅前島原港	多比良駅前	1950円	7km徒歩10分
ボクシング		全種別	雲仙市	雲仙市小浜体育館	長崎	諫早	560円	→	諫早駅前	口之津	新小浜病院前	1050円	20m徒歩1分
ウエイトリフティング		全種別	諫早市	諫早市小野体育館	長崎	千拓の里	800円	400m徒歩5分	長崎駅前	諫早駅前雲仙	尾崎	310円	320m徒歩4分
ソフトテニス		全種別	長崎市	ベネックス総合運動公園かきどまり庭球場 (長崎市総合運動公園かきどまり庭球場)					長崎駅前	相川	長崎市運動公園前	330円	250m徒歩3分
軟式野球		成年男子	長崎市	長崎県営野球場					長崎駅前	赤迫	大橋	150円	200m徒歩3分
			諫早市	たちばなしんきんフィールド・オブ・ドリームス (スポーツパークいさはや第1野球場)	長崎	喜々津	450円	2km徒歩30分	長崎駅前	東厚生町	横島	700円	1.5km徒歩20分
柔道		全種別	諫早市	諫早市中央体育館	長崎	諫早	560円	1.7km徒歩20分	長崎駅前	諫早駅前新道地	競技場北口	1000円	180m徒歩2分
ソフトボール		成年男子	大村市 東彼杵町	大村市総合運動公園	長崎	大村車両基地	990円	2km徒歩30分	長崎駅前	黒丸入口	黒丸入口	920円	2km徒歩30分
		少年男子											
		少年女子		大村市野球場	長崎	大村	870円	→	大村駅前	諫早駅前	大村市役所	150円	315m徒歩4分
		成年女子											
バドミントン		全種別	島原市	島原復興アリーナ	長崎	島原港	2100円	→	島原港駅前	加津佐海水浴場	復興アリーナ入口	160円	800m徒歩10分
弓道		全種別	大村市	大村市営弓道場	長崎	大村	870円	→	大村駅前	諫早駅前	イオン大村店	150円	315m徒歩4分
ライフル射撃		全種別	長崎市	長崎県小江原射撃場					長崎駅前	相川	上小江原	270円	120m徒歩2分
剣道		全種別	佐世保市	佐世保市東部スポーツ広場体育館	長崎	早岐	1730円	→	早岐駅前	重尾	石浜	200円	800m徒歩10分
銃剣道		少年男子	諫早市	諫早市飯盛体育館	長崎	肥前古賀	340円	11km車24分	長崎駅前	江の浦	狩場	680円	1km徒歩15分
なぎなた		少年女子	松浦市	松浦市文化会館	長崎	松浦	4050円	100m徒歩1分					
ホッケー		全種別	佐世保市	佐世保青少年の天地プレイグラウンド	長崎	日宇	1930円	10.5km車20分					
			川棚町	川棚大崎自然公園交流広場	長崎	小串郷	1510円	3.5km車5分					
バスケットボール		成年男子	大村市	シーハットおおむら	長崎	大村	870円	→	大村ターミナル	南部循環	シーハット おおむら	160円	0m徒歩1分
		成年女子											
		少年男子	長崎市	長崎県立総合体育館					長崎駅前	下大橋	護国神社裏	160円	250m徒歩3分
バレーボール	6人制	成年男子	諫早市	諫早市小野体育館	長崎	千拓の里	800円	400m徒歩5分	長崎駅前	諫早駅前雲仙	尾崎	310円	320m徒歩4分
		成年女子		諫早市中央体育館	長崎	諫早	480円	1.7km徒歩20分	長崎駅前	諫早駅前新道地	競技場北口	1000円	180m徒歩2分
		少年男子	島原市	島原復興アリーナ	長崎	島原港	2100円	→	島原港駅前	加津佐海水浴場	復興アリーナ入口	160円	800m徒歩10分
		少年女子											
卓球		全種別	佐世保市	佐世保市体育文化館	長崎	中佐世保	2130円	200m徒歩2分	長崎駅前	高速	佐世保駅前	1550円	1km徒歩10分
ラグビーフットボール		成年男子	長崎市	ベネックス総合運動公園かきどまり運動広場(芝)(長崎市総合運動公園かきどまり運動広場)					長崎駅前	相川	長崎市運動公園前	330円	250m徒歩3分
		女 子		ベネックス総合運動公園かきどまり陸上競技場(長崎市総合運動公園かきどまり陸上競技場)					長崎駅前	相川	長崎市運動公園前	330円	250m徒歩3分
		少年男子		ベネックス総合運動公園かきどまり陸上競技場・運動広場(芝)(長崎市総合運動公園かきどまり陸上競技場・運動広場)					長崎駅前	相川	長崎市運動公園前	330円	250m徒歩3分

国民スポーツ大会九州ブロック大会開催基準要項

1 名 称

本大会は、令和〇年度国民スポーツ大会第〇〇回九州ブロック大会（以下「大会」という。）と称する。

2 主 旨

九州地区住民のスポーツに対する関心を高め、スポーツ活動を通して、健康増進と体力の向上を図り、相互の友好と親善を深め、健康で文化的な生活の確立に寄与するとともに、国民スポーツ大会九州ブロックの代表を選出する。

3 主 催

主催は、公益財団法人日本スポーツ協会、九州各県、九州各県スポーツ協会、九州各県教育委員会、九州関係競技団体、開催市町及び教育委員会とする。

4 後 援

後援は、スポーツ庁、九州高等学校体育連盟、九州中学校体育連盟とする。

5 主 管

主管は、大会の開催県実行委員会、開催県関係競技団体とする。

6 大会の開催

- (1) 大会は、昭和56年度から毎年開催し、福岡県・宮崎県・熊本県・大分県・長崎県・佐賀県・鹿児島県・沖縄県の順序で各県持ち回り開催とする。但し、三巡目からは、福岡県・熊本県・宮崎県・大分県・長崎県・鹿児島県・佐賀県・沖縄県の順序とする。四巡目からは、福岡県・熊本県・大分県・宮崎県・長崎県・鹿児島県・佐賀県・沖縄県の順序とする。なお、開催方式、順序については、九州地区スポーツ協会連絡協議会の了承を得て変更することができる。
- (2) 主管県で開催困難な競技については、他県の会場で実施することができる。

7 開催の時期と期間

時期は、当該年度の国民スポーツ大会本大会並びに冬季大会の参加申し込み等の締切り期日を考慮して設定し、原則として前期競技、冬季大会は2日間、後期競技は3日間とする。

8 実施競技

国民スポーツ大会ブロック予選会のある競技で、前期競技及び後期競技並びに冬季大会を原則とするが、将来、県単独大会出場競技も含めて開催するようにする。

9 参加人数

各競技の参加人員は、当該年度の国民スポーツ大会実施要項に準ずる。

10 競技方法

- (1) 競技方法は、別に定める実施要項による。
- (2) 前期競技・後期競技は、競技別実施要項において、熱中症事故防止のための予防対策を明記する。

11 参加資格

監督、選手の参加資格については、国民スポーツ大会実施要項総則の5に示された資格とする。

12 大会役員

大会役員は、開催県が決定する。但し、基準は別に定める。

13 選手団役員編成基準

団長、副団長、総監督、総務とし、前期競技、冬季大会は5名以内、後期競技は15名以内とするが、他に顧問として、前期競技、冬季大会は3名以内、後期競技は5名以内を加えることができる。

14 実施要項並びに参加申込み

- (1) 実施要項は、開催県スポーツ協会が開催競技団体と協議のうえ、原案を作成し、大会開催当該年度の九州地区スポーツ協会連絡協議会で決定する。
- (2) 実施要項及び参加申込書は開催県が作成し、大会開催の2ヶ月前までに各県スポーツ協会あて送付する。
- (3) 参加申込書は、所定の用紙を用い、各県スポーツ協会が一括して開催県実行委員会事務局あてに申込むものとする。
- (4) 申込み期限は、大会開催の3週間前を原則とする。

15 参加料

- (1) 大会に参加する選手団は、所定の参加料を納入する。
- (2) 参加料は、申込みと同時に各県スポーツ協会が一括して納入する。

16 大会の式典

開閉会式は、競技毎に各会場で行う。

17 表 彰

表彰は、大会会長名で行う。

18 プログラム

プログラムは、開催県実行委員会で作成する。総合プログラム及び競技別プログラムは九州ブロック大会専用ホームページに掲載する。また、競技別プログラムは、各競技の参加申し込み締め切り後10日以内に各県スポーツ協会に送付する。

19 経 費

大会の経費は、各県分担金、各県競技団体負担金、公益財団法人日本スポーツ協会委託金、参加料並びに寄付金等をもって充てる。

20 宿 泊

宿泊要項は、開催県で作成し、各県に通知する。

21 大会実行委員会の設置

- (1) 開催県スポーツ協会に、大会実行委員会を設置する。
- (2) 大会実行委員会の組織構成等については、別に定める。

22 実績報告書

開催県スポーツ協会は、大会終了後、大会実績報告書を作成する。

[付 則]

- ・本要項は、昭和55年8月7日制定
昭和61年 4月18日改定
昭和62年12月 3日改定 ただし、夏季大会については平成元年度から実施する。
平成 4年 4月16日改定
平成 5年11月24日改定 ただし、冬季大会については平成6年度から実施する。
平成 7年11月27日改定
平成14年 4月11日改定
平成19年 4月13日改訂（参加章の廃止）
平成20年 4月10日改定（九州中学校体育連盟の役員編成基準の変更）
平成24年11月 8日改訂
平成31年 4月 4日改定
令和 3年 4月 9日改定
令和 5年 4月12日改定（総合開会式の廃止、総合プログラム印刷の廃止）
令和 5年11月 9日改定

令和7年度国民スポーツ大会第45回九州ブロック大会 総 則

(開催の趣旨)

九州地区住民のスポーツに対する関心を高め、スポーツ活動を通して、健康増進と体力の向上を図り、相互の友好と親善を深め、健康で文化的な生活の確立に寄与するとともに、第79回国民スポーツ大会及び第80回国民スポーツ大会冬季大会の九州ブロック代表を選出する。

1 主 催

公益財団法人日本スポーツ協会・九州各県・九州各県スポーツ協会・九州各県教育委員会・九州関係競技団体・開催市町及び教育委員会

2 後 援

スポーツ庁・九州高等学校体育連盟・九州中学校体育連盟

3 主 管

令和7年度国民スポーツ大会第45回九州ブロック大会長崎県実行委員会・長崎県関係競技団体

4 大 会

大会を前期競技・後期競技及び冬季大会に分ける。

5 実施競技

期 別	競 技 名
前期競技	水泳(アーティスティックスイミング・水球) テニス、ローイング、バレーボール(ビーチバレーボール)、体操(新体操、トランポリン、競技) 馬術、スポーツクライミング、カヌー(スラローム・ワイルドウォーター・スプリント)、空手道(形)、ボウリング、ゴルフ (11競技)
後期競技	サッカー、ボクシング、ホッケー、バレーボール(6人制)、バスケットボール、ウエイトリフティング、ハンドボール、ソフトテニス、卓球、軟式野球、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、アーチェリー、銃剣道、なぎなた (21競技)
冬季大会	アイスホッケー (1競技)

6 競技日と会場地

前期競技	競技日	令和7年 5月18日(日)	カヌー(スラローム・ワイルドウォーター)
		令和7年 7月12日(土)～13日(日)	水泳(アーティスティックスイミング)他4競技
		令和7年 7月18日(金)～20日(日)	ローイング 他3競技
		令和7年 7月22日(火)～27日(日)	水泳(水球) 他3競技
後期競技	会場地	長崎市、佐世保市、諫早市、大村市、大分県豊後高田市、鹿児島県湧水町	
	競技日	令和7年 8月16日(土)～20日(水)	ハンドボール 他 2競技
		令和7年 8月22日(金)～24日(日)	サッカー 他 12競技
		令和7年 8月29日(金)～9月1日(月)	ホッケー 他 4競技
冬季大会	会場地	長崎市、佐世保市、島原市、諫早市、大村市、雲仙市、松浦市、東彼杵町、川棚町	
	競技日	令和7年12月6日(土)～7日(日)	アイスホッケー
	会場地	福岡県福岡市	

7 競技方法

競技別実施要項に示す方法とする。

8 参加資格

監督・選手の参加資格については、第79回国民スポーツ大会及び第80回国民スポーツ大会冬季大会実施要項総則5に示された資格とする。

9 表彰

各競技の各種別（部）又は、各種目の第1位から第3位までに賞状を授与する。

10 参加申込み方法

(1) 所定のWEBページ（国民スポーツ大会参加申込受付窓口）へアクセスし、必要項目を入力の上、当該県スポーツ協会を通じて、下記の申込期限までに手続きを完了すること。

(2) 申込期限

期 別	期 限	競 技 名
前期競技	令和7年 4月25日（金）	カヌー（スラローム・ワイルドウォーター）
	令和7年 6月13日（金）	水泳（アーティスティックスイミング）、テニス、バレーボール（ビーチバレーボール）、馬術、ボウリング
	令和7年 6月20日（金）	ローイング、体操（競技）、カヌー（スプリント）、ゴルフ
	令和7年 6月27日（金）	水泳（水球）、体操（新体操、トランポリン）、スポーツクライミング、空手道
後期競技	令和7年 7月25日（金）	ハンドボール、フェンシング、アーチェリー
	令和7年 8月 1日（金）	サッカー、ボクシング、ウエイトリフティング、ソフトテニス、軟式野球、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、銃剣道、なぎなた
	令和7年 8月 8日（金）	ホッケー、バレーボール（6人制）、バスケットボール、卓球、ラグビーフットボール
冬季大会	令和7年11月14日（金）	アイスホッケー

(3) 申込み後の選手交代は、特別な事情がない限り認めない。なお、特別な事情で選手を交代する場合は、長崎県実行委員会及び長崎県関係競技団体あて所定の様式で届けなければならない。

11 参加料

各県スポーツ協会は、各県選手団の参加料一人500円を取りまとめ、参加申込みと同時に一括して、下記あてに納入すること。

なお、本部役員の参加料については、九州ブロック大会を前期競技と後期競技を1大会、冬季大会を1大会とし、2大会とする。よって、前期競技・後期競技、冬季大会に参加しても、2大会分の参加料（1,000円）を徴収することとする。

十八親和銀行	城山支店	普通預金口座	No. 5013953
第45回九州ブロック大会長崎県実行委員会		事務局長	吉田 昌平

12 宿泊申込み方法

宿泊要項に従い申込みこと。

13 宿泊料等

別紙：宿泊要項の「3（1）宿泊料金」を参照。

14 各県選手団、本部役員編成

団長、副団長、総監督及び総務とし、前期競技・冬季大会は5名以内、後期競技は15名以内とする。他に顧問として、前期競技・冬季大会は3名以内、後期競技は5名以内を加えることができる。

15 各県分担金及び各県競技団体負担金

各県分担金（250万円）の納入は、令和7年5月8日（木）までとする。また、各県競技団体負担金（1種別3,000円）については、各県スポーツ協会に取りまとめ、参加申込みと同時に一括して下記あてに納入すること。

十八親和銀行	城山支店	普通預金口座	No. 5013953
第45回九州ブロック大会長崎県実行委員会 事務局長 吉田 昌平			

16 参加上の注意

- (1) 各県監督、選手は競技に際し、所属県名を明示しなければならない。
- (2) 健康診断は、事前に全選手に実施しておくこと。

17 個人情報及び肖像権に関わる取り扱い

個人情報及び肖像権に関わる取り扱いについては、第79回国民スポーツ大会実施要項総則16及び第80回国民スポーツ大会冬季大会実施要項総則16に準ずるものとする。

18 開始式・表彰式

競技別開始式並びに表彰式は、競技毎に会場で行う。

19 競技会実施

第79回国民スポーツ大会実施要項総則20（2）に準ずるものとする。

20 プログラム編成・組合せ

プログラム編成は、長崎県各競技団体、また、組合せは九州競技団体の責任において行い、次の期日までに長崎県実行委員会事務局へ提出すること。

期 別	期 日	競 技 名
前期競技	令和7年 4月28日（月）	カヌー（スラローム・ワイルドウォーター）
	令和7年 6月16日（月）	水泳（アーティスティックスイミング）、テニス、バレーボール（ビーチバレーボール）、馬術、ボウリング
	令和7年 6月23日（月）	ローイング、体操（競技）、カヌー（スプリント）、ゴルフ
	令和7年 6月30日（月）	水泳（水球）、体操（新体操、トランポリン）、スポーツクライミング、空手道
後期競技	令和7年 7月28日（月）	ハンドボール、フェンシング、アーチェリー
	令和7年 8月 4日（月）	サッカー、ボクシング、ウエイトリフティング、ソフトテニス、軟式野球、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、銃剣道、なぎなた
	令和7年 8月11日（月）	ホッケー、バレーボール（6人制）、バスケットボール、卓球、ラグビーフットボール
冬季大会	令和7年11月17日（月）	アイスホッケー

21 その他

参加申込み、参加料、宿泊申込みが、定められた期限までに完了しない場合は、原則として本大会への参加を認めない。

令和7年度国民スポーツ大会第45回九州ブロック大会 宿 泊 要 項

1 総 則

- (1) 令和7年度国民スポーツ大会第45回九州ブロック大会（以下「大会」という。）長崎県実行委員会（以下「委員会」という。）は、大会宿泊基本方針に基づき、大会の宿泊に関する必要な事項をこの要項に定める。
- (2) この要項の適用対象者は、大会に参加する監督・選手・役員（以下「参加者」という。）とし、参加者がそれぞれの分野で十分な活躍が出来るような快適な宿舎を提供する。
- (3) 宿泊に関する紛議等が生じた場合は、委員会が調停斡旋にあたることとする。

2 宿泊の選定と宿泊

- (1) 選手・監督は、原則として配宿に従い宿泊するものとする。
- (2) 参加者の宿泊は、原則として旅館・ホテル及び公共の宿泊施設とし、風紀、衛生上支障があると認められる施設は使用しない。
- (3) 参加者の宿泊は、なるべく実施会場に近い周辺に選定する。
- (4) 宿舎の斡旋は、委員会指定の「名鉄観光サービス株式会社長崎支店」が行う。
- (5) 指定した宿舎の変更は、原則として認めない。任意に変更したことによって生じた全ての紛議及び損失は、任意に変更した者が責任を負う。
※宿泊の選定上、1泊朝食を基本としている宿泊施設を斡旋されることもある。

3 宿泊料金等

宿泊料金、適用期間等は、次のとおりとする。

- (1) 宿泊料金 ※ただし、入湯税・宿泊税は含まれないので、精算時に支払うこと。

料金等 区分	ランク	宿泊料金（消費税10%込み）				
		1泊2食	1泊夕食	1泊朝食	素泊料金	
監督・選手・ 大会参加者	A	9,000円	8,120円	7,130円	6,250円	入湯税及び 宿泊税別
	B	10,000円	9,120円	8,130円	7,250円	
	C	11,000円	10,120円	9,130円	8,250円	
	D	12,000円	11,120円	10,130円	9,250円	
	E	13,000円	12,120円	11,130円	10,250円	

- (2) 食事条件について
 - ア 宿泊とは、入宿日の15時以降、出発日の10時までとする。
 - イ 素泊とは、食事を伴わない宿泊をいう。
 - ウ その他上記表に設定が無い食事条件については個別対応とする。
- (3) 欠食控除
朝食を欠食する場合は前日の18時まで、夕食を欠食する場合は当日の9時まで、に宿舎に申し出た場合に限り、それぞれの食事料金を控除する。
- (4) 宿泊料金等の精算
宿泊責任者又は本人が原則として毎日宿舎に支払うものとする。ただし、監督、選手及び県本部役員にあっては、出発日に精算することができる。
- (5) 適用期間
宿泊料金等の適用期間は、原則として大会開催3日前から終了後2日までとする。

4 宿泊申込み

各競技団体責任者は、Web入力により期限内に申し込むこと。各県スポーツ協会は、各競技団体の申込みについて承認し、把握すること。

期別	競技名	申込期限	申込先
前期 競技	カヌー (スラローム・ワイルドウォーター)	令和7年 4月25日(金)	宿泊申込専用アドレス https://r7kyushu-kokuspo.com 上記HPの二次元コード 
	水泳(アーティスティックスイミング) テニス バレーボール(ビーチバレー) 馬術、ボウリング	令和7年 6月13日(金)	
	ローイング、体操(競技) カヌー(スプリント)、ゴルフ	令和7年 6月20日(金)	
	水泳(水球)、 体操(トランポリン・新体操) スポーツクライミング、空手道	令和7年 6月27日(金)	
	ハンドボール フェンシング、アーチェリー	令和7年 7月25日(金)	
	サッカー、ボクシング ウエイトリフティング ソフトテニス、軟式野球 柔道、ソフトボール バドミントン、弓道 ライフル射撃、剣道 銃剣道、なぎなた	令和7年 8月 1日(金)	
後期 競技	ホッケー、バスケットボール バレーボール(6人制) 卓球、ラグビーフットボール	令和7年 8月 8日(金)	(問い合わせ先) 名鉄観光サービス(株) 長崎支店 〒850-0033 長崎県長崎市万才町4-15 日本生命ビル新館4階 Tel : 095-824-1200 Mail : kyushu-sports@mwt.co.jp 営業時間 : 月～金 10:00～17:00
	冬季 大会	アイスホッケー	令和7年 11月14日(金)

5 宿泊の変更及び取消し

- (1) 宿泊申込み期限までは、宿泊申込み代表者がWeb入力により変更及び取消しを行うこととする。
- (2) 宿泊申込み締切後から配宿決定通知受領までの期間は変更及び取消は受付不可とする。
- (3) 配宿決定通知受領後においては、宿泊責任者が直接当該宿舎へ申し出ることとし、その効力の発生は、申し出のあった日時とする。

6 宿泊取消料

- (1) 宿泊取消料は次のとおりとし、宿泊責任者又は本人が当該宿舎へ直接支払うものとする。

取消し申出区分	取消料
宿泊予定日(初泊)の8日前まで	無料
宿泊予定日(初泊)の7日前以降2日前まで	宿泊料金の30%
宿泊予定日(初泊)の前日まで	宿泊料金の40%
宿泊予定日(初泊)の当日14時まで	宿泊料金の50%
宿泊予定日(初泊)の当日14時以降 又は無連絡不参加	宿泊料金の全額

(注) 取り消した泊数にかかわらず、一人につき1泊分の取り消し料のみとする。

- (2) 監督、選手が競技会開始後において、競技の都合、または荒天により宿泊を取消す場合及び各県本部役員が当該県の競技結果において取消す場合は、上記の定めにかかわらず次のとおりとする。

取 消 し 申 出 区 分	取 消 料
宿泊取消を申し出た当日	宿泊料金の全額
宿泊取消を申し出た翌日以降	不要

- (3) 宿泊責任者又は本人が取消料を支払うことができない場合は、宿泊申込み代表者が最終責任を負うものとする。

7 食 事

参加者に提供する食事は、衛生的で栄養的にも調和がとれ、しかも郷土色を加味したものとする。

(1) 昼 食

ア 原則として折り詰め弁当とし、800円〈お茶付き、消費税（軽減税率8%）込み〉で斡旋する。

※ただし、弁当の対応については、試合日のみとし練習日の対応は行わない。

イ 弁当の調達については、「名鉄観光サービス株式会社長崎支店」に一任する。

ウ 食中毒防止の観点から弁当業者が指定する時間までに摂ること。

エ 弁当を取り消す場合は次のとおりとする。

取 消 し 申 出 区 分	取 消 料
昼食予定日の前日の15時まで	無 料
昼食予定日の前日15時以降から当日	昼食代全額

(2) 食事時間

食事の時間は次のとおりとし、競技の都合で時間外にする場合は、宿舎に申し出ること。

■ 朝食：7時～9時

■ 夕食：18時～20時

8 その他

(1) 宿泊の決定については、Web上で通知する。

(2) 貴重品の取扱いについては、盗難防止の観点から、十分配慮することとする。

(3) 指定宿舎は、大会名、競技名、県名を明記した表示をするほか、適宜歓迎の意を表すものとする。

(4) 食中毒防止のため、外部からの食品の持ち込みをしないこととする。

令和7年度国民スポーツ大会第45回九州ブロック大会
諸納入金振込口座一覧

納 入 金	納 入 期 限	振 込 口 座 名	金 額
各県分担金	5月8日（木）	十八親和銀行 城山支店 普 通 預 金 口 座 No. 5 0 1 3 9 5 3 第45回九州ブロック大会 長 崎 県 実 行 委 員 会 事 務 局 長 吉 田 昌 平	2,500,000円
参 加 料	・前期競技 6月27日（金） ・後期競技 8月 8日（金）		1人500円 × 参加者数
各県競技団体 負担金	・冬季大会 11月14日（金）		1種別3,000円 × 参加種別

【事務局所在地】

〒852-8118

長崎県長崎市松山町2-5 長崎県営野球場内

公益財団法人長崎県スポーツ協会内

令和7年度国民スポーツ大会第45回九州ブロック大会長崎県実行委員会事務局

TEL: 095-845-2083 FAX: 095-848-7749

メールアドレス: kyuburo@nagasaki-ken-sports.com

第79回国民スポーツ大会総則抜粋

5 参加資格、所属都道府県および選手の年齢基準

選手および監督の参加資格、所属都道府県および選手の年齢基準は、次のとおりとする。

なお、参加資格については、「第79回国民スポーツ大会参加資格、所属都道府県および年齢基準等の解釈・説明」を併せて確認すること。

【公益財団法人日本スポーツ協会ホームページ <http://www.japan-sports.or.jp/>】

(1) 参加資格

ア 日本国籍を有する者であることとするが、選手および監督のうち、次の者については、日本国籍を有しない者であっても、大会に参加することができる。

(ア) 「出入国管理および難民認定法」に定める在留資格のうち「永住者」（「日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法」に定める「特別永住者」を含む。）

(イ) 少年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

a 「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍する学生または生徒で、「8 参加申込方法」で定めた参加申込締切時に1年以上在籍していること。

b 「出入国管理および難民認定法」に定める在留資格のうち、「留学」、「家族滞在」または「定住者」に該当していること。

(ウ) 成年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

a 少年種別年齢域にあった時点において前号(イ)に該当していた者であること。

b 「出入国管理および難民認定法」に定める在留資格のうち、大会参加時から終了時まで「留学」に該当しないこと。

[注] 上記(ウ)bについて、大学および専修学校等に在籍する成年種別の年齢域に該当する者は、「出入国管理および難民認定法」に定める「留学」以外の在留資格を有する場合も「留学」と同等に扱う。

イ 選手および監督は、所属都道府県の当該競技団体会長（代表者）とスポーツ協会会長（代表者）が代表として認め、選抜した者であること。

ウ 2023年開催の特別大会または第78回大会（都道府県大会およびブロック大会を含む）において選手または監督として参加した者は、次の場合を除き、2023年開催の特別大会または第78回大会と異なる都道府県から参加することはできない。

(ア) 成年種別

a 「学校教育法」第1条に規定する学校を卒業した者

b 結婚または離婚に係る者

[注] aおよびbは当該要件発生後、初めて参加するものに限る。

c ふるさと選手制度を活用する者（別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」による。）

[注] 別記3「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

d 東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者（別記5「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

e 能登半島地震に係る参加資格特別措置を活用する者（別記6「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

(イ) 少年種別

- a 「学校教育法」第1条に規定する学校を卒業した者
- b 結婚または離婚に係る者
- c 一家転住に係る者（別記2「『一家転住等』に伴う特例措置」による。）
[注] aからcは当該要件発生後、初めて参加するものに限る。
- d JOCエリートアカデミーに在籍する者（別記3「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」による。）
- e 東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者（別記5「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）
- f 能登半島地震に係る参加資格特別措置を活用する者（別記6「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

エ 選手と監督の兼任は、同一種別内に限る。

オ 選手および監督は、回数を同じくする大会において、冬季大会および本大会にそれぞれ1競技に限り参加できる。

カ 選手および監督は、回数を同じくする大会において、異なる都道府県から参加することはできない。

キ 選手、監督ならびに本部役員帯同のスポーツドクターおよびアスレティックトレーナーは、大会参加前の1年以内に公益財団法人日本スポーツ協会（以下「日本スポーツ協会」という。）が指定するアンチ・ドーピング教育を受講し、「国スポ本戦出場前のアンチ・ドーピング教育履歴」に記載した者であること。

ク 上記のほか、選手については次のとおりとする。

- (ア) 都道府県大会およびブロック大会に参加し、これを通過した者であること。
- (イ) 健康診断を受け、競技会への参加に支障がない者であること。
- (ウ) ドーピング検査対象に選定された場合は、検査を受けなければならない。

ケ 上記のほか、監督については日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく競技別指導者資格を有する者とし、監督が不在の場合選手は参加することができない。各競技における対象資格については当該競技実施要項によるものとする。

(2) 所属都道府県

所属都道府県は、当該競技団体が限定する場合を除き、次のいずれかが属する都道府県から選択することができる。

ア 成年種別

- (ア) 居住地を示す現住所
- (イ) 勤務地
- (ウ) ふるさと（別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」による。）

[注] 別記3「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

イ 少年種別

- (ア) 居住地を示す現住所
- (イ) 「学校教育法」第1条に規定する学校の所在地（以下「学校所在地」という。）
- (ウ) 勤務地

(エ) 別記3「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」に定める小学校の所在地

※ 「居住地を示す現住所」、「勤務地」、「学校所在地」のいずれかから参加する場合は、2025年

4月30日以前から本大会終了時（2025年10月8日）まで、引き続き当該地に、それぞれ居住、勤務、または通学していなければならない。ただし、次の者はこの限りではない。

[成年種別]

- a 別記4「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- b 別記5「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- c 別記6「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

[少年種別]

- a 別記2「『一家転住等』に伴う特例措置」の適用を受ける者
- b 別記4「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- c 別記5「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- d 別記6「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

(3) 選手の年齢基準

ア 選手の年齢基準については、下記を原則とする。

(ア) 成年種別に参加する者は、2007年4月1日以前に生まれた者とする。

(イ) 少年種別に参加する者は、2007年4月2日から2010年4月1日までに生まれた者とする。

(ウ) 年齢を区分している種別へ参加する者の年齢計算は、2025年4月1日を基準とする。

イ 日本スポーツ協会が特に認める場合は、上記アにかかわらず、競技ごとに年齢区分を設定することができる。ただし、年齢の下限は中学3年生（2010年4月2日から2011年4月1日までに生まれた者）とする。

(4) 前記の各事項に疑義のあるときは、日本スポーツ協会および当該競技団体が調査・審議のうえ、日本スポーツ協会がその可否を決定する。

16 個人情報および肖像権に関わる取り扱い

日本スポーツ協会、わたSHIGA輝く国スポ・障スポ実行委員会、わたSHIGA輝く国スポ・障スポ各競技会場地市町実行委員会および国民スポーツ大会実施競技中央競技団体（以下「国スポ関係機関・団体」という。）は、参加申込等を通じて取得する個人情報および肖像権の取り扱いに関して以下のとおり対応するものとする。

(1) 個人情報の取り扱い

ア 利用目的

大会参加申込として国民スポーツ大会参加申込システムへ登録された個人情報は、国スポ関係機関・団体において、参加資格の確認や競技組合せなどをはじめとする大会運営業務のために利用し、目的以外に利用しない。

イ 公表の範囲と方法

個人情報のうち、所属都道府県、氏名、性別、年齢、学校名、チーム名等、所属と個人を識別するために必要な情報については、以下の方法等により公表することがある。

(ア) 総合プログラムおよび競技別プログラムへの掲載

(イ) 競技会場内におけるアナウンス等による紹介

(ウ) 競技会場内外の掲示板等への掲載

(エ) 大会関連ホームページへの掲載

(オ) 報道機関への提供

ウ 競技結果（記録）等

競技結果（記録）については、上記イで定めた個人情報とともに、以下の方法等により公表することがある。

(ア) わたSHIGA輝く国スポ・障スポ実行委員会が設置する記録本部を通じた公開

(イ) 国スポ関係機関・団体および報道機関等による新聞・雑誌および関連ホームページ等への掲載

(ウ) 国スポ関係機関・団体が作成する大会報告書等への掲載

(エ) 次回以降の大会プログラムへの掲載【新記録、優勝および上位入賞結果（記録）等】

(2) 肖像権に関する取り扱い

ア 写真

国スポ関係機関・団体またはこれらに認められた報道機関等によって撮影された写真が、新聞・雑誌・報告書および関連ホームページ等で公開されることがある。

イ 写真（写真撮影企業等）

国スポ関係機関・団体に認められた写真撮影企業等によって撮影された写真等が販売されることがある。

なお、各競技・会場における販売の有無等の詳細は、当該中央競技団体を中心に対応する。

ウ 映像

国スポ関係機関・団体またはこれらに認められた報道機関等によって撮影された映像が、中継・録画放映およびインターネットによって配信されることがある。また、DVD等に編集され、販売・配付されることがある。

(3) 対応

ア 承諾の確認

大会参加申込として国民スポーツ大会参加申込システムへ登録された時点で、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

なお、各競技会における取り扱いに伴い、別途、当該中央競技団体等によって個別に承諾を確認することがある。

イ 役員等

大会役員、競技役員、運営役員、その他各種委員や補助員、国スポ関係機関・団体と大会に関する契約をしている者および大会運営関係者については、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

17 都道府県大会およびブロック大会

正式競技については、本大会の予選として次のとおり都道府県大会（ブロック大会）を開催しなければならない。

(1) 都道府県の主催団体は、必要に応じて日本スポーツ協会および中央競技団体等関係団体と協議の上、本要項に基づき実施要項を作成する。

なお、日本スポーツ協会および中央競技団体は、その内容に不備がある場合、適宜指導を行うものとする。

(2) 都道府県大会の実施にあたり、当該都道府県主催団体は、適正な手続きに則り決定した代表選手の選抜方法・選考基準について、予め関係者に周知徹底を図るものとする。

(3) 参加者は、実施要項に基づき当該主催団体に申込む。

なお、参加は1人1競技に限る。

(4) ブロック大会の申込みは、原則として国民スポーツ大会参加申込システムにより行い、様式は日本スポーツ協会および当該主催団体が協議の上、作成する。

なお、参加申込システムを使用しない場合の様式については、当該主催団体において別途作成する。

(5) 都道府県大会の参加申込様式は、当該主催団体において作成する。

(6) 参加料を徴収する場合の金額は、当該主催団体が中央競技団体と協議の上、定める。

(7) 競技運営に差し支えない限り、滋賀県選手は当該競技ブロック大会を経ることなく本大会に参加することができる。

18 国民スポーツ大会参加者傷害補償制度

日本スポーツ協会および都道府県スポーツ協会は、国民スポーツ大会参加者に対する社会的責任体制を整えるとともに、大会参加者の相互扶助の精神に基づいた補償制度として大会参加者による国民スポーツ大会参加者傷害補償制度を運営する。

(1) 本制度の対象となる参加者は、ブロック大会および本大会に参加する本制度給付規定に定められた選手、監督、選手団本部役員（顧問を含む）、視察員ならびにその他選手団役員とする。

(2) 大会参加の都道府県スポーツ協会は、国民スポーツ大会参加者傷害補償制度の対象となる参加者数に応じた制度負担金（一人あたり1,000円）を、日本スポーツ協会に納入する。

(3) 納入締切日および納入先については、別途日本スポーツ協会から都道府県スポーツ協会へ通知する。

20 その他

(1) 参加申込および宿泊申込が、定められた締切日までに行われない場合、または、参加負担金が定められた納入期限までに納入されない場合は、本大会への参加を認めない。

(2) 大会運営にあたり、選手・観客・大会関係者への安全を最優先に配慮し、気象状況・感染状況・交通状況・テロ行為等の各種災害に伴い、安全確保が見込めないと主催者が判断した場合は、主催者の指示に従うものとする。また、安全確保のために、参加申込システムに登録された以外の個人情報を取得する場合がある。取得した情報については、目的以外に利用しない。

(3) その他の事項については、国民スポーツ大会開催基準要項および同細則による。

別記1 「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」

1 成年種別年齢域の選手は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項〔国民スポーツ大会開催基準要項第8項第1号および第10項第4号（参加資格および年齢基準等）〕に基づき、下記のいずれかを拠点とした都道府県から参加することができる。

(1) 居住地を示す現住所

(2) 勤務地

(3) ふるさと

2 「ふるさと」とは、卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県とする。

ただし、JOCエリートアカデミーに係る選手については、別に定める「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」第3項により取り扱うものとする。

- 3 我が国の競技力向上を支援する観点より、日本国籍を有する者および「永住者」については、日本における滞在期間に関わらず、本制度を活用できるものとする。ただし、「日本国籍を有する者および『永住者』」に該当しない者であっても、当該大会年の4月30日（冬季大会は前年の4月30日）以前から本大会終了時（冬季大会は各競技会終了時）まで継続的に日本に滞在している場合は、本制度を活用できるものとする。なお、やむを得ない事情により、一時的に日本を離れる場合は、総日数の半数を超えて日本で滞在していること。
- 4 「ふるさと選手制度」を活用し参加を希望する選手は、予め所定の方法により「ふるさと」を登録しなければならない。なお、一度登録した「ふるさと」は変更できないものとする。
- 5 「ふるさと」から参加する選手は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。
- 6 ふるさと選手制度の活用については、原則として、1回につき2年以上連続とし、利用できる回数は2回までとする。
- 7 参加都道府県は「ふるさと選手」を所定の様式、方法により、当該大会実施要項で定めた参加申込締切期日までに、日本スポーツ協会宛に提出する。

別記2 「『一家転住等』に伴う特例措置」

転校への特例

- 1 次の内容をすべて満たすことにより、国内移動選手の制限（国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③）に抵触しないものとする。
 - (1) この特例の対象は、「少年種別」への参加者に限る。
 - (2) 本特例を受けることができるのは、一家転住等やむを得ない理由に限ることとする。

なお「一家転住等」とは概ね次のことを言う。

 - ア 親の転勤による一家の転居
 - イ 親の結婚、離婚による一家の転居
 - ウ 上記以外に、やむを得ない理由による一家の転居
 - (3) 転居した時点に応じて、以下の手続きを終了していること。
 - ア 本特例を受けようとする参加者は、下記2(1)の場合は転居元、下記2(2)の場合は転居先が属する都道府県スポーツ協会および都道府県競技団体に対し、その旨報告すること。
 - イ 報告を受けた都道府県スポーツ協会および都道府県競技団体は、下記2(1)の場合は転居先、下記2(2)の場合は転居元が属する都道府県スポーツ協会および都道府県競技団体に対し、その旨報告し了承を得ること。
- 2 本特例を受ける当該大会において、参加することができる都道府県は以下のとおりとする。
 - (1) 転居した時点において、以下に該当する場合は転居元が属する都道府県から参加することができる。
 - ア 転居先が属する都道府県の代表が既に決定している場合
 - イ 当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表として既に決定している場合
 - ウ 当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表選考過程にある場合
 - (2) 転居した時点において、以下に該当する場合は転居先が属する都道府県から参加することができる。
 - ア 転居元が属する都道府県において、当該大会における都道府県代表の選考が開始されていない場合

別記3 「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」

公益財団法人日本オリンピック委員会が実施する「JOC エリートアカデミー」に係る選手のうち、下記1に該当する者については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項〔国民スポーツ大会開催基準要項第8項第1号および第10項第4号（参加資格および年齢基準等）〕および別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」に関し、次の2～4の特例を適用する。

1 対象者

- (1) 少年種別年齢域の選手でJOCエリートアカデミーに在籍する者
- (2) 成年種別年齢域の選手でJOCエリートアカデミーを修了した者、または同アカデミーに在籍する者

2 少年種別年齢域の選手の所属都道府県

本特例第1項-(1)に定める少年種別年齢域の選手は、その所属都道府県について、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-2)-②に定める「居住地を示す現住所」、「学校教育法第1条に規定する学校の所在地」、「勤務地」のほか、卒業小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

なお、同アカデミーへの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

3 成年種別年齢域の選手の「ふるさと」

本特例第1項-(2)に定める成年種別年齢域の選手は、別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」第2項に定める卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県のほか、同アカデミーでの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を「ふるさと」とすることができる。

4 国内移動選手の制限に係る例外適用

本特例第1項-(1)に定める少年種別年齢域の選手が前回の大会（都道府県大会を含む）と異なる都道府県から参加する場合、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。

[注] 本特例第1項-(2)に定める成年種別年齢域の選手については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③（国内移動選手の制限）の規定に従い取り扱うものとする。

5 その他

中央競技団体が国際競技力向上施策として独自に実施するアカデミー事業については、当該中央競技団体からの申請を踏まえ、当該事業の内容がJOCエリートアカデミーに準拠し実施されていることが、公益財団法人日本オリンピック委員会により確認された場合に限り、当該事業を本特例の対象に加えることができる。

別記4 「トップアスリーの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

我が国の競技力向上を支援する観点より、一定の競技力を有する選手に対して、「トップアスリーの国民スポーツ大会参加資格の特例措置（以下「本特例」という。）」を下記のとおり定める。

1 特例の対象となる選手

本特例の対象となる選手は、下記の条件のいずれかを満たす者とする。

- (1) 第33回オリンピック競技大会（2024年・パリ）に参加した者。
- (2) 2025年4月30日時点で、下記のいずれかに該当し、各中央競技団体が本特例の対象として認めた者。
 - ア JOCオリンピック強化指定選手
 - イ 各競技（種目）における国内ランキング上位10位以内の者

ウ 中央競技団体が定めた強化指定選手

※ 強化指定ランクについては、各競技における全日本選手権大会入賞レベル以上のカテゴリーを対象とする。

2 特例の内容

(1) 予選会の免除

本特例の対象となる選手については、都道府県予選会およびブロック大会を経ずに国民スポーツ大会本大会に参加することができるものとする。ただし、ブロック大会実施競技種目・種別においては、当該都道府県代表選手またはチームがブロック大会に参加し、本大会参加枠を獲得している場合とする。

(2) 資格要件（日数要件の緩和）

本特例の対象となる選手が所属都道府県として「居住地を示す現住所」または「勤務地」を選択する場合は、日数に関する要件を定めないこととし、以下のとおりとする。

ア 居住地を示す現住所

次の要件をいずれも満たすものとする。

- (ア) 2025年4月30日以前から大会終了時（2025年10月8日）まで引き続き、住民票記載の住所に存する都道府県において生活している実態があり、当該都道府県以外（海外を含む）において生活している実態がないこと。

なお、生活の実態については、下記要件により判断する。

- a 自ら所有する住居、または自らの名義で住居を賃借していること
- b 当該住居に生計を一にする家族と共に住んでいること
- c 当該住居の水道光熱費など費用を自ら負担していること
- d 当該住居に主要な家財道具が存すること

- (イ) 合宿、試合等により当該都道府県外で活動を行う場合、当該都道府県を移動の起点としていること。

イ 勤務地

次の要件をいずれも満たすものとする。

- (ア) 2025年4月30日以前から大会終了時（2025年10月8日）まで引き続き、雇用主と雇用契約を締結した上で、当該都道府県内に存する雇用主の会社や事業所等に現実に通勤し、勤務していること。
- (イ) 当該都道府県内で、競技普及活動等の事業に参加すること。

3 国内移動選手の制限

本特例の対象となる選手の国内移動選手の制限については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③のとおりとする。

別記5 「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

1 特例の対象となる被災地域都道府県

震災による被害状況および影響等を総合的に勘案し、青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県、の6県を本特例の適用対象となる被災地域都道府県（以下「特例対象県」という。）とする。

なお、特例対象県以外の都道府県において対応が必要となった場合は、個別に取り扱うこととする。

2 特例の内容

(1) 特例対象県を所属都道府県とする場合の要件緩和

以下の選手および監督については、「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たしていなくとも、当該特例対象県から参加することができる。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県における「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たすことができなくなった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

ア 2011年3月11日（震災発生時）時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

イ 災害が発生しなかったと仮定した場合、2025年4月30日以前から大会終了時（2025年10月8日）まで継続して当該特例対象県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていたと合理的に推測される者であること。

(2) 避難等による移動先の都道府県を所属都道府県とする場合の要件緩和

ア 被災地域からの避難等により、当該特例対象県と異なる都道府県に移動した以下の選手および監督については、移動先の都道府県から参加することができる。

なお、この場合、2023年開催の特別大会または第78回大会に当該特例対象県から参加していても、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県から移動せざるを得なかった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

(ア) 2011年3月11日時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

(イ) 移動先の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていること。

なお、移動が生じた時期が2025年4月30日以降の場合は、移動先の都道府県の予選会開始までに要件を満たしていることとする。

〔注〕「居住地を示す現住所」および「学校所在地」として参加を希望する者については、当該自治体への住所に関する届出または学籍に係る要件を満たしていなくとも、それに準ずる公的な証明書類を提出でき、かつ移動先の都道府県に居住あるいは通学している実態を有していると日本スポーツ協会が認めた場合、移動先の都道府県から出場することができる。

イ 本項アを適用して避難等による移動先の都道府県から第78回大会または第79回大会に参加した者が、第80回大会において、以下のような震災にかかる理由により再度都道府県を移動して参加する場合は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

＜例＞ ○ 避難先を離れ、当該特例対象県に戻る場合

○ 避難先を離れ、他の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする場合

○ 他の都道府県に避難先を移す場合

(3) 避難等による移動先の属する都道府県において学校を卒業した場合の「ふるさと」選択要件の緩和
避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者が、成年種別年齢域に達した際、「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」を活用して参加する場合、以下のいずれかを「ふるさと」として登録することができる。

ア 卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地

イ 災害の発生した時点で在籍していた小学校、中学校または高等学校の所在地

なお、本特例を適用して上記イの学校所在地を「ふるさと」として登録した場合についても、卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地を「ふるさと」とする場合と同様、一度登録した「ふるさと」は変更できない。

【特例の対象者】

2011年度から2012年度（小学校は2015年度）までに、避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者。

別記6 「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

1 特例の対象となる被災地域都道府県

震災による被害状況および影響等を総合的に勘案し、新潟県、富山県、石川県、福井県の4県を本特例の適用対象となる被災地域都道府県（以下「特例対象県」という。）とする。

なお、特例対象県以外の都道府県において対応が必要となった場合は、個別に取り扱うこととする。

2 特例の内容

(1) 特例対象県を所属都道府県とする場合の要件緩和

以下の選手および監督については、「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たしていなくとも、当該特例対象県から参加することができる。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県における「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たすことができなくなった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

ア 2024年1月1日（震災発生時）時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

イ 災害が発生しなかったと仮定した場合、2025年4月30日以前から当該大会終了時（2025年10月8日）まで継続して当該特例対象県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていたと合理的に推測される者であること。

(2) 避難等による移動先の都道府県を所属都道府県とする場合の要件緩和

ア 被災地域からの避難等により、当該特例対象県と異なる都道府県に移動した以下の選手および監督については、移動先の都道府県から参加することができる。

なお、この場合、2023年開催の特別大会または第78回大会に、当該特例対象県から参加していても、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県から移動

せざるを得なかった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

(ア) 2024年1月1日時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

(イ) 移動先の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていること。

なお、移動が生じた時期が2025年4月30日以降の場合は、移動先の都道府県の予選会開始までに要件を満たしていることとする。

〔注〕 「居住地を示す現住所」および「学校所在地」として参加を希望する者については、当該自治体への住所に関する届出または学籍に係る要件を満たしていなくとも、それに準ずる公的な証明書類を提出でき、かつ移動先の都道府県に居住あるいは通学している実態を有していると日本スポーツ協会が認めた場合、移動先の都道府県から出場することができる。

イ 本項アを適用して避難等による移動先の都道府県から第78回大会または第79回大会に参加した者が、第80回大会において、以下のような震災に係る理由により再度都道府県を移動して参加する場合は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

＜例＞ ○ 避難先を離れ、当該特例対象県に戻る場合

○ 避難先を離れ、他の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする場合

○ 他の都道府県に避難先を移す場合

(3) 避難等による移動先の属する都道府県において学校を卒業した場合の「ふるさと」選択要件の緩和
避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者が、成年種別年齢域に達した際、「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」を活用して参加する場合、以下のいずれかを「ふるさと」として登録することができる。

ア 卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地

イ 災害の発生した時点で在籍していた小学校、中学校または高等学校の所在地

なお、本特例を適用して上記イの学校所在地を「ふるさと」として登録した場合についても、卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地を「ふるさと」とする場合と同様、一度登録した「ふるさと」は変更できない。

【特例の対象者】

2024年度から2025年度（小学校は2028年度）までに、避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者。

競技別実施要項

前 期 競 技

(1) カヌー競技

- 1 期 日 カヌースラローム・カヌーワイルドウォーター 令和7年5月18日(日)
カヌースプリント 令和7年7月20日(日)

種 別	種 目	5月18日(日)
成年男子	カヌースラローム・ カヌーワイルドウォーター	決 勝
成年女子		

種 別	種 目	7月20日(日)
成年男子	カヌースプリント	決 勝
成年女子		
少年男子		
少年女子		

- 2 会 場 鹿児島県湧水町、大分県豊後高田市

- (1) 競技会場 ・ カヌースラローム・カヌーワイルドウォーター
：鹿児島県湧水町川内川轟の瀬 特設カヌー競技場
・ カヌースプリント ：大分県豊後高田市 真玉 B&G 海洋センターカヌー場
(2) 練習会場 ・ 同 上

- 3 種別及び参加人員

● カヌースラローム・カヌーワイルドウォーター

種 別	種 目	監督	小計 (監督)	選手	参加 県数	小計 (選手)	合計	本大会 代表数
成 年 男 子	スラロームカヤックシングル	1	8	1	8	8	56	4
	スラロームカナディアンシングル			1	8	8		1
	ワイルドウォーターカヤックシングル			1	8	8		1
成 年 女 子	スラロームカヤックシングル			1	8	8		3
	スラロームカナディアンシングル			1	8	8		1
	ワイルドウォーターカヤックシングル			1	8	8		1

● カヌースプリント

種 別	種 目	監督	小計 (監督)	選手	参加県数	小計 (選手)	合計	本大会 代表数
成年男子	カ ヤ ッ ク シ ン グ ル	1	8	1	8	3 2	1 5 2	4
	カナディアンシングル			1	8			4
成年女子	カ ヤ ッ ク シ ン グ ル			1	8			3
	カナディアンシングル			1	8			1
少年男子	カ ヤ ッ ク シ ン グ ル	1	8	1	8	1 0 4		5
	カ ヤ ッ ク ペ ア			2	8			2
	カナディアンシングル			1	8			4
	カ ナ デ ィ ア ン ペ ア			2	8			2
少年女子	カ ヤ ッ ク シ ン グ ル			1	8		4	
	カ ヤ ッ ク ペ ア			2	8		2	
	カ ヤ ッ ク フ ォ ア			4	8		2	

4 競技上の規程及び方法

- (1) 競技上の規程 レース運営は（公社）日本カヌー連盟競技規則による。
- (2) 競技方法 ※国民スポーツ大会実施要項を参照
 - ・ カヌースラローム（15～25ゲート）
 - ・ カヌーワイルドウォーター（1500m）
 - ・ カヌースプリント（500m）

5 参加資格

国民スポーツ大会実施要項総則5に定めるもののほか、次による。

- (1) 連盟賛助会員A登録者であること。
- (2) 出場は1人1種目までとする。
- (3) カヌースプリント種目の少年種別に参加できる選手には、2010年4月2日から2011年4月1日までの間に生まれた中学3年生を含むものとする。
カヌースラローム及びカヌーワイルドウォーター（成年男子種別・成年女子種別）に参加できる選手には、中学3年生を含む2011年4月1日以前に生まれたものとする。
- (4) 監督は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認カヌーコーチ1、公認カヌーコーチ2、または公認カヌーコーチ3、公認カヌーコーチ4のいずれかの資格を有する者であること。
- (5) 成年選手は監督を兼任することができる。カヌースプリント種目とカヌースラローム種目及びカヌーワイルドウォーター種目の監督を兼任することはできない。

6 表 彰

各種目の第1位から第3位までに賞状を授与する。

7 参加申込方法

- (1) 所定のWebページ（国民スポーツ大会参加申込受付窓口）へアクセスし、必要項目を入力の上、当該県スポーツ協会を通じて、指定した期日までに申込手続きを完了すること。
 - ・ カヌースラローム・ワイルドウォーター 令和7年4月25日（金）
 - ・ カヌースプリント 令和7年6月20日（金）
- (2) 申込後の選手の交代等
参加申込締切り後の選手変更は、疾病、傷害等特別な場合に限り認め、大会総則10（3）の手続きにより届け出ることとし、締切りは監督会議開催前までとする。

8 参加上の注意

用艇及び配艇

- (1) カヌースラローム・カヌーワイルドウォーター
（公社）日本カヌー連盟の検艇を経た参加県の持ち込み艇とする。
※公式練習は、5月17日（土）15時30分までとする。これ以降はコースを閉鎖し、違反者は失格とする。
- (2) カヌースプリント
（公社）日本カヌー連盟の検艇を経た参加県の持ち込み艇とする。
※少年のレースに使用するライフジャケットは、参加県の持ち込みとする。
※公式練習は、7月19日（土）17時までとする。

9 熱中症対策について

こまめに水分補給をする。なお、随時、注意喚起のアナウンスを行う。

10 その他

● カヌースラローム・カヌーワイルドウォーター

(1) 検 艇

- ・ 日 時 令和7年5月17日(土) 13:00~15:30
- ・ 会 場 鹿児島県湧水町川内川轟の瀬 特設カヌー競技場(競技本部前)

(2) 監督会議

- ・ 日 時 令和7年5月17日(土) 16:00~17:00
- ・ 会 場 鹿児島県湧水町川内川轟の瀬カヌー艇庫

(3) 開始式

- ・ 日 時 令和7年5月18日(日) 9:00~9:30
- ・ 会 場 鹿児島県湧水町川内川轟の瀬 特設カヌー競技場(競技本部前)

● カヌースプリント

(1) 検 艇

- ・ 日 時 令和7年7月19日(土) 13:00~16:00
- ・ 会 場 大分県豊後高田市 真玉 B&G 海洋センターカヌー場(検艇所)

(2) 監督会議

- ・ 日 時 令和7年7月19日(土) 16:00~17:00
- ・ 会 場 大分県豊後高田市 真玉 B&G 海洋センターカヌー場 艇庫(管理棟2階多目的室)

(3) 開始式

- ・ 日 時 令和7年7月20日(日) 9:00~9:30
- ・ 会 場 大分県豊後高田市 真玉 B&G 海洋センターカヌー場(管理棟前)

(2) 水泳競技

- 1 期 日 ・水 球 令和7年7月25日(金)～27日(日)
 ・アーティスティックスイミング 令和7年7月13日(日)

●水球日程

種 別	7月25日(金)	7月26日(土)	7月27日(日)
少年男子	予選トーナメント	決勝トーナメント 決勝(代表)・3位決定戦	—
女子	—	1回戦	準決勝・決勝(代表) 3位決定戦

●アーティスティックスイミング日程

種 別	種 目	7月13日(日)
少年女子	デュエット	テクニカルルーティン・フリールーティン競技

2 会 場 長崎市

- (1) 競技会場 ・水 球 :長崎市民総合プール
 ・アーティスティックスイミング:長崎市民総合プール
 (2) 練習会場 ・水 球 :長崎市民総合プール
 ・アーティスティックスイミング:長崎市民総合プール

3 種別及び参加人員

●水 球

種 別	監 督	選 手	参加県数	参加人員	本大会代表数
少年男子	1	11	8	96	1
女子	1	11	8	96	1

●アーティスティックスイミング

種 別	種 目	監 督	選 手	参加県数	参加人員	本大会代表数
少年女子	デュエット	1	2	8	24	2

4 競技上の規程及び方法

●水 球

(1) (公財)日本水泳連盟水球競技規則による。

(2) 競技方法

＊少年男子

ア 1日目は予選トーナメント、2日目に決勝トーナメントを行う。3位決定戦も行う。

イ 前年度のブロック予選上位4県をシードする。

＊女 子

ア 全試合トーナメントで行う。3位決定戦も行う。

イ 前年度のブロック予選上位2県をシードする。

●アーティスティックスイミング

(1) (公財)日本水泳連盟アーティスティックスイミング競技規則による。

(2) 競技方法

ア テクニカルルーティン競技

国民スポーツ大会実施要項のとおり

イ フリールーティン競技

国民スポーツ大会実施要項のとおり

5 参加資格

第79回国民スポーツ大会実施要項総則5に定めるもののほかに次による。

- (1) 選手は2025年度（公財）日本水泳連盟競技者登録を完了したものであること。
- (2) 監督は（公財）日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認水泳コーチ1、公認水泳コーチ2、公認水泳コーチ3、公認水泳コーチ4、または、公認水泳教師、公認水泳上級教師のいずれかの資格を有するものとする。

6 表彰

第1位から第3位までに賞状を授与する。

7 参加申込方法

●水 球

- (1) 所定のWebページ（国民スポーツ大会参加申込受付窓口）へアクセスし、必要項目を入力の上、当該県スポーツ協会を通じて、令和7年6月27日（金）までに申込手続きを完了すること。
- (2) 申し込み後の選手の交代は、特別な事情がない限り認めない。なお、特別な事情で選手を交代する場合は、監督会議の前日までに、長崎県実行委員会及び長崎県水泳連盟あて所定の様式で届けなければならない。
- (3) 申込時に補欠登録選手4名を認める。

●アーティスティックスイミング

- (1) 所定のWebページ（国民スポーツ大会参加申込受付窓口）へアクセスし、必要項目を入力の上、当該県スポーツ協会を通じて、令和7年6月13日（金）までに申込手続きを完了すること。
- (2) （公財）日本水泳連盟所定のフリールーティン用紙（4通複写）・テクニカルルーティン用紙（4通複写）・コーチカードを作成し、上記参加申込書と同時に送付すること。
- (3) 申込時に補欠登録選手1名を認める。
- (4) 選手の氏名等の個人情報とは2025年度において（公財）日本水泳連盟に登録した情報と同じものであること。

8 参加上の注意

- (1) 大会期間中、役員・監督・選手は参加章を着用しなければならない。
- (2) 各県監督・選手は競技に際し、所属県名を明示しなければならない。
- (3) 健康診断は、事前に全選手に実施しておくこと。

9 熱中症対策について

- (1) 注意喚起の掲示、放送を行う。
- (2) 審判員・競技役員に対する飲料提供を行う。

10 その他

(1) 監督会議

●水 球

*少年男子

- ・ 日 時 令和7年7月24日（木） 15:00～16:00
- ・ 会 場 長崎市民総合プール 会議室

*女子

- ・ 日 時 令和7年7月25日（金） 15:00～16:00
- ・ 会 場 長崎市民総合プール 会議室

●アーティスティックスイミング

- ・ 日 時 令和7年7月12日（土） 12:00～12:30
- ・ 会 場 長崎市民総合プール 会議室

(2) 開 始 式

●水 球

- *少年男子
- ・ 実施しない。

*女子

- ・ 実施しない。

●アーティスティックスイミング

- ・ 実施しない

(3) 表 彰 式

●水 球

- *少年男子
- ・ 実施しない。

*女子

- ・ 実施しない。

●アーティスティックスイミング

- ・ 実施しない。

(3) テニス競技

1 期 日 令和7年7月12日(土)・13日(日)

種 別	7月11日(金)	7月12日(土)	7月13日(日)
成年男子	(練習日) 10:00 ～17:00	1回戦・準決勝 ファイト・インコンソレーション1回戦	決勝 ファイト・インコンソレーション(決定戦)
成年女子	(練習日) 10:00 ～17:00	1回戦・準決勝 ファイト・インコンソレーション1回戦	決勝 ファイト・インコンソレーション(決定戦)

2 会 場 長崎市

- (1) 競技会場 ベネックス総合運動公園かきどまり庭球場(砂入り人工芝)
(長崎市総合運動公園かきどまり庭球場)
- (2) 練習会場 同 上 (練習コート配置は会場本部で確認のこと)

3 種別及び参加人員

種 別	監督			選手	参加県数	小 計	合計	本大会代表数
成年男子	1	または	1	2	8	16～24	40～48	6
成年女子	1			2	8	16～24		5

4 競技上の規程及び方法

- ア 競技規則は、(公財)日本テニス協会発行「J T Aテニスルールブック2025」を適用する。
- イ 使用ボールは、(公財)日本テニス協会公認ボールとする。
- ウ 競技は、各種別それぞれ3ポイント(単2・複1)とし、その勝敗は獲得したポイント数の多少によって決める。
- エ 試合は全て8ゲームプロセット、ノーアドバンテージ方式とする。
- オ エンド交替90秒

5 参加資格

第79回国民スポーツ大会実施要項総則5に定めるもののほか、次による。

(1) 選手について

- ・(公財)日本テニス協会の登録選手(一般、プロフェッショナル)若しくは、都道府県テニス協会及び傘下組織に登録した選手であること。

(2) 監督について

- ・監督は、(公財)日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認テニスコーチ2、公認テニスコーチ3、公認テニスコーチ4、公認テニス教師、公認テニス上級教師のいずれかの資格を有する者であること。(教師はJ P T A資格保有者も含む。)
- ・選手との兼任は認めない。ただし、監督1名で2種別兼任は可能とする。

(3) その他

- ・参加資格や年齢基準の解釈については、(公財)日本スポーツ協会ホームページを参照すること。

6 表 彰

各種別の第1位から第3位までに賞状を授与する。

7 参加申込方法

- (1) 所定のWebページ(国民スポーツ大会参加申込システム)へアクセスし、必要項目を入力の上、当該県スポーツ協会を通じて、令和7年6月13日(金)までに申込手続きを完了すること。
- (2) 申込後の選手交代は、特別な事情がない限り認めない。なお、特別な事情で選手を交代する場合は、監督会議までに長崎県実行委員会及び長崎県テニス協会あて所定の文書で届け出なければならない。

8 参加上の注意

- (1) 選手はテニスウェアを着用のこと。((公財)日本テニス協会服装規定を遵守すること。)ロゴマーク等に注意すること。

9 熱中症対策について

- (1) 競技運営上の対策
 - ・試合は全ての対戦において勝敗決定後に打ち切る。
 - ・同一の日に2つ以上の試合をする場合は所定の休憩を与える。
- (2) 会場運営上の対策
 - ・ドクター、看護師を会場に常駐する。
 - ・注意喚起の掲示や放送等を行う。

10 代表権の取り扱いについて

- (1) 悪天候による試合中止時における代表権の取り扱い
 - ・各県理事長の協議において決定する。
- (2) 悪天候による試合日程の短縮案、代表権の取り扱い
 - ・各県理事長の協議において決定する。

11 その他

(1) 監督会議

- ・日時 令和7年7月11日(金) 16:00~17:00
- ・場所 ベネックス総合運動公園かきどまり庭球場 テニスコートクラブハウス会議室

(2) 開始式

- ・日時 令和7年7月12日(土) 9:00~
- ・場所 ベネックス総合運動公園かきどまり庭球場2番コート

(4) バレーボール競技 (ビーチバレー)

1 期 日 令和7年7月12日(土)・13日(日)

種 別	7月12日(土)	7月13日(日)
少年男子	グループ戦	グループ戦・代表決定戦
少年女子		

2 会 場 諫早市

種 別	7月12日(土)	7月13日(日)	練習会場 7月11日(金)
少年男子	結の浜マリンパーク		結の浜マリンパーク
少年女子			

3 種別及び参加人員

種 別	監 督	選 手	参加県数	小 計	合 計	本大会代表数
少年男子	1	2	8	24	48	4
少年女子	1	2	8	24		4

4 競技上の規程及び方法

(1) 競技規則

2025年度公益財団法人日本バレーボール協会ビーチバレーボール競技規則による。

注) 競技は全試合3セット・マッチとする。

(2) 競技方法

各種別ともグループ戦の後、代表決定戦を行う。

(3) チーム名

チーム名は県名とする。ユニフォームのチーム名も県名とし、高等学校名などのユニフォームの着用を認めない。また、チーム名(ユニフォームへの記載を含む)を「〇〇選抜」としないこと。

5 参加資格

第79回国民スポーツ大会実施要項総則5に定めるもののほか、次による。

(1) 公益財団法人日本バレーボール協会登録規程により、登録された者で構成されたチームで予選会に出場し、その結果推薦されたものでなければならない。

(2) 監督・選手は6人制種目とビーチバレーボール種目、両方に参加できる。なお、同一種目で異なる種別に参加することはできない。

(3) ブロック大会及び本大会に参加するチームは、都道府県協会が代表として認めた単独チームか選抜チームでなければならない。ただし、チームの構成のいかんにかかわらず、チーム名は都道府県名とする。

注 チーム名(ユニフォームへの記載を含む)を「〇〇選抜」としないこと。

(4) 予選会を通過し本大会に代表として推薦された監督・選手の追加・変更(競技者番号の変更含む)は認められない。

(5) 監督は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認バレーボールコーチ1、公認バレーボールコーチ2、公認バレーボールコーチ3、公認バレーボールコーチ4の有資格者とする。

注) 参加申込みの際は、資格を証明する登録証の写しを添付すること。

- (6) ビーチバレーボール種目の年齢基準は、2007年4月2日から2010年4月1日までに生まれた者が参加できる。

6 表彰

各種別の代表権獲得県には、国スポ九州ブロック予選会通過賞状を授与する。

7 参加申込み方法

- (1) 参加申込は、所定のWebページ（国民スポーツ大会参加システム）へアクセスし、必要項目を入力の上、当該県スポーツ協会を通じて、令和7年6月13日(金)までに申込み手続きを完了すること。
- (2) 参加チームは、公益財団法人日本バレーボール協会登録システムにより出力した「チーム加入選手一覧」に所属県協会長の押印（朱印）したものを同封すること。なお、監督については、資格を証明する登録証または認定証の写しを添付すること。
「ふるさと選手制度」を活用して参加するものにあつては、別に定める様式により所属県スポーツ協会会長宛に提出した書類の写しに所属県協会会長の押印（朱印）したものを同封する。
- (3) 参加申込み締切り後の監督・選手の変更は、疾病・傷害・妊娠など、また、公益財団法人日本バレーボール協会が認めた日本代表選手に該当する場合など特別な場合に限り認めるものとし、疾病・傷害・妊娠に該当する場合は診断書を添付する。その届出は代表者会議までとする。

8 参加上の注意

- (1) 監督章は、公益財団法人日本バレーボール協会規定のものを用いること。
- (2) 監督は、資格を有する登録証又は認定が確認できる書類の写しを携帯すること。

9 熱中症対策について

代表者会議にて事前に説明を行う。

10 その他

- (1) 審判研修会議（場所 結の浜マリンパーク：諫早市飯盛町池下 17-2）
・日時 令和7年7月11日（金） 15：00～
- (2) 委員長会議（場所 結の浜マリンパーク：諫早市飯盛町池下 17-2）
・日時 令和7年7月11日（金） 13：00～
- (3) 代表者会議（場所 諫早市 飯盛支所 田結出張所：諫早市飯盛町里 648-3）
・日時 令和7年7月11日（金） 17：00～
- (4) 表彰式
・日時 令和7年7月13日（日） 競技終了後
・場所 会場にて行う。

(5) 馬術競技

1 期 日 令和7年7月12日(土)・13日(日)

2 会 場 諫早市

(1) 競技会場 諫早ゆうゆうランド干拓の里馬事公園

(2) 練習会場 同 上

3 種別及び参加人員

人数及び頭数 区 分			参加人員(人)		参加馬数(頭)	
			1県あたり	合 計	1県あたり	合 計
監督(ホースマネージャー)			2×(8)	16		
選 手	個 人	成年男子	3×(8)	24	7×(8)	56
		成年女子	2×(8)	16		
		少 年	3×(8)	24		
	団 体	少 年	3×(8)	24		
合 計			13×(8)	104	7×(8)	56

- (注) ・監督(ホースマネージャー)2名のうち1名はホースマネージャーとする。
 ・監督及びホースマネージャーは、選手を兼ねることができるが各種別1名以下とする。
 ・予備選手は、各種別(成年男子、成年女子、少年)にそれぞれ2名登録することができる。
 ・予備馬は、1県3頭とする。

4 競技日程並びに競技種目及び実施要項

【 第1日 7月12日(土) 】 7:00～

競 技 種 目		実 施 要 項
第 1 競 技	成年男子馬場馬術競技	日本馬術連盟競技会規程最新版を適用する。 国際馬術連盟制定のセントジョージ賞典馬場馬術課目を実施する。
第 2 競 技	成年女子馬場馬術競技	日本馬術連盟競技会規程最新版を適用する。 国際馬術連盟制定のセントジョージ賞典馬場馬術課目を実施する。
第3-1 競技	成年男子国体総合馬術競技 (馬 場 馬 術)	日本馬術連盟競技会規程最新版を適用する。国際馬術連盟制定の総合馬術競技・馬場馬術課目スリースターBを実施する。
第 4 競 技	少年馬場馬術競技	日本馬術連盟競技会規程最新版を適用する。 国際馬術連盟制定のジュニアライダー団体馬場馬術課目を実施する。
第 5 競 技	成年男子トップスコア競技	日本馬術連盟競技会規程最新版を適用する。 高さ0.90～1.50m、幅1.80m以下、10障害以内、規定時間60秒とする。
第 6 競 技	少年標準障害飛越競技	日本馬術連盟競技会規程最新版 基準A、238条2.2を適用する。高さ1.20m以下、幅1.40m以下、水濠幅3.50m以下、10障害以内、速度350m/分、全長約500m以内とする。
第 7 競 技	成年女子二段階障害飛越競技	日本馬術連盟競技会規程最新版 274条5.3を適用する。高さ1.20m以下、幅1.40m以下、速度350m/分、全長約600m、第1段階7障害、第2段階5障害以内とする。
第 8 競 技	少年団体障害飛越競技	日本馬術連盟競技会規程最新版を適用する。 高さ1.10m以下、幅1.40m以下、10障害以内、速度350m/分、全長約500m以内とする。

【 第2日 7月13日（日） 】 8：00～

競 技 種 目		実 施 要 項
第3－2競技	成年男子国体総合馬術競技 （ 障 害 飛 越 ）	日本馬術連盟競技会規程最新版を適用する。 高さ1. 20m以下、幅1. 40m以下、障害数10～11/最大飛越数14以内、速度350m/分、全長約600m以内とする。
第 9 競 技	成年男子スピードアンド ハンディネス競技	日本馬術連盟競技会規程最新版 基準C, 239条を適用する。 高さ1. 30m以下、幅1. 50m以下、13障害以内、全長約600m未満とする。
第 10 競 技	成年女子標準障害飛越競技	日本馬術連盟競技会規程最新版 基準A, 238条2. 2を適用する。高さ1. 20m以下、幅1. 40m以下、水濠幅3. 50m以下、10障害以内、速度350m/分、全長約500m以内とする。
第 11 競 技	少年スピードアンド ハンディネス競技	日本馬術連盟競技会規程最新版 基準C, 263条を適用する。高さ1. 10m以下、幅1. 40m以下、12障害以内、全長約650m以内とする。

5 人馬の参加資格

第79回国民スポーツ大会実施要項総則5に基づいた条件を有することのほか、次による。

- (1) 少年種別に参加するには、中学3年生を含む2011年4月1日以前に生まれた者から2007年4月2日以降に生まれた者とする。
- (2) 選手は、ブロック大会の参加申込みの時点で、公益社団法人日本馬術連盟の会員で、騎乗者資格B級以上の取得者であること。ただし、少年種別に参加する選手で、騎乗者資格B級以上の資格がない場合は、公益社団法人日本馬術連盟の会員であることのほか参加都道府県の馬術連盟会長が発行する技能証明書を公益社団法人日本馬術連盟会長宛に提出すること。
- (3) 参加馬は、公益社団法人日本馬術連盟の登録馬であること。
- (4) 馬匹は、参加都道府県を重複して出場することはできない。
- (5) 本大会に出場する選手は、ブロック大会に必ず登録していること。予備登録の選手も同様である。
- (6) 第79回国民スポーツ大会に定める参加資格は、ブロック大会にも適用する。
- (7) 監督は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認馬術コーチ1、公認馬術コーチ3のいずれかの資格を有する者であること。
- (8) 第79回国民スポーツ大会競技実施要項5の『(2) ア ブロック大会に参加する都道府県は、内国産馬を1頭以上含めること。』については、本大会のとおり個人競技に5頭以上出場する場合、必ず1頭以上内国産馬を出場させなければならない。なお、乗馬の変更がある場合も同様とする。また、個人競技に5頭以上出場する場合は、予備登録馬に内国産馬を登録することが望ましい。

6 競技規程

- (1) この競技会は、日本馬術連盟競技会規程最新版を適用する。
- (2) 申込後の選手の変更は、登録選手内で監督会議までに文書で申請すること。馬の変更については、予備登録馬の中から監督会議までに、診断書を添えて文書で申請すること。その出場の可否は、監督会議で決定する。追加申請は認めない。
- (3) 少年団体障害飛越競技は次のとおり実施する。
 - ア 各チーム2名の選手にて行う（選手は出場枠内で3名まで登録することができる）。
 - イ チームの馬1頭に2名の選手が騎乗して同一コースを走行し、前段の選手が走行後同順序で後段の選手が走行する（リバースオーダーは行わない）。前段の選手が失権しても後段の選手は走行可能とする。
 - ウ 出場順は、他の個人競技と同様に組合せ抽選会で決定する。監督は、競技実施日の前日までに出場選手2名及び騎乗順序（前段・後段）を申告する。
 - エ 順位は次の方法により決定する。
 - ① チーム2名の合計成績（障害減点及びタイム減点）において総減点の少ないチームを上位とする。
 - ② 同減点の場合は、2名の所要タイムの合計が少ないチームを上位とする。
 - ③ 合計所要タイムが同じ場合は、比較するチームの中で最も所要タイムが少ない選手が所属するチームを上位とする。それでもなお同タイムの場合は同順位とする。

- ④ 1名が失権したチームは、2名が完走したチームの下位とし、完走者の減点と所要タイムにより順位を決定する。なお、2名とも失権したチームは順位がつかないものとする。
- (4) 選手は、個人競技と団体競技に重複して出場することができる。
- (5) 個人競技では、1頭が合計5種目まで出場できる。
1県が同一競技で出場できる数は、馬場馬術が1人馬、障害競技と国体総合馬術競技は2人馬以内とする。
- (6) 個人競技では、全種目を通じて出場は1人1種目1回、1人2種目までとする。団体障害飛越競技は枠外とする。
- (7) 選手及び馬匹は、同一種目に1回限りしか出場できない。
- (8) 乗馬服はF E I 規定を適用する。キュロットは男性、女性とも白またはオフホワイトとし、男性のネクタイは白、また女性はチョーカーを着用とする。(F E I 規定を適用) 障害飛越競技の場合は、必ず乗馬競技用ヘッドギアを着用すること。
なお、ブロック大会では所属する県名を明記しなくてもよいが、本大会では服装に必ず明記すること。
- (9) 天候による上着の着用の有無は、競技審判団の決定による。

7 総合成績決定方法

- (1) 各種目に次のとおり競技得点を与える。ただし、同順位の場合はその競技得点を共有し、次の順位を欠位とする。
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| ・ 1位＝8点 | ・ 2位＝7点 | ・ 3位＝6点 | ・ 4位＝5点 |
| ・ 5位＝4点 | ・ 6位＝3点 | ・ 7位＝2点 | ・ 8位＝1点 |
- (2) 総合成績は、各県ごとに競技得点を合計しその得点の多い順に決めるが、同点の場合は当該県を比較し、上位入賞個人種目を多くもっている県を上位とする。

8 表彰

総合成績及び各種目の第1位から第3位までに賞状を授与する。

9 九州地区より本大会に出場できる人馬及び競技種目

- | | |
|-----------------|---------------------|
| ・ 監督及びホースマネージャー | 16人(2人×8県) |
| ・ 選手 | 38人(個人競技36人+団体競技2人) |
| ・ 馬匹 | 27頭(個人競技25頭+団体競技2頭) |
| ・ 出場枠数 | 78(個人競技76+団体競技2) |

10 本大会の決定方法

- (1) 総合成績上位より、次の表の範囲内でその実績を割り当てる。
- (2) 個人競技種目の各種目の優勝県に本大会出場の優先権を与える。
- (3) 少年団体障害競技の優勝県及び2位の県に本大会出場の優先権を与える。
- (4) 馬場馬術競技の優勝県は、当該馬場馬術種目への本大会出場を必須とし、出場なき場合、当該出場権利は消滅し、その権利を他の種目へ換えることはできない。
- (5) 出場競技種目に何らかの理由で空白が生じた場合、総合成績上位順位に権利を獲得できる。(監督及びホースマネージャーを含む)

総合成績順位	個人		団体 (少年)	
	選手数	馬匹数	選手数	馬匹数
1位	8人	5頭	2人	1頭
2位	7人	5頭		1頭
3位	6人	4頭		
4位	5人	3頭		
5位	4人	3頭		
6位	3人	2頭		
7位	2人	2頭		
8位	1人	1頭		
合計	36人	25頭	2人	2頭
九州ブロックの本国スポ出場数	成年男子	成年女子	少年	計
	13人	11人	14人(12人+2人)	38人

11 参加申込方法

- (1) 所定のWebページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスし、必要項目を入力の上、当該県スポーツ協会を通じて、令和7年6月13日（金）までに申込手続きを完了すること。
- (2) 申込後の人馬の変更
 - ア 申込後は、人馬の変更をしない。ただし、申込みと同時に、予備登録選手を各種別（成年男子、成年女子、少年。ただし、団体障害飛越競技を除く。）に各々2名登録でき、予備馬を1県3頭登録できる。
 - イ 申込後の人馬の変更は、大会総則10（3）により、監督会議までに文書で申請する。馬の変更は、予備登録馬の中から監督会議までに、診断書を添えて文書で申請する。その出場の可否は、監督会議で決定する。追加申請は認めない。

12 参加上の注意

- (1) 個人競技の出場順番は、担当県が抽選によって決定する。
- (2) 団体障害飛越競技の組合せは、各県代表者による抽選で決定する。
- (3) 馬匹の入厩は、令和7年7月11日（金）午前6時からとする。
 - ア 入厩時に、乗馬登録証及び馬匹健康手帳を事務局に提出するものとする。馬インフルエンザの予防接種は公益社団法人日本馬術連盟 馬インフルエンザ予防接種実施要領に基づき実施し、獣医師の証明があること。要領に則って実施していない馬匹については、入厩できない。
 - イ 退厩時には馬房掃除を行い、係員の確認を受けること。
- (4) 馬糧等の支給斡旋はしない。
- (5) 輸送費は補助しない。
- (6) 参加人馬の事故に対しては、応急手当はするが、主催者はその責任を負わない。

13 熱中症対策について

- (1) 避暑用のテントを設置し、休憩場所を準備する。

14 その他

- (1) 監督会議
 - ・日 時 令和7年7月11日（金） 14：00 ～
 - ・会 場 諫早ゆうゆうランド干拓の里馬事公園 クラブハウス2階
- (2) 監督会議（表彰式）
 - ・日 時 令和7年7月13日（日） 競技終了後
 - ・会 場 諫早ゆうゆうランド干拓の里馬事公園 クラブハウス2階

第79回国民スポーツ大会馬術競技種目別九州ブロック出場枠一覧

種別	競技種目	出場枠	出場権枠			
			1	2	3	4
成年男子	① 標準障害飛越競技	4				
	② スピードアンドハンディネス競技	4				
	③ ダービー競技	4				
	④ 国体総合馬術競技	4				
	⑤ 六段障害飛越競技	4				
	⑥ トップスコア競技	4				
	⑦ 馬場馬術競技	2				
	⑧ 自由演技馬場馬術競技	2				
	小 計	28				
成年女子	① 標準障害飛越競技	4				
	② 二段階障害飛越競技	4				
	③ トップスコア競技	4				
	④ ダービー競技	4				
	⑤ 馬場馬術競技	2				
	⑥ 自由演技馬場馬術競技	2				
	小 計	20				
少年	① 標準障害飛越競技	4				
	② スピードアンドハンディネス競技	4				
	③ リレー競技	4				
	④ ダービー競技	4				
	⑤ トップスコア競技	4				
	⑥ 二段階障害飛越競技	4				
	⑦ 馬場馬術競技	2				
	⑧ 自由演技馬場馬術競技	2				
	⑨ 団体障害飛越競技	2				
	小 計	30				
合 計		78				

(6) ボウリング競技

1 期 日 令和7年7月12日(土)・13日(日)

種 別	7月11日(金)	7月12日(土)	7月13日(日)
成年男子	公式練習	個人戦(前半・後半) 団体戦2人チーム (前半)	団体戦2人チーム (後半) 団体戦4人チーム
成年女子		個人戦(前半・後半) 団体戦2人チーム (前半)	団体戦2人チーム (後半) 団体戦4人チーム
少年男子		個人戦(前半・後半) 団体戦(前半)	団体戦(後半)
少年女子		個人戦(前半・後半) 団体戦(前半)	団体戦(後半)

2 会 場 諫早市

(1) 競技会場 諫早パークレーン

(2) 練習会場 同 上

3 種別及び参加人員

種 別	種 目	監 督	小 計 (監督)	選 手	参加 県数	小 計 (選手)	合 計	本大会 代表数
成年男子	個 人 戦	1	8	4	8	3 2	1 2 8	4
	団 体 戦							
成年女子	個 人 戦	1	8	4	8	3 2		4
	団 体 戦							
少年男子	個 人 戦	1	8	2	8	1 6		4
	団 体 戦							
少年女子	個 人 戦	1	8	2	8	1 6		4
	団 体 戦							

※ 成年男子・成年女子チーム構成(4名)及び少年男子・少年女子チーム構成(2名)

※ 成年選手は同種別の監督を兼任することができる。

4 競技上の規程及び方法

(1) 競技上の規程

ア 競技規程は、公益財団法人 JAPAN BOWLING のボウリング競技規則及びボウリング選手権競技会規程による。

イ 審判員は、公益財団法人 JAPAN BOWLING 公認審判員が当たる。

(2) 競技種目

- ・成年男子……個人戦・団体戦2人チーム・団体戦4人チーム
- ・成年女子……個人戦・団体戦2人チーム・団体戦4人チーム
- ・少年男子……個人戦・団体戦2人チーム
- ・少年女子……個人戦・団体戦2人チーム

(3) 競技方法

- ア 団体戦2人チーム（成年男子・成年女子・少年男子・少年女子）
各選手が前半3ゲーム、後半3ゲームの計6ゲームの競技を行い、チーム（2名）の合計得点により順位を決定する。
- イ 団体戦4人チーム（成年男子・成年女子）
各選手が3ゲームの競技を行い、チーム（4名）の合計得点により順位を決定する。
- ウ 個人戦（成年男子・成年女子・少年男子・少年女子）
各選手が前半3ゲーム、後半3ゲームの計6ゲームの競技を行い、合計得点により順位を決定する。
- エ 各種目に次のポイントを与え、各種目の合計ポイントにより、成年男子・成年女子・少年男子・少年女子の各種別に、ブロック割当数に応じ国スポ本大会の出場資格を与える。
- オ 同ポイントの場合は、対象種別の総得点の多い方を上位とする。

① 団体戦

1位・・・24点	2位・・・21点	3位・・・18点	4位・・・15点
5位・・・12点	6位・・・9点	7位・・・6点	8位・・・3点

② 個人戦

1位・・・8点	2位・・・7点	3位・・・6点	4位・・・5点
5位・・・4点	6位・・・3点	7位・・・2点	8位・・・1点

5 参加資格

- (1) 国民スポーツ大会実施要項総則5に定めるものとする。
なお、少年種別に参加できる選手は、2010年4月2日から2011年4月1日までの間に生まれた中学3年生を含むものとする。
- (2) 監督は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認ボウリングコーチ1、公認ボウリングコーチ2、公認ボウリングコーチ3、公認ボウリングコーチ4のいずれかの資格を有する者であること。
- (3) 原則として、ブロック大会に登録（予備登録を含む）出場した者でなければ、本大会への参加は認められない。ただし、予選免除選手についてはこの限りではない。

6 表彰

各種目の第1位から第3位までに、賞状を授与する。

7 参加申込方法

- (1) 所定のWebページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスし、必要項目を入力の上、当該県スポーツ協会を通じて、令和7年6月13日（金）までに申込手続きを完了すること。
- (2) 参加申込締切り後の選手変更は、疾病、傷害等特別な場合に限り認め、大会総則10（3）の手続きにより届け出ることとし、締切りは監督会議前までとする。
- (3) 各種別1名まで予備登録ができる。

8 参加上の注意

- (1) ユニフォームは、公益財団法人日本スポーツ協会が定めるユニフォーム規程及びJB制定の服装規則を遵守すること。
- (2) 参加選手は、会場に持ち込んだすべてのボールを競技開始前に登録しなければならない。
ア 大会使用ボールの登録は、2個目から規定のボール登録料を納めるものとする。

- イ 使用ボールは、WTBA又はJBの公式認定ボールを、JB公認ドリラーによってドリルされ、JB公認ボール検査員が検査し合格したものとする。
 - ウ 競技中に、参加全選手の中から無作為に検査を実施する。
登録されていないボールや検査したボールが規格に外れたり、規程に反していた場合、それまでの記録はすべて無効とする。
 - エ ボール検査合格証の不携帯及び未検査ボールを使用する場合は、競技開始前に大会認証部の検査を受けること。検査料は1個につき500円、硬度のみは1個につき200円とし、大会期間中のみ有効のボール検査合格証を発行する。
- (3) 開始式には各県とも監督のほか選手全員参加のこと。
 - (4) 代表監督は、代表監督会議に必ず出席すること。

9 熱中症対策について

- (1) 場内の換気を行うとともに、施設の冷暖房設備によって適温を保つ。
- (2) こまめな水分補給を徹底する。
- (3) 注意喚起の掲示、放送等を行う。

10 その他

(1) 代表監督会議・レーン抽選

- ・日 時 令和7年7月11日(金) 15:30~16:15
- ・会 場 諫早パークレーン 監督会議室

(2) 開始式

- ・日 時 令和7年7月11日(金) 16:30~17:00
- ・会 場 諫早パークレーン

(7) ローイング競技

1 期 日 令和7年7月19日(土)・20日(日)

種 別	7月18日(金)	7月19日(土)	7月20日(日)
成年男子	公式練習	予 選 敗者復活	決 勝
成年女子			
少年男子			
少年女子			

2 会 場 諫早市

(1) 競技会場 本明川水上競技場

※開催不可 競漕会は天候にかかわらず行うことを原則とする。ただし、豪雨・強風等のために競技開催が不可能な場合は、下記により国スポ出場県を決定する。

- (1) 荒天等(雷・台風・強風等)で大会が開催できないときは、漕手のローイングマシン(距離1,000m)の合計タイムで国スポ出場県を決定する。
- (2) 荒天のため大会途中で中止となるときは、予選の終了している種目は、予選のタイム順とし、予選の終了していない種目は、原則として再レースを行う。
- (3) 再レースの開催方法は、長崎県実行委員会と競漕委員会が協議して決定する。ただし、成年種目は、漕手のローイングマシン(距離1,000m)の合計タイムで国スポ出場県を決定する。

(2) 練習会場 同 上

3 種別・種目及び参加人員

種 別	種 目	監督	小計 (監督)	選手	参加 県数	小計 (選手)	合計	本大会 代表数
成年男子	舵手つきフォア	1	8	6	8	48	320	3
	シングルスカル			1	8	8		3
成年女子	舵手つきクォドルプル	1	8	6	8	48		3
	ダブルスカル	兼任	/	2	8	16		3
	シングルスカル			1	8	8		3
少年男子	舵手つきクォドルプル	1	8	6	8	48		3
	ダブルスカル	1	8	2	8	16		3
	シングルスカル	兼任	/	1	8	8		3
少年女子	舵手つきクォドルプル	1	8	6	8	48		4
	ダブルスカル	1	8	2	8	16		2
	シングルスカル	兼任	/	1	8	8		3

4 競技上の規程及び方法

(1) 競技上の規程

- ア (公社)日本ローイング協会制定の「競漕規則・細則及びコース規格規定」による。
- イ 舵手の性別は問わない。

(2) 競技方法

- ア 予選、決勝により優勝クルー及び国スポ出場資格クルーを決定する。
- イ 決勝にいたるまで敗者復活戦の方法を採用する。

5 参加資格

国民スポーツ大会実施要項総則5に定めるもののほか、次による。

- (1) 選手は、当該県ローイング(ボート)協会及び(公社)日本ローイング協会に対し、本年度の団体登録、選手登録完了の者。
- (2) クルーの県別構成は、単一団体または当該県ローイング(ボート)協会に所属する2チーム以上の混成でもよい。ただし、クルー名は県名とする。
- (3) 選手の本大会エントリーは、1人1種別1種目とする。
- (4) 監督は、成年男子1人、成年女子舵手つきクォドルプル、少年男子・少年女子の舵手つきクォドルプルとダブルスカルに各1人の各県6人以内とし、成年女子のダブルスカルとシングルスカル、少年男子・少年女子のシングルスカルの兼任を認める。
- (5) 選手と監督の兼任はできない。
- (6) 監督は、(公財)日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認ローイングコーチ1、公認ローイングコーチ2、公認ローイングコーチ3、公認ローイングコーチ4のいずれかの資格を有する者であること。
- (7) 選手は、県名が表示されたユニフォームを着用すること。

6 競漕艇

- (1) 競漕艇は、(公社)日本ローイング協会競漕規則・細則第11条(艇最小重量等)細則に定める艇を使用する。
- (2) 参加県は舵手つきフォア、舵手つきクォドルプル、ダブルスカルについて、必要数を持参し使用する。ただし、沖縄県については開催県から借用できるものとする。
- (3) シングルスカルは、配艇で実施する。
- (4) 持参艇については、艇計量を行う。

7 表彰

各種目の第1位から第3位までに賞状を授与する。

8 参加申込方法

- (1) 所定のWebページ(国民スポーツ大会参加申込システム)へアクセスし、必要項目を入力の上、当該県スポーツ協会を通じて、令和7年6月20日(金)までに申込手続きを完了すること。
- (2) 参加申込後の選手の交代は、特別な事情がない限り認めない。なお、特別な事情で選手を交

代する場合は、長崎県実行委員会及び長崎県ローイング協会にて所定の様式で届けなければならない。

9 参加上の注意

オールなどを送るクルーは、次の場所に令和7年7月17日（木）12時～16時に到着するように送付すること。なお、配艇場へのオール等の移動、帰りの発送手続きについては、各クルーでお願いします。※オールを送る団体は事前に長崎県ローイング協会担当（植田 携帯 090-2586-1733）まで必ずご連絡ください。

送り先	本明川水上競技場特設会場
住 所	〒859-0101 長崎県諫早市高来町大戸
T E L	090-2586-1733（担当 植田京子）

10 熱中症対策について

こまめに水分補給をする。また、熱中症対策の注意喚起、放送等を行う。

11 そ の 他

（1）九州ローイング連盟役員会・理事会

- ・日 時 令和7年7月18日（金）15：00～16：30
- ・場 所 高来西ゆめ会館

（2）開始式・代表者会議

- ・開始式は実施しない。
- ・代表者会議は実施する。
- ・日 時 令和7年7月18日（金）17：00～18：00
- ・会 場 高来西ゆめ会館

（3）審判員会議

- ・日 時 令和7年7月19日（土）7：00～
- ・場 所 本明川水上競技場

（4）表彰式

- ・日 時 令和7年7月20日（日）競技終了後
- ・場 所 本明川水上競技場 本部席前

※表彰式は競技終了後、各種目ごとに表彰を行う。

競技終了後、1位から3位に入賞したクルーは本部席前に集合すること。

(8) 体操競技

- 1 期 日 競 技：令和7年7月20日（日）
 トランポリン：令和7年7月22日（火）
 新 体 操：令和7年7月24日（木）・25日（金）

種 別	種 目	7月19日（土）	7月20日（日）
成年男子	競 技	開始式・公式練習	自 由
成年女子	競 技	開始式・公式練習	自 由
少年男子	競 技	公式練習	自 由
少年女子	競 技	公式練習	自 由

種 別	種 目	7月21日（月）	7月22日（火）
男 子	トランポリン	公式練習	開始式・自由
女 子	トランポリン	公式練習	開始式・自由

種別	種 目	7月23日（水）	7月24日（木）	7月25日（金）
少年男子	新体操	公式練習	開始式・個人	団 体
少年女子	新体操	公式練習	開始式・個人	団 体

- 2 会 場 長崎市

(1) 競技会場

- ・競 技：長崎県立総合体育館メインアリーナ
- ・トランポリン： 同 上
- ・新 体 操： 同 上

(2) 練習会場

- ・競 技：長崎県立総合体育館メインアリーナ
- ・トランポリン： 同 上 メインアリーナ
- ・新 体 操： 同 上 サブアリーナ

3 種別及び参加人数

種 別	種 目	監督	小 計 (監督)	選 手	参加 県数	小 計 (選手)	合 計	本大会 代表数
男子	トランポリン	1	8	1	8	8	312	1
女子	トランポリン			1	8	8		1
少年男子	新体操	1	8	5	8	40		1
少年女子	新体操	1	8	5	8	40		4
成年男子	競 技	1	8	5	8	40		1
成年女子	競 技	1	8	5	8	40		1
少年男子	競 技	1	8	5	8	40		4
少年女子	競 技	1	8	5	8	40		4

※成年選手は監督を兼任することができる

4 競技上の規程及び方法

- (1) 公益財団法人日本体操協会制定の競技規則による。

(2) 新体操の競技方法

適用規則については、別途、公益財団法人日本体操協会のホームページにて周知する。

ア 競技内容（男女共通）

- ・団体競技（2025年度全国高校総体で採用された種目と同一とする。）
- ・個人競技（少年男子）（スティック・リング・ロープ・クラブ）
- ・個人競技（少年女子）（フープ・ボール・クラブ・リボン）

成績順位は、団体競技の得点及び個人競技の得点（4種目4演技×1／4）の合計得点によって決める。

イ 団体競技について

・各県ごとに団体を編成し、演技者は5名とする。

ウ 個人競技について

・個人競技の演技者として、団体5名のうちから4名だけが出場できる。

(3) トランポリンの競技方法

① 公益財団法人日本体操協会制定の競技規則及び採点規則による。

② 競技方法（男女共通）

ア 競技内容

・男女とも成年・少年はそれぞれ共通とし、個人競技で行う。

・第1自由演技と第2自由演技を行い2つの合計得点により順位を決定する。

※国スポブロック予選はこの試技結果で決定する。

※九州トランポリン競技選手権はこの試技を予選として1～8位までの選手が決勝に進出し、リフレッシュスタートにより決勝自由演技を実施する。

イ 第1自由演技について

・演技得点（Eスコア）＋跳躍時間点（Tスコア）＋移動減点（Hスコア）の3つの合計が第1自由演技の得点となる。

【特別要求】

演技は10種目の異なった種目で構成し、「前方の270度以上の宙返り」と「後方の270度以上の宙返り」をそれぞれ1回以上行わなければならない。これらの要求種目が欠如した場合は、合計点から2.0の減点がなされる。

(注)「よつんばい落ち」と「膝落ち」は実施種目には認められず、これを実施した時点で演技は中断となる。

ウ 第2自由演技及び決勝自由演技について

・10種目を自由に構成し、演技得点（Eスコア）＋難易度（Dスコア）＋跳躍時間点（Tスコア）＋移動減点（Hスコア）の4つの合計が第2自由演技の得点となる。

エ 器具について

・国際体操連盟公認トランポリン器具（ユーロトランプ4mm×4mm）1台を使用する。

(4) 体操競技の競技方法

成年男女及び少年男女ともに1チームの選手は5名とする。（5－5－4方式）

ア 成年（団体総合競技）

男子は、ゆか、あん馬、つり輪、跳馬、平行棒、鉄棒の6種目の自由演技を行う。

成績順位は、6種目の各種目ベスト4の得点総合計によって決定する。

女子は、跳馬、段違い平行棒、平均台、ゆかの4種目の自由演技を行う。

成績順位は、4種目の各種目ベスト4の得点総合計によって決定する。

なお、成年男女の詳細な適用規則については、別途、公益財団法人日本体操協会のホームページにて周知する。

イ 少年（団体総合競技）

男子は、ゆか、あん馬、つり輪、跳馬、平行棒、鉄棒の6種目の自由演技を行う。

成績順位は、6種目の各種目ベスト4の得点総合計によって決定する。

女子は、跳馬、段違い平行棒、平均台、ゆかの4種目の自由演技を行う。

成績順位は、4種目の各種目ベスト4の得点総合計によって決定する。

なお、少年男女の詳細な適用規則については、別途、公益財団法人日本体操協会のホームページにて周知する。

5 参加資格

第79回国民スポーツ大会実施要項総則5に定めるもののほか、次による。

(1) 競技種別などを重複して出場することはできない。

なお、少年（競技）種別に参加できる選手には、2010年4月2日から2011年4月1日までの間に生まれた中学3年生を含むものとする。

(2) 監督は、（公財）日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認体操コーチ3

(体操競技・新体操・トランポリン)、または、公認体操コーチ4(体操競技・新体操)のいずれかの資格を有するものであること。

(平成27年度まで認められていた年度内終了予定者の特例は認められない。)

6 表彰

体操競技・新体操は団体総合3位まで、トランポリンは個人3位まで表彰する。
ただし、表彰式は行わずに後日、各県協会宛に賞状を郵送する。

7 参加申込方法

所定のWebページ(国民スポーツ大会参加申込システム)へアクセスし、必要事項を入力の上、当該県スポーツ協会を通じて、指定した期日までに申込手続きを完了すること。

- ・競技：令和7年6月20日(金)
- ・トランポリン：令和7年6月27日(金)
- ・新体操：令和7年6月27日(金)

8 選手の最終決定

(1) 参加申込締切後の選手交代は、特別な事情がない限り認めない。

なお特別な事情で選手を交代する場合は、所定の交代届を下記期日までに長崎県実行委員会と長崎県体操協会へ提出すること。

なお、選手の交代については、予備登録選手との交代のみ認める。

提出期限

- ・競技：令和7年7月19日(土) 監督会議まで
- ・トランポリン：令和7年7月21日(月) 監督会議まで
- ・新体操：令和7年7月23日(水) 監督会議まで

(2) 各県の監督は、出場選手の確定名簿を監督会議開始前までに監督会議受付に提出すること。

(3) メンバーの最終決定は、競技・トランポリン・新体操それぞれの監督会議で行われる。

(4) 交代要員は、申込時に予備登録をすること。

競技は各種別2名、トランポリンは各種別1名、新体操は各種別2名まで予備登録ができる。

9 参加上の注意

(1) 各県派遣審判について

九州体操協会資料(令和7年3月2日九州理事会決定)に記載されている審判編成表による。

(2) 体操競技に出場する選手は、下記の背番号を各県で用意すること。

背番号の寸法(縦13cm×横18cm)・字(男子は黒色・女子は赤色)

福岡県	1～5	佐賀県	6～10	長崎県	11～15	熊本県	16～20
大分県	21～25	宮崎県	26～30	鹿児島県	31～35	沖縄県	36～40

(3) 各県の選手のユニフォームには、県マークを統一して付けること。

(4) プレーヤーは大会側で準備したものを使用し、CD(USB)は各県で準備すること。

10 熱中症対策について

長崎県立総合体育館アリーナの競技場内はエアコンを使用する。競技場外の場所については、熱中症予防対策を十分に行うこと。(こまめな水分補給等)。

11 その他

諸 会 議	競 技	トランポリン・新体操
審判会議	令和7年7月19日（土） 時間：14：00～ 場所：長崎県立総合体育館 2階（大研修室）	トランポリン 令和7年7月21日（月） 時間：15：00～ 場所：長崎県立総合体育館 1階（第2会議室） 新体操 令和7年7月23日（水） 時間：14：00 場所：長崎県立総合体育館 1階（第2会議室）
監督会議	令和7年7月19日（土） 時間：16：00 場所：長崎県立総合体育館 2階（大研修室）	トランポリン 令和7年7月21日（月） 時間：15：30～ 場所：長崎県立総合体育館 1階（第2会議室） 新体操 令和7年7月23日（水） 時間：15：30 場所：長崎県立総合体育館 1階（多目的室）
開 始 式	令和7年7月19日（土） 時間：11：45 場所：長崎県立総合体育館 メインアリーナ	トランポリン 令和7年7月22日（火） 時間：個人競技開始前 場所：長崎県立総合体育館 メインアリーナ 新体操 令和7年7月24日（木） 時間：予選開始前 場所：長崎県立総合体育館 メインアリーナ
九州理事会	令和7年7月19日（土） 時間：18：00 場所：長崎市内のホテルで調整中	

(9) ゴルフ競技

1 期 日 令和7年7月18日(金)

種 別	7月17日(木)	7月18日(金)
少年男子	公 式 練 習	競技・表彰式

2 会 場 大村市

- (1) 競技会場 大村湾カントリー倶楽部ニューコース
 (2) 練習会場 同 上

3 種別及び参加人員

種 別	監 督	選 手	参加県数	合 計	本大会代表数
少年男子	1	3	8	32	5

(注) 監督の選手兼任は不可。

4 競技上の規程及び方法

- (1) (公財) 日本ゴルフ協会ゴルフ規則及び本競技ローカルルールを適用する。
 (2) 競技は、18ホール・ストロークプレー競技とする。
 (3) 順位の決定について
 参加選手全員の18ホール合計スコアが最少となった県を第1位とする。2位以下もそれに続くものとする。
 ただし、合計スコアが同じ場合は、下記によって順位を決定する。
 ・合計のスコアが同スコアの場合は、チームの第1位のスコアにより決定する。
 ・さらに同スコアの場合は、チームの第2位のスコアにより決定する。
 ・それでも決定しない場合は、第1位者間のマッチングスコアカード方式による。
 (4) 悪天候等により競技の続行ができない時は、競技委員会が協議し決定する。
 (5) 使用球リスト：ローカルルールひな型G-3を適用する。
 このローカルルールの違反の罰：失格(オフィシャルガイドP561)
 (6) 各県の登録選手Aを第1グループ、同選手Bを第2グループ、同選手Cを第3グループとして競技をスタートする。悪天候、その他競技スタート時間の繰り下げ、中断等の場合は第2あるいは第3グループが競技を完了しないこともあり得る。

5 参加資格

第79回国民スポーツ大会実施要項総則5に定めるもののほか、次による。

- (1) 監督・選手は、(公財) 日本ゴルフ協会の登録者であること。
 (2) 少年男子に参加できる選手には、2010年4月2日から2011年4月1日までの間に生まれた中学3年生を含むことができる。
 (3) 監督は、(公財) 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認ゴルフコーチ1、公認ゴルフ教師、公認ゴルフ上級教師のいずれかの資格を有する者であること。

6 表 彰

第1位から第3位までに賞状を授与する。

7 参加申込方法

- (1) 所定のWebページ(国民スポーツ大会参加申込システム)へアクセスし、必要項目を入力の上、当該県スポーツ協会を通じて、令和7年6月20日(金)までに申込手続きを完了すること。
- (2) 申込締切後の選手の交代等
九州ブロック大会総則10(3)による。
ただし1名に限る。変更の締切りは監督会議開催前までとする。

8 参加上の注意

- (1) 選手は、各県の統一ユニフォームを着用し、必ず県名を表示すること。
- (2) 表彰式において、服装はゴルフウェアもしくは制服とする。
- (3) 公式練習日のスタートは、午前8:00とする。
- (4) 競技日のスタートは、午前8:00とする。競技終了後は直ちに表彰式を行う。
※18ホール続けてのプレーとする。

9 熱中症対策について

- 乗用カートの使用を認める。(乗車可)
- 選手・監督・役員等に対して飲料提供を行う。
- 看護師を配置し、選手等の体調管理を行う。
- 注意喚起の掲示、放送等を行う。

10 その他

- (1) 監督会議
 - ・日 時 令和7年7月17日(木) 14:00~14:30
 - ・会 場 大村湾カントリー倶楽部ニューコース
- (2) 開始式
 - ・日 時 実施しない
- (3) 表彰式
 - ・日 時 令和7年7月18日(金) 競技終了後
 - ・会 場 大村湾カントリー倶楽部ニューコース

11 代表権の取り扱いについて

- 悪天候等により競技開催ができない場合、代表権の決定は大会時の競技委員会にて決定する。

(10) スポーツクライミング競技

1 期 日 令和7年7月25日(金)～27日(日)

種 別	7月25日(金)	7月26日(土)	7月27日(日)
成年男子	開始式	リード競技(L)	ボルダー競技(B) 表彰式
少年男子			
少年女子			

2 会 場 大村市

(1) 競技会場

・リード競技 長崎県立大村高等学校

・ボルダー競技 グルーンおおむら(ボートレース大村)

(2) 練習会場 同 上

(3) 開始式等 大村市中央公民館(シーハットおおむら)

3 種別及び参加人員

種 別	種 目	監督	選手	参加県数	小計	合計	本大会代表数
成年男子	リードL ボルダーB	1	2	8	24	72	3
少年男子	リードL ボルダーB	1	2	8	24		3
少年女子	リードL ボルダーB	1	2	8	24		3

4 競技上の規程及び方法

公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会が定めた現行の審判規則・基準による。

5 参加資格

(1) 第79回国民スポーツ大会参加資格・所属都道府県及び年齢基準による。

(注) ブロック大会に出場する選手(交替選手を含む)は、公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会に選手登録を行っていないなければならない。

(2) 選手と監督の兼任は認めない。

(3) 監督は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認スポーツクライミングコーチ1～コーチ4のいずれかの資格を有する者であること。

6 表 彰

各種別総合の第1位から第3位まで表彰式で賞状を授与する。

また、各種別・種目別賞状についても第1位から第3位まで式典後選手へ授与する。

7 参加申込方法

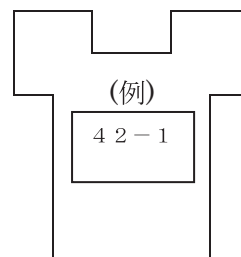
(1) 所定のWebページ(国民スポーツ大会参加申込受付窓口)へアクセスし、必要項目入力の上、当該県スポーツ協会を通じて、令和7年6月27日(金)までに申込手続きを完了すること。

- (2) 参加申込締切り後の選手変更は、大会総則 10(3)の手続により監督会議の前までに行うこと。

8 参加上の注意

- (1) 参加選手・監督は、事前に健康診断を受ける等、健康管理には万全を期すること。
- (2) 参加選手は、ナンバーカードをユニフォームの指定の場所に確実に取り付けること。ナンバーカードは受付時に主催者が選手 1 名につき 2 枚配布する。

貼付位置 上着の背面中央
表示内容 県番号と個人番号



- (3) 県番号は次のとおりとする。
- 福岡県(40) 佐賀県(41) 長崎県(42) 熊本県(43)
大分県(44) 宮崎県(45) 鹿児島県(46) 沖縄県(47)
- (4) 参加選手・監督は、健康保険証を必ず持参すること。

9 熱中症対策について

熱中症対策の注意喚起、放送等を行う。

10 その他

- (1) 受付
- | | | | |
|---------|-----|--------------------------|-------------|
| 役員・審判受付 | 日 時 | 令和7年7月25日(金) | 13:00~13:30 |
| | 会 場 | 大村市中央公民館(シーハットおおむら)第1会議室 | |
| 監督・選手受付 | 日 時 | 令和7年7月25日(金) | 14:00~15:00 |
| | 会 場 | 大村市中央公民館(シーハットおおむら)第1会議室 | |
- (2) 審判会議
- ・日 時 令和7年7月25日(金) 13:40~15:20
 - ・会 場 大村市中央公民館(シーハットおおむら)第5会議室
- (3) 監督会議
- ・日 時 令和7年7月25日(金) 15:40~16:10
 - ・会 場 大村市中央公民館(シーハットおおむら)第3会議室
- (4) 開始式
- ・日 時 令和7年7月25日(金) 16:30~17:00
 - ・会 場 大村市中央公民館(シーハットおおむら)第3会議室
- (5) 表彰式及び閉会式
- ・日 時 令和7年7月27日(日) 16:00~
 - ・会 場 ボートレース大村イベントホール

11 連絡事項

- (1) 質問について
- 実施要項・要領に関する質問は、令和7年6月27日(金)までに下記宛にメール又は郵送のこと。なお、監督会議は時間短縮のため連絡事項程度の伝達のみとする。

〒 : 856-0026
住所 : 長崎県大村市池田1-1327-21 増田 正治 気付
電話 : 090-8411-1782
MAIL : masaharu@octp-net.ne.jp

- (2) 輸送計画について

① 宿舎・競技場・諸会議会場間の移動は各自で行うこと。

- ② 宿舎への交通機関については、会場案内図・アクセスマップにより事前に経路を確認のこと。
- (3) 成績等の発表及び掲示について
成績は、リード会場に到達高度・時間を提示し、ボルダー競技会場に完登数・ゾーン獲得数・アテンプト数を提示する。
- (4) 荒天時(台風)の競技について
国民スポーツ大会競技全種目についての共通規則「第4章組織の運営 第15条(4)」により判断する。
 - ① 競技の変更とは、競技日程、競技方法を変更することをいい、中止は決定した当該競技を実施しないことをいう。
 - ② 競技の変更及び中止の判断が生じたときには、その結果について速やかに選手・監督等競技関係者に周知する。
 - ③ リード壁が屋外環境にあり、雨天対策が万全とはいいがたいので、天候次第でリード競技・ボルダー競技の日程の入れ替えを行うこともある。
 - ④ ③の事項が発生した時及び翌日荒天による競技の中止時には別途選手・監督へ連絡する。
- (5) その他
 - ① リード競技場は屋外のため、雨への備えは各自で対応すること。
 - ② 競技会場での病気・怪我の場合、救護所で応急処置を行う。必要な場合は、医療機関まで救急搬送するが、治療後医療機関から宿舎までは各自で対応のこと。
 - ③ 各県の岳連旗を持参し、7月25日(金)の選手・監督受付時に提出すること。
 - ④ 競技中の選手を紹介するため、別紙「選手プロフィール用紙」に記入して、7月25日(金)の選手・監督受付時に提出すること。
 - ⑤ ナンバーカードは、ユニフォームの指定の場所に剥がれないように取り付けること。なお、ナンバーカードを付けていない競技者は、競技に参加できない。
 - ⑥ 選手・監督は、開始式・閉会式に際し同一ユニフォームを着用すること(上着のみ)。
 - ⑦ クライミング競技会場への選手・監督及び関係者の立入り出来る日時は、7月20日(日)19時までとする。
 - ⑧ 選手・監督の駐車場は事前に連絡のあった指定の場所を利用すること。
 - ⑨ クライミングロープについては主催者が準備する。

令和7年度 国民スポーツ大会 第45回九州ブロック大会
スポーツクライミング競技 質問票

県番号	県名	種別	種 目	送付年月日		
		成年男子 少年男子 少年女子	リード ボルダー	令和 年 月 日		
監督氏名		住 所 ・ 電話番号				
		〒 Tel				
質問内容						
質問票受理		担 当 者 印		審判部より回答票受理		担 当 者 印
令和 年 月 日				令和 年 月 日		
審判部へコピー回送		担 当 者 印		質問票への回答票送付		担 当 者 印
令和 年 月 日				令和 年 月 日		

令和7年度国民スポーツ大会 第45回九州ブロック大会 選手プロフィール用紙

県名・種別	県				成年男子・少年男子・少年女子			
ナンバーカード (都道府県番号－枝番)	－ 1				－ 2			
ふりがな 氏名								
グレード	リード		ボルダー		リード		ボルダー	
	オンサイト レッドポイント		オンサイト レッドポイント		オンサイト レッドポイント		オンサイト レッドポイント	
過去の大会での 主な成績								
選手自己PR (・今大会への意気 込み、目標 ・クライミングに 懸ける思い)								
監督からの コメント								

※ナンバーカードの枝番は、必ず参加申込書と同一にしてください。

※グレードは、必ず記載してください。

※本紙が未提出の場合は、県名、選手名等の最小限の紹介に留めます。

※7月25日（金）選手・監督受付時に提出してください。

(1 1) 空手道競技

1 期 日 令和7年7月26日(土)

種 別	7月26日(土)
成年男子	得点方式
成年女子	
少年男子	
少年女子	

2 会 場 諫早市

- (1) 競技会場 諫早市小野体育館メインアリーナ
 (2) 練習会場 諫早市小野体育館サブアリーナ

3 種別及び参加人員

種 別	監 督	小 計 (監督)	選 手	参加 県数	小 計 (選手)	合 計	本大会 代表数
成年男子	1	8	1	8	8	40	2
成年女子			1	8	8		2
少年男子			1	8	8		2
少年女子			1	8	8		2

※九州地区協議会枠2枠の種別は幹事会により決定した。

※監督は選手を兼ねることができない。

4 競技上の規程及び方法

- (1) 競技は、公益財団法人全日本空手道連盟競技規定により行う。
 (2) 競技方法
 ア 試合は、得点方式とする。
 イ 競技運営システムを使用する。
 ウ 予選(R1)は、第1指定形もしくは第2指定形の中から選ばなければならない。
 「バッサイダイ」、「セイエンチン」、「ジオン」、「カンクウダイ」、「セイシャン」、「チントウ」、
 「サイファ」、「セーパイ」、「クルルンファ」、「セーサン」、「エンピ」、「カンクウショウ」、
 「マツムラローハイ」、「ニーパイボ」、「クーシャンクー」、「ニーセーシー」
 エ メダルマッチは全空連得意形リストの中から選ばなければならない。
 オ 選手は競技前に演武する形名を記録席に届けることとする。
 カ 選手は、ラウンドごとに異なる形を演じなければならない。

5 参加資格

第79回国民スポーツ大会実施要項総則5に定めるもののほか、次による。

- (1) 選手は、公益財団法人全日本空手道連盟の登録会員及び公認初段位以上の取得者でなければならない。
 (2) 公認初段位の取得は受審基準「満15歳以上」かつ「義務教育を修了した者」を満たすものとする。
 なお、少年段位の取得者は、公認段位へ移行手続きをすること。
 (3) 監督は、公益財団法人全日本空手道連盟公認地区組手審判員以上及び公益財団法人日本スポーツ協会
 公認スポーツ指導者制度に基づく、公認空手道コーチ3、公認空手道コーチ4のいずれかの資格を有
 する者であること。

(注) 公益財団法人全日本空手道連盟が会員登録システムで参加申込書入力資格及び取得年月日等を確認
 できない場合、参加申込責任者は問合せに対し即答できるよう、確認できる物を用意しておくこと。

6 表 彰

各種別の第1位から第3位までに賞状を授与する。

7 参加申込方法

- (1) 所定のWebページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスし、必要項目を入力の上、当該県スポーツ協会を通じて、令和7年6月27日（金）までに申込手続きを完了すること。
- (2) 申込後の選手の交代は、大会総則10（3）による。

8 参加上の注意

選手の服装は表彰式・競技中ともに空手道衣とするが、監督の服装はトラックスーツとする。なお、監督の腕章は、各県連で用意する。

9 そ の 他

(1) 審判会議

- ・日 時 令和7年7月26日（土） 10:30～11:10
- ・会 場 諫早市小野体育館 第1会議室

(2) 監督会議

- ・日 時 令和7年7月26日（土） 11:20～12:00
- ・会 場 諫早市小野体育館 第3会議室

(3) 開始式

- ・日 時 令和7年7月26日（土） 12:15～12:30
- ・会 場 諫早市小野体育館 メインアリーナ

(4) 閉止式

- ・日 時 令和7年7月26日（土） 14:20～14:35
- ・会 場 諫早市小野体育館 メインアリーナ

10 熱中症対策について

- (1) 屋外等、空調設備の整っていない場所でのウォームアップや練習には注意すること。
- (2) 試合間及び待機中にこまめな水分補給を行うよう、定期的にアナウンスすること。
- (3) 体調の異変を感じた際は、直ぐに救護所に行って診てもらうよう周知徹底すること。

競技別実施要項

後 期 競 技

(1) ハンドボール競技

- 1 期 日 少年種別 令和7年8月16日(土)・17日(日)
成年種別 令和7年8月19日(火)・20日(水)

種 別	8月16日(土)	8月17日(日)
少年男子	1回戦	代表決定戦
少年女子	1回戦	代表決定戦
種 別	8月19日(火)	8月20日(水)
成年男子	1回戦	代表決定戦
成年女子	1回戦	代表決定戦

- 2 会 場 佐世保市

- (1) 競技会場 少年種別 8月16日(土)～17日(日)
成年種別 8月19日(火)～20日(水)

- ・成年男子：佐世保市体育文化館 メインアリーナ
- ・成年女子：佐世保市体育文化館 メインアリーナ
- ・少年男子：佐世保市体育文化館 メインアリーナ
- ・少年女子：佐世保市体育文化館 メインアリーナ

- (2) 練習会場 同 上

- 3 種別及び参加人員

種 別	監 督	選 手	参加県数	小 計	合 計	本大会代表数
成年男子	1	12	8	104	416	2
成年女子	1	12	8	104		3
少年男子	1	12	8	104		3
少年女子	1	12	8	104		2

※成年選手は、同種別の監督を兼任することができる。

- 4 競技上の規程及び方法

- (1) 競技上の規程

競技規則は、令和7年度公益財団法人日本ハンドボール協会競技規則による。

- (2) 競技方法

ア 競技時間は、全種別とも下記のとおりとする。

なお、同点の場合は第1延長～第2延長～7mスローコンテストの正規で行う。

前 半	休 憩	後 半
30分	15分	30分

イ 試合方法は、各種別トーナメント方式をもって実施する。

また、代表決定後の決勝戦は行わない。なお、成年女子、少年男子は第3代表決定戦を行う。

- 5 参加資格

国民スポーツ大会実施要項総則5に定めるもののほか、次による。

- (1) 原則として、公益財団法人日本ハンドボール協会に登録したチーム、選手であること。
- (2) 各県の申込み前に公益財団法人日本ハンドボール協会へ国スポ一時登録を完了したチーム、チーム役員、選手であること。
- (3) すべての種別のチーム編成は、単一または2チーム以上の混成にしてもよい。

- (4) 監督は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認ハンドボールコーチ3または公認ハンドボールコーチ4の資格を有すること。また、試合前にその公認資格証を提示すること。

6 表 彰

各種別の代表権を獲得した県に賞状を授与する。

7 参加申込方法

- (1) 所定のWebページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスし、必要項目を入力の上、当該県スポーツ協会を通じて、令和7年7月25日（金）までに申込手続きを完了すること。
- (2) 申込後の監督・選手の交代、背番号の変更は、大会総則10（3）により所定の手続きが完了したもの以外は認めない。なお、所定の手続きをした場合、監督・主将会議に手続き用写しを提示し、了承を受けなければならない。

8 参加上の注意

選手の背番号は、1～12とする。

- (1) 大会に参加するチームは、単独・選抜のチーム構成にかかわらず、チーム名は県名とする。
- (2) ユニフォームは、コートプレイヤー、ゴールキーパーそれぞれ2着以上の色の異なるものを用意し、2着とも胸に県名を表記しなければならない。
- (3) 監督（チーム役員）・選手は、（公財）日本ハンドボール協会発行の登録証を持参しなければならない。また、監督は公認資格証（コーチ・指導員）も持参しなければならない。各試合の開始前に登録証を持って本人であることを確認する。登録証を携帯していない、または不備がある場合は、試合に参加、出場することができない。
- (4) 参加資格違反やその他不都合な行為があった場合は、該当チームの出場を停止することがある。
- (5) 監督（チーム役員）・選手は、屋内用競技シューズと屋外用シューズの区別をすること。
- (6) 全会場とも両面テープの使用のみ認める。松脂の使用は認めない。

9 熱中症対策について

- (1) 全日程において冷房設備を使用して実施する。また、冷房設備の故障等により、温度や湿度が非常に高い環境になった場合、「給水タイム」を設定する。

10 その他

- (1) TO会議 会期前に長崎県内で開催する。
- (2) 審判会議 事前に資料を配付した上で、時間・場所は対象者あてに別途連絡する。
- (3) 代表者会議 ・オンラインで開催
・日時 全種別 令和7年8月12日（火） 19:00～19:45
各チーム 代表者が2名以内で参加する。
- (4) 開始式 開催しない
- (5) 閉会式は実施せず、表彰は関係試合終了後に賞状授与のみ実施する。
- (6) 自然災害及び感染症等により大会が開催できない場合は、九州協会での協議し代表権を決定する。

(2) フェンシング競技

1 期 日 令和7年8月16日(土)・17日(日)

種 別	8月16日(土)	8月17日(日)
成年女子	エペ	フルーレ
	※エペ・フルーレともプール戦で、1チーム3名編成による紅白戦	
少年男子	フルーレプール戦①	フルーレプール戦②
少年女子	1チーム3名による紅白戦	1チーム3名による紅白戦

2 会 場 島原市

- (1) 競技会場 島原復興アリーナ
(2) 練習会場 島原復興アリーナ

3 種別及び参加人員

種 別	監 督	選 手	参加県数	小 計	合 計	本大会代表数
成年女子	3		8	24	88	2
少年男子	1	3	8	32		2
少年女子	1	3	8	32		3

※成年女子の監督は、選手を兼ねる。

4 競技上の規程及び方法

- (1) 競技規則は、F I E規則及び(公社)日本フェンシング協会の定める競技規則による。
(2) 試合方法は以下のとおりとする。

【少年男女】

- ① 1チーム3名選手による紅白戦(3試合)とする。
② 紅白戦の全県プール戦を2回実施する。

【成年女子】

- ① 1チーム3名選手による紅白戦(3試合)とする。
② 2種目の紅白戦の全県プール戦を実施する。

(3) 男女とも5本勝負で試合時間は3分間〔実動〕とする。

規定の試合時間終了時に同点の場合は、1分間〔実動〕延長し1本勝負を行う。この1分間の試合開始前に1分間終了後にも同点である場合の勝者を決定するための抽選を行う。この場合、記録表に記入するスコアはポイントで勝者が決定した場合は勝者に1ポイントを与える。優先権で勝者が決定した場合は両者にはポイントを与えない。

〔※3：2で終了した場合 V3：2〕

3：3で試合時間が終了の場合、ポイントで決まった場合 V4：3

優先権で決まった場合 V3：3〕

(4) プール戦における順位は、次の順序により決定される。

【全種別】

- ① チーム勝数の多い方を上位とする。
② (上記①が同数の場合) 個人勝数の多い方を上位とする。
③ (上記①・②が同数の場合) 突数差の多い方を上位とする。
④ (上記①～③が同数の場合) 突数の多い方を上位とする。
⑤ (上記①～④が同数の場合) 代表1名による決定戦(5本勝負)を行う。

【成年女子】

エペ・フルーレ 種目ごとに下記のポイントを与える。

1位：10点 2位：7点 3位：6点 4位：5点
5位：4点 6位：3点 7位：2点

- ① 取得ポイントの2種目の合計が多い方を上位とする。
- ② (上記①が同点の場合) チーム勝数の合計の多い方を上位とする。
- ③ (上記①・②が同数の場合) 個人勝数の合計の多い方を上位とする。
- ④ (上記①～③が同数の場合) 突数差の合計の多い方を上位とする。
- ⑤ (上記①～④が同数の場合) 突数の合計の多い方を上位とする。
- ⑥ (上記①～⑤が同数の場合) 2種目の代表1名による決定戦(5本勝負)を行う。
- ⑦ (上記⑥が1勝1敗の場合) 2種目の突数差の合計の多い方を上位とする。
- ⑧ (上記⑦が同数の場合) 差異が生じるまで2種目の代表決定戦を行う。

【少年男女】

試合日ごとに下記のポイントを与える。

1位：10点 2位：7点 3位：6点 4位：5点
5位：4点 6位：3点 7位：2点

- ① 取得ポイントの2日間の合計が多い方を上位とする。
- ② (上記①が同点の場合) チーム勝数の合計の多い方を上位とする。
- ③ (上記①・②が同数の場合) 個人勝数の合計の多い方を上位とする。
- ④ (上記①～③が同数の場合) 突数差の合計の多い方を上位とする。
- ⑤ (上記①～④が同数の場合) 突数の合計の多い方を上位とする。
- ⑥ (上記①～⑤が同数の場合) 代表1名による決定戦(5本勝負)を行う。

5 参加資格

第79回国民スポーツ大会実施要項総則5に定めるもののほか、次による。

- (1) 監督は、(公財)日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認フェンシングコーチ1、公認フェンシングコーチ3、公認フェンシングコーチ4のいずれかの資格を有する者であること。
- (2) 監督・選手は、県予選会以前に(公社)日本フェンシング協会へ本年度の登録を完了していること。なお、少年種別に参加できる選手には、2010年4月2日から2011年4月1日までの間に生まれた中学3年生を含むものとする。

6 表彰

各種別の第1位から第3位までに賞状を授与する。

7 参加申込方法

- (1) 所定のWebページ(国民スポーツ大会参加申込システム)へアクセスし、必要項目を入力の上、当該県スポーツ協会を通じて、令和7年7月25日(金)までに申込手続きを完了すること。
- (2) 申込後の選手の交代は、特別な事情がない限り認めない。なお、特別な事情で選手を交代する場合は、長崎県実行委員会及び長崎県フェンシング協会あてに所定の様式で、監督会議前までに届け、監督会議にて決定する。

8 熱中症対策について

熱中症対策のため、注意喚起の掲示、放送等を行う。

9 その他

(1) 用具検査

・日 時 令和7年8月15日(金) 14:00~17:00
8月16日(土)~17日(日) 8:30~試合終了まで

・会 場 島原復興アリーナ

(2) 技術委員会

・日 時 令和7年8月15日(金) 15:00~16:00

・会 場 島原復興アリーナ

(3) 監督会議

・日 時 令和7年8月15日(金) 16:30~17:00

・会 場 島原復興アリーナ

(4) 審判会議

・日 時 令和7年8月16日(土) 8:30~

・会 場 島原復興アリーナ

(5) 開 始 式

開始式及び閉会式は実施いたしません。

(3) アーチェリー競技

1 期 日 令和7年8月17日(日)

種 別	8月16日(土)		8月17日(日)	
成年男子	監督会議	14:00~14:30	競 技	9:30~13:30
成年女子	用具検査	14:30~16:00	WA70mラウンド	(昼食は競技終了後とする)
少年男子	公式練習	14:30~16:00	表 彰 式	14:30~15:00
少年女子	開 始 式	16:30~17:00	閉 会 式	

2 会 場 諫早市

- (1) 競技会場 長崎県立諫早東高等学校 グラウンド
(2) 練習会場 同 上

3 種別及び参加人員

種 別	監 督※1	選 手	参加県数	小 計※2	合 計※3	本大会代表数※4
成年男子	2名以上 4名以下	3	8	32	128	2
成年女子		3	8	32		2
少年男子		3	8	32		4
少年女子		3	8	32		4

※1 監督の配置は、2名以上4名以下とする。監督が参加種別の数に満たない場合は、少年の部へ優先して配置すること。

※2、※3 最大数を示す。

※4 本大会への代表となった県が、出場を辞退した場合は、理由の如何を問わず、新たな予選会を実施することなく、この大会での次順位の県が代表権を得る。その県も、辞退した場合には、次の次順位の県が代表権を得る。以下、これを繰り返す。

4 競技上の規程及び方法

(1) 競技上の規程

- ア 公益社団法人全日本アーチェリー連盟競技規則の「アウトドアターゲットアーチェリーラウンド」による。
イ 競技は、70mラウンド(72射)とし、各種別の同一選手をもって行う。
ウ 選手、監督の兼任はできない。
エ 参加資格に不備や虚偽のものが出場した場合には、そのチームを大会から除外して行う。

(2) 競技方法

- ア 各距離とも1標的4名(A・B・C・D)で、2立射ちとする。
イ 競技は、6射3分(×12回)とする。
ウ 競技開始前に、3分フリー(×1回)の試射を行う。
エ 得点の記録は、その矢を所有する競技者の呼称に従って、高い得点から順に記入し、当該標的の他の競技者は、呼称した得点と記入得点を確認する。
オ 競技は、音響・視覚時間管理装置により進行する。
カ 本大会への代表の県を決定する場合は、得点により順位を付けて上位からとする。なお、得点が同点のため本大会代表数以上となった場合は、同点の県による1チーム3射(各競技者1射)のシュートオフを実施し、順位を決定する。

5 参加資格

国民スポーツ大会実施要項総則5に定めるもののほか、次による。

- (1) 参加選手は、本年度の公益社団法人全日本アーチェリー連盟に会員競技者登録を完了し、「A・J・A・Fターゲットスターバッジ」の資格を取得している者であること。
監督は、本年度の公益社団法人全日本アーチェリー連盟に会員登録を完了し、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認アーチェリーコーチ1、公認アーチェリーコーチ2、公認アーチェリーコーチ3、公認アーチェリーコーチ4のいずれかの資格を有する者であること。
- (2) 各予選の結果、代表として選抜推薦された競技者をもってチームを編成しなければならない。
- (3) 少年種別に参加できる選手には、2010年4月2日から2011年4月1日までに生まれた中学3年生を含むものとする。

6 表 彰

各種別の第1位から第3位までに賞状を授与する。

7 参加申込方法

- (1) 所定のWebページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスし、必要項目を入力の上、当該県スポーツ協会を通じて令和7年7月25日（金）までに申込手続きを完了すること。
- (2) 選手変更等
参加申込締切後の選手の変更は、疾病、傷害等特別な事情でない限り認められない。なお、変更する場合には、各県予選会出場者に限り変更を認める。ただし、監督会議の前日までに大会総則10（3）により申し出ること。

8 参加上の注意

- (1) 参加出場者のユニフォームは、チーム内が同一のもので、上衣には所属県が明記されたものを着用すること。
- (2) 選手の事情による得点記録の代理者においても、上記と同様の服装とする。
- (3) 監督は、交付される監督腕章を当該種別競技中、左腕に付けなければならない。
- (4) 「スターバッジ」及び「公益社団法人全日本アーチェリー連盟競技者登録会員証」は常時携帯し、用具検査時の求めに応じて提示しなければならない。
- (5) 開始式・表彰式には、監督・選手ともユニフォームを着用し、必ず参加のこと。
- (6) 参加県は、各県旗を持参すること。なお、これに要する旗竿は100cm×150cmの旗に見合った長さのものを開催地において準備する。
- (7) 本大会に出場する全選手の成績の記載された県予選会成績表（A4）1部を大会開催2週間前までに開催県協会事務局あてに提出すること。

9 熱中症対策について

- (1) 試合中にクーリングブレイクとして3エンドごとに10～15分程度をとる。
- (2) 避暑用テントを設置し、選手等の体調管理を行う。
- (3) 注意喚起の掲示、放送等を行う。

10 その他

- | | | | |
|-----------|------|--------------|-------------|
| (1) 監督会議 | ・日 時 | 令和7年8月16日（土） | 14:00～14:30 |
| | ・会 場 | 長崎県立諫早東高等学校 | 会議室 |
| (2) 用具検査 | ・日 時 | 令和7年8月16日（土） | 14:30～16:00 |
| | ・会 場 | 長崎県立諫早東高等学校 | グラウンド |
| (3) 公式練習 | ・日 時 | 令和7年8月16日（土） | 14:30～16:00 |
| | ・会 場 | 長崎県立諫早東高等学校 | グラウンド |
| (4) 開 始 式 | ・日 時 | 令和7年8月16日（土） | 16:30～17:00 |
| | ・会 場 | 長崎県立諫早東高等学校 | グラウンド |

(4) サッカー競技

1 期 日

- ・成年男子 令和7年8月23日(土)～24日(日)
- ・少年男子 令和7年8月23日(土)～24日(日)
- ・少年女子 令和7年8月23日(土)～24日(日)

種 別	8月23日(土)	8月24日(日)
成年男子	1回戦・代表決定戦	代表決定戦
少年男子	パートリーグ戦	パートリーグ戦
少年女子	1回戦	代表決定戦

2 会 場 島原市・雲仙市

(1) 競技会場

- ・成年男子：国見総合運動公園多目的芝生広場(天然芝)
長崎県立百花台公園サッカー場(人工芝)
島原市営平成町人工芝グラウンドA
- ・少年男子：島原市営平成町多目的運動広場 A、B、Cコート(天然芝)
島原市営陸上競技場(天然芝)
- ・少年女子：島原市営平成町人工芝グラウンドA、Bコート(人工芝)

(2) 練習会場

- ・成年男子：長崎県立百花台公園サッカー場(人工芝)
- ・少年男子：島原市営平成町人工芝グラウンドAコート(人工芝)
- ・少年女子：島原市営平成町人工芝グラウンドBコート(人工芝)

3 種別及び参加人員

種 別	監 督	選 手	参加県数	小 計	合 計	本大会代表数
成年男子	1	15	8	128	392	3
少年男子	1	16	8	136		4
少年女子	1	15	8	128		3

※ 成年種別の監督は、選手を兼ねることができる。

4 競技上の規程及び方法

- (1) 試合は、大会実施年度の公益財団法人日本サッカー協会競技規則による。
- (2) 成年種別及び少年男子は、試合開始前に登録された交代要員の内、5名まで交代が認められる。
ただし、交代枠を使用後、プレーの続行が困難な負傷等が発生した場合に、追加で1名に限り交代して退いた競技者が再び出場することが認められる。
少年女子は、試合開始前に登録された交代要員は、再交代(交代して退いた競技者が交代要員となって再び出場可能)が認められる。
- (3) 本大会は、日本サッカー協会が定める懲罰規定に基づき本大会に係る懲罰問題を処理するため、大

会規律委員会を設置する。本大会において退場を命じられた選手等は、次の1試合に出場できず、それ以降の処置については本大会の規律委員会において決定する。

(4) 本大会期間中、警告を2回受けた選手等は、次の1試合に出場することができない。

5 競技方法

(1) 成年男子

ア トーナメント方式とする。(フリー抽選)

イ 試合時間は70分(35分ハーフ)とし、ハーフタイムのインターバルは10分とする。勝敗が決しないときは、ペナルティーキック方式により勝敗を決定する。

・第1日目 1回戦2試合を行う。第3代表決定戦1試合を行う。

・第2日目 代表決定戦2試合を行い、2代表を決定する。

(2) 少年男子

ア Aパート(4チーム)・Bパート(4チーム)のリーグ戦方式により代表を決定する。

九州サッカー協会主催の「2025九州トレセンリーグU-16」の結果、Aパートを1位・2位・7位・8位、Bパートを3位・4位・5位・6位とする。

イ 試合時間は70分(35分ハーフ)とし、ハーフタイムのインターバルは10分とする。

ウ Aパートの1～4位、Bパートの1～4位の順位を決定する。

Aパートの1・2位、Bパートの1・2位を代表とする。 ※決勝トーナメントは行わない。

・第1日目 各パートのリーグ戦を行う。(1チーム1試合)

・第2日目 各パートのリーグ戦を行う。(1チーム1試合)

・勝敗が決しない場合はPK戦を行う。

(少年男子パートリーグ戦の順位決定方式)

① 勝ち点(勝3点、PK勝1.5、PK負0.5、敗0点)とする。

勝ち点が同じ場合

② 当該チーム間の対戦成績

③ 当該チーム間の得失点差

④ 当該チーム間の総得点数

⑤ パート内での得失点差

⑥ パート内での総得点数

⑦ 抽選の順序で決定し、遡らない。

(3) 少年女子

ア トーナメント方式とする。

九州サッカー協会主催の「2025九州トレセンリーグU-16」の結果、1位をシードとし6位と7位の勝者と代表決定戦を行う。また2位をシードとし、5位と8位の勝者と代表決定戦を行う。3位と4位が代表決定戦を行う。

イ 試合時間は70分(35分ハーフ)とし、ハーフタイムのインターバルは10分とする。勝敗が決しないときは、ペナルティーキック方式により勝敗を決定する。

・第1日目 1回戦3試合を行う。

・第2日目 代表決定戦3試合を行い、3代表を決定する。

6 表 彰

各種別の代表権獲得県には、国スポ九州ブロック予選会通過賞状を授与する。

7 参加資格

第79回国民スポーツ大会実施要項総則5に定めるもののほか、次による。

- (1) 各都道府県の成年男子、少年男子及び少年女子の代表チームは、単独・補強または、選抜のうち、いずれかの方法により編成すること。
- (2) 成年男子
 - ア 公益財団法人日本サッカー協会定款第50条に基づき制定された「サッカー選手の登録と移籍等に関する規則」第2条に定める登録選手が参加できる。
 - イ 2008年12月31日以前に生まれた者が参加できる。
 - ウ 成年男子代表チームについて、高2・3年生のみの編成は不可とし、高校2・3年生の登録できる人数は5名以内とする。
- (3) 少年男子
 - ア 公益財団法人日本サッカー協会定款第50条に基づき制定された「サッカー選手の登録と移籍等に関する規則」第2条に定める登録選手が参加できる。
 - イ 中学3年生を含む2011年4月1日以前に生まれた者から2009年1月1日以降に生まれた者が参加できる。
- (4) 少年女子
 - ア 公益財団法人日本サッカー協会定款第50条に基づき制定された「サッカー選手の登録と移籍等に関する規則」第2条に定める登録選手が参加できる。
 - イ 中学3年生を含む2011年4月1日以前に生まれた者から2009年1月1日以降に生まれた者が参加できる。
- (5) 外国籍競技者の参加
外国籍競技者の参加については第79回国民スポーツ大会実施要項総則5(1)アを適用する。
- (6) 監督
チーム(全種別)の監督は、公益財団法人日本サッカー協会公認指導者ライセンスに基づく、JFA公認S級コーチ、JFA公認A級コーチ(日本スポーツ協会コーチ4)、JFA公認B級コーチ(日本スポーツ協会コーチ3)のいずれかの資格を有する者であること。
- (7) 選手証
 - ア 公益財団法人日本サッカー協会が発行する選手証(写真貼付)を所持すること。
 - イ この大会に登録された選手の選手証(写真貼付)は、大会本部からの要請があればすぐに提示できるように常に携帯しておくこと。

※ 選手証とは、公益財団法人日本サッカー協会WEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証を印刷したものとする。

8 参加申込方法

- (1) 所定のWebページ(国民スポーツ大会参加申込システム)へアクセスし、必要項目を入力の上、当該県スポーツ協会を通じて、令和7年8月1日(金)までに申込手続きを完了すること。
- (2) 参加申込み後の変更

- ア 参加申込み後の選手交代は、特別な事情がない限り認めない。なお、特別な事情で選手を交代する場合は、長崎県実行委員会及び長崎県サッカー協会あて所定の様式で届けなければならない。なお、疾病、傷病以外の場合は、（一社）九州サッカー協会の審議を経て変更を認めるものとする。
- イ 各県スポーツ協会発行の所定の文書並びに医師の診断書を監督会議の前までに提出すること。
- ウ 参加申込み後のユニフォームおよび背番号の変更についても認めないものとする。

9 参加上の注意

(1) ユニフォーム

- ア 公益財団法人日本サッカー協会ユニフォーム規程による。
 - イ 「チーム名」として必ず都道府県名を表示すること。
 - ウ ユニフォームは正・副2色（シャツ・ショーツ・ソックス、GK用共）を参加申込書に記入すること。
 - エ ユニフォームへの広告表示は認めない。
- (2) 要項記載事項に違反した場合は、大会規律委員会及び（一社）九州サッカー協会理事会の裁定に従うものとする。

10 熱中症対策について

- (1) 公益財団法人日本サッカー協会発布の熱中症対策ガイドラインに基づいて実施する。
- (2) 各会場にWBGT計を備え、計測した数値により対策を講じる。
- (3) 各会場の観戦者に対しても注意喚起の掲示、放送を行うなど熱中症対策の周知を図る。

11 その他

監督会議（60分程度）

- ・日時：令和7年8月18日（月） 19:00～20:00
 - ・会場：成年男子
 少年男子
 少年女子
- } WEBミーティング方式にて開催（全種別合同）

12 付 記

雷・台風等の自然災害時においては可能な限り限られた範囲内で最大限大会を実施する。実施不可能と判断される場合は大会本部と各種別競技関係者において対応を決定する。対応策が無い場合は抽選で決定する。

(5) ボクシング競技

1 期 日

(1)開 会 式 令和7年8月21日(木)15:00

(2)競技日程 令和7年8月22日(金)～24日(日)

種 別	8月21日(木)	8月22日(金)	8月23日(土)	8月24日(日)
成年男子	監督会議 組合せ抽選	1 回 戦	準 決 勝	決 勝
女子		1 回 戦	準 決 勝	決 勝
少年男子	開会式	1 回 戦	準 決 勝	決 勝

(3)閉 会 式 令和7年8月24日(日)競技終了後

2 会 場

(1)競 技 雲仙市小浜体育館

〒854-0517 長崎県雲仙市小浜町マリーナ3番地 1 TEL:0957-74-3901

(2)開会式 同 上

(3)閉会式 同 上

3 種別及び参加人員

種 別	監督	セカンド	選手	参加県	小 計			合計 (人)	本大会 代表数
					監督	セカンド	選手		
成年男子	1	—	5	8	8	—	40	112	4
女子	1	—	1	8	8	—	8		1(+1)
少年男子	1	—	5	8	8	—	40		4

(注1)監督・セカンドとも一般社団法人日本ボクシング連盟(以下、日本連盟)役員登録済みであること。

(注2)監督・セカンドと選手の兼任はできない。(サブセカンド・アシスタントセカンドは除く)

(注3)令和7年8月1日(金)正午までに、各都道府県連盟事務局より日本連盟事務局へ各ブロック予選大会女子種別への参加の有無、および女子種別都道府県予選会への参加数を連絡。

(注4)日本連盟事務局は、各ブロック別女子種別参加者一覧を作成し、各ブロック予選大会への参加者数が多い上位3ブロックへ1枠ずつ割り当てる。

(注5)各ブロック予選大会への参加者数が同じだった場合、ブロックの県数とブロック構成都府県数による充足率が多いブロックへ割り当てる。それでも同じ場合は、都府県予選会の女子種別への参加者数が多いブロックへ割り当てる。

4 競技上の規程及び方法

(1)競技規則は、2025年度日本連盟競技規則による。

(2)代表チーム編成は、次の各階級とする。

<成年男子>

ライトフライ、フライ、バンタム、ライト、ライトウェルター、
ウェルター、ミドル、ライトヘビーの以上8階級。

<女子>

フライの1階級。

<少年男子>

ピン、ライトフライ、フライ、バンタム、ライト、ライトウェルター、ウェルター、ミドルの以上8階級。

(3)成年男子及び少年男子種別における代表チームの階級の選定は全て異なった階級とし、規定された8階級のうち任意の5階級に出場する。

(4)競技は、トーナメント方式で行い、3位決定戦及び順位決定戦は行わない。

(5)試合時間は、下記のとおりとする。

種 別	第1ラウンド	休憩	第2ラウンド	休憩	第3ラウンド
成年男子	3分	1分	3分	1分	3分
女子	3分	1分	3分	1分	3分
少年男子	2分	1分	2分	1分	2分

(6)組合せ抽選は、監督会議と並行して行う。

(7)競技日程

期 日	健診・計量等		競技等開始時刻	
令和7年 8月21日 (木)	13:00 14:00 15:00	受付開始(スポーツエントリーズチェック) 監督会議・組み合わせ抽選会 開会式	【注 意】 スポーツエントリーズチェックは、スポーツエントリーズチェック提出用紙及び健康申告書等を受付に提出 13:00～14:00(随時受付)	
8月22日 (金)	08:30	女子、少年男子、成年男子の順 (雲仙市小浜体育館)	10:30	女子・少年男子・成年男子の順
8月23日 (土)	08:30	女子、少年男子、成年男子の順 (雲仙市小浜体育館)	10:30	女子・少年男子・成年男子の順
8月24日 (日)	08:30	女子、少年男子、成年男子の順 (雲仙市小浜体育館)	10:00 競技終了後	女子・少年男子・成年男子の順 閉会式

(注1)健診・計量は種別・階級ごとにセッション制を導入し、各種別に設けた時間に行う。受付終了時刻を厳守。遅刻は一切認めない。(詳細は監督会議にて告知)

(注2)競技は、女子種別、少年男子種別、成年男子種別の順に行う。

(8)勝敗は得点数により決定する。

(9)順位決定方法

ア 総合成績順位は競技得点の合計とし、得点の多い県順に第1位から第4位までを決定する。ただし、同点の場合は、(ア)1位の数による(イ)2位の数による(ウ)3位の数による(エ)(ウ)までに決定しない場合は監督の抽選により決定する。

イ 競技得点

成年男子、女子、少年男子とも各種目(各階級)に1位5点、2位3点、3位(2名)各1点及び勝ち点1点の得点を与える。

5 参加資格

わた SHIGA 輝く国民スポーツ大会実施要項総則5に定めるもののほか、次による。

監督は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく公認ボクシングコーチ1、公認ボクシングコーチ3、公認ボクシングコーチ4のいずれかの資格を有すること。

※ 本大会が開催される年度の4月1日時点(2025年4月1日)で公認スポーツ指導者資格を有し、かつ有効期限が本大会が開催される年度の末日(2026年3月31日)以降であること。

6 表彰

個人、団体ともに3位まで表彰する。ただし、個人の表彰は準決勝・決勝の試合後に行い、団体の表彰は閉会式で行う。

7 参加申込方法

(1)所定のWebページ(国民スポーツ大会参加申込システム)へアクセスし、必要項目を入力の上、当該県スポーツ協会を通じて、令和7年8月1日(金)までに申込手続きを完了すること。

(2)参加申込締切後の選手の変更は、疾病、傷害等の特別な場合のみ認めるものとし、「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適応を受ける選手又は各県の選考会に出場した選手に限り認める。ただし、その場合、下記提出先に、それぞれ医師の診断書を添えて、文書で届けなければならない。また、参加申込み階級の変更は認めない。その取り扱いについては次の通りとする。

ア 提出期限 令和7年(2025年)8月18日(月)必着

(注)下記イ(ア)、(イ)への申込みについては書留郵便又は宅配便等により送付すること。

イ 提出先

(ア) 〒852-8118 長崎市松山町 2-5 県営野球場内

(公財)長崎県スポーツ協会 長崎県実行委員会事務局 TEL 095-845-2083

(イ) 〒851-0121 長崎市宿町38番地 A201

長崎県ボクシング連盟 理事長 山口幸次 TEL 090-8833-8448

8 参加上の注意

(1)必ず個人で持参するもの

選手手帳、健康保険証、競技用具(ユニホーム、ヘッドギア(スイミングキャップ)、シューズ、マウスピース、カッププロテクター〈男子種別〉、チェストガード〈成年女子種別〉、ローブローガード〈女子種別〉等)。

ア ヘッドギア(少年男子種別、女子種別)

(ア) 日本連盟の検定品マークのついているもので劣化していないもの。

(イ) 清潔で状態の良いものであること。

(ウ) コーナー色のヘッドギア(赤色及び青色)を着用すること。

(エ) 長髪の選手は、スイミングキャップを下に被ること。

イ ユニホーム

(ア) コーナー色(赤色及び青色)のものを着用すること。

(イ) 詳細は、日本連盟のユニフォームガイドラインによる。

ウ マウスピース

赤色及び赤色系統の色が含まれたマウスピースは使用できない。

エ カッププロテクター及びローブローガード(女子種別)

(ア)全ての男子競技者はカッププロテクターを着用しなくてはならない。女子の競技者は任意である。

(イ)使用の際は標的領域(ターゲットエリア)を覆ってはならない。

オ チェストガード(女子種別)

女子は競技能力を妨げず胸部に良くフィットしたチェストガードを着用してもよい。チェストガードは背部の留め金以外に金属を使用してはいけない。あばら骨を含むターゲットエリアを覆ってはならない。

(2)バンテージは日本連盟検定品を使用し、各自持参すること。

(3)毛髪、身体装飾品・器械、入れ墨・タトゥーについては、日本ボクシング連盟医事ハンドブック CHAPTER Xを厳守すること。

ア 前額部を覆う長髪は視野を制限し、眼球傷害を引き起こしてしまう。長髪の場合は、ゴム等で適切にまとめ、目に入らない様にしなければならない。ヘッドガードを使用する少年男子・女子はヘアネットかスイミングキャップをかぶってまとめた後に装着しなければならない。ヘアピンなどのアクセサリは使用してはならない。ヘアネット又はスイミングキャップは、必ず個人で持参すること。

イ ボクシング競技では、ピアスなどの身体装飾品の装着は認められない。また、身体のどの部位についても、サイズの大小にかかわらず、入れ墨・タトゥーは認められない。シールも同様である。なお、植え込み器械(電子機器を含む)または身体機能を変える可能性のある器械の装着については、循環器専門医の許可(診断書)があれば、要注意下に競技可能である。

(4)女子種別については、以下の項目を遵守すること。

ア 競技の服装

上半身はノースリーブ、下半身はトランクスまたは競技用スカートとすること。トランクスの下にスパッツの着用は許されるが、トランクスの長さより短くなければならない。

イ 計量

同性の役員がいらない場合、競技用服装等を着用しての計量から、着用の服装の重量を控除して計量することができる。

ウ 健康申告書

毎日の健診で、日本連盟競技規則別紙5の申告書を提出しなければならない。18歳以上の女子競技者は本人の署名及び捺印、18歳未満の女子競技者は本人及び両親あるいは法的後見人の中の一人から署名及び捺印を必要とする。

(5)競技中の疾病・負傷等の応急処置は主催者が行うが、以降の責任は負わない。

(6)選手手帳は大会日数分の記載欄があるもので、写真が貼付されているものであること。なお、会場での選手手帳の発行は一切行わない。

(7)監督・セカンドは、日本連盟に2025年度の役員登録済みの者であること。チーフセカンドについては、日本連盟公認セカンド資格のA級かB級のいずれかを有していること。

(8)CTスキャン(またはMRI)にて「頭蓋内病変」及び「くも膜のう胞」がないことの証明を受けていること。

(9)年一度の「総合健診」を受けていること。血液、尿検査は必ず受け、入学時や就職時などの節目に心電図、レントゲン検査を受けていること。

(10) 上記(1)～(9)における詳細は以下の最新版規定による。

- ・日本連盟競技規則
- ・日本連盟ユニフォームガイドライン
- ・日本連盟医事ハンドブック
- ・日本連盟公認セカンドに関する規定

9 その他

(1) スポーツエントリーズチェック

実施日	実施時間	実施場所
令和7年8月21日(金)	13:00～14:00 (随時受付)	雲仙市小浜体育館

(注1) スポーツエントリーズチェック提出用紙に従い関係書類を提出する。

(注2) ソフトコンタクトレンズを装着し競技をする場合、エントリーズチェック提出用紙で申告しなければならない(使用時矯正視力両眼とも 0.4 以上無ければならない)

(2) 監督会議(組み合わせ抽選)、開会式

実施日	実施時間	会 議	実施場所
令和7年 8月21日(木)	14:00	監督会議(組合せ抽選)	雲仙市小浜体育館
	15:00	開会式	

(3) 練習会場

日程	時間	場所
令和7年8月21日(木)	12:00 ～ 18:00	雲仙市小浜体育館 サブアリーナ
8月22日(金)	8:00 ～ 18:00	
8月23日(土)	8:00 ～ 18:00	
8月24日(日)	8:00 ～ 競技終了	

10 熱中症対策について

競技特性上、水分の欠如が多く考えられるので、水分は十分取り各自で熱中症対策を行う事。
大会期間中は、館内放送などで注意喚起を行う。

(6) ウエイトリフティング競技

1 期 日 令和7年8月23日(土)・24日(日)

種 別	8月23日(土)	種 別	8月24日(日)
成年男子 少年男子	・55kg級 ・61kg級 ・67kg級 ・73kg級 ・81kg級 ・89kg級	成年男子	・96kg級 ・109kg級 ・+109kg級
		少年男子	・96kg級 ・102kg級 ・+102kg級

2 会 場 諫早市

(1) 競技会場 諫早市小野体育館

(2) 練習会場 諫早市小野体育館 サブアリーナ

3 種別及び参加人員

種別	監督	選手	参加県数	合計	本大会代表数
成年男子	1名	9名	8県	152名	1位から2位まで2名 3位から5位まで1名
少年男子		9名	8県		1位から6位まで1名

4 競技上の規程及び方法

(1) 競技上の規程

競技規則は、2025年度(公社)日本ウエイトリフティング協会競技規則により実施する。

(2) 日程と実施方法

日程	階級	人数	検量開始時間	競技開始時間	競技終了時間
第1日	成年55kg級	8	7時00分	9時00分	11時30分
	61kg級	8			
	67kg級	8			
	少年55kg級	8	9時35分	11時35分	13時35分
	61kg級	8			
	67kg級	8			
	成年73kg級	8	11時40分	13時40分	16時10分
	81kg級	8			
	89kg級	8			
	少年73kg級	8	14時15分	16時15分	18時15分
	81kg級	8			
	89kg級	8			
第2日	成年96kg級	8	7時00分	9時00分	11時30分
	109kg級	8			
	+109kg級	8			
	少年96kg級	8	9時35分	11時35分	13時35分
	102kg級	8			
	+102kg級	8			

※参加人員により、組合せ階級・日程について変更する場合もある。

(3) 順位決定方法

- ・競技得点は、スナッチ及びクリーン&ジャークに次のとおり与える。
1位8点、2位7点、3位6点、4位5点、5位4点、6位3点、7位2点、8位1点
- ・順位は、参加選手の合計得点により決定する。なお、同点の場合は、上位者の多い県を上位とする。それでも同位の場合は抽選で決定する。

(4) 参加数の決定方法

- ①成年男子並びに少年男子は各県に2名を与える。(選手2名)
- ②成年男子は上記①以外に、下記により選手数を配分する。
 - ア 1位から2位までの県に2名を与える。
 - イ 3位から5位までの県に1名を与える。
 - ウ 国民スポーツ大会本大会の開催県がブロック内にある場合は、開催県はブロック大会に出場せず開催県と1位から2位までの県に2名を与え、3位から4位までの県に1名を与えるものとする。5位から7位の県の配分はない。
- ③少年男子は上記①以外に、下記により選手数を配分する。
 - ア 1位から6位までの県に1名を与える。
 - イ 国民スポーツ大会本大会の開催県がブロック内にある場合は、開催県はブロック大会に出場せず開催県と1位から6位までの県に1名ずつを与え、7位の県の配分はない。

5 参加資格

第79回国民スポーツ大会実施要項総則5に定めるもののほか、次による。

監督は、(公財)日本スポーツ協会公認スポーツ指導者の資格(コーチ1、コーチ2、コーチ3、コーチ4)のいずれかの資格を有する者であること。

6 表 彰

各階級、各種目の1位から3位までに賞状を授与する。

7 参加申込方法

- (1) 所定のWebページ(国民スポーツ大会参加申込システム)へアクセスし、必要項目を入力の上、当該県スポーツ協会を通じて令和7年8月1日(金)までに申込手続きを完了すること。
- (2) 申込後の階級変更は認めない。大会総則10(3)により所定の手続きが完了したもの以外は認めない。なお、所定の手続きをした場合、審判・監督会議に手続き用写しを提示し、了承を受けなければならない。

8 参加上の注意

- (1) 各県の代表選手は、ユニフォームに所属県名を表示するマークを必ず付けること。
- (2) 各県の統一ユニフォームを着用すること。

9 熱中症対策について

選手・監督、役員、観客に対する飲料提供及び注意喚起の掲示、放送を行う。

10 その他

- (1) 抽選は、九州ウエイトリフティング連盟がコンピュータシステム(乱数機能)にて行う。
- (2) 審判・監督会議
 - ・日 時 令和7年8月22日(金) 16時00分 ~
 - ・会 場 諫早市小野体育館 会議室1
- (3) 開始式
 - ・日程の都合により実施しない。(審判・監督会議のなかで開会宣言を行い開始式とする)
- (4) 閉会式
 - ・日 時 令和7年8月24日(日) 競技終了後
 - ・会 場 諫早市小野体育館 メインアリーナ

(7) ソフトテニス競技

1 期 日 令和7年8月23日(土)・24日(日)

種 別	8月23日(土)	8月24日(日)
成年男子	リーグ戦	リーグ戦
少年男子		
少年女子		

2 会 場 長崎市

(1) 競技会場 ベネックス総合運動公園かきどまり庭球場
(長崎市総合運動公園かきどまり庭球場)

(2) 練習会場 同 上

8月22日(10:00~17:00) 8月23・24日(07:50~08:30)

3 種別及び参加人員

種 別	監 督	選 手	参加県数	小計	合 計	本大会代表数
成年男子	1	5	8	48	144	2
少年男子	1	5	8	48		4
少年女子	1	5	8	48		4

4 競技上の規程及び方法

(1) 競技規程

- ア 競技は全て(公財)日本ソフトテニス連盟ソフトテニスハンドブックにより行う。
- イ 使用球は(公財)日本ソフトテニス連盟公認球(ケンコー・アカエム)の選択制とする。
- ウ ゼッケンを必ず着用すること。

(2) 競技方法

- ア 各種別とも点取り法によるダブルス2ペア・シングルス1名による対抗戦とし、マッチはすべて7ゲームとする。
- イ 対戦はダブルス・シングルス・ダブルスの順とする。ただし、1対戦中選手は重複して出場できない。
- ウ 対戦の都度オーダーを変えてもよい。
- エ メンバーに欠員が生じた場合のオーダーは、ダブルス・シングルの順に出場しなければならない。

(3) 選手・監督の交代について

- ア 選手・監督の交代は、原則として認めない。ただし、特別な事情があるときは、その理由を明記して監督会議までに、当該県スポーツ協会会長、競技団体会長から選手交代届を大会総則10(3)のとおり提出し、承認された者に限り出場できる。
- イ 選手と監督の入れ替えは認めない。

5 参加資格

国民スポーツ大会実施要項総則5に定めるものとする。

なお、少年種別に参加できる選手には、2010年4月2日から2011年4月1日までの間に生まれた中学3年生を含むものとする。

監督は、(公財)日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認ソフトテニスコーチ1、公認ソフトテニスコーチ2、公認ソフトテニスコーチ3、公認ソフトテニスコーチ4のいずれかの資格を有する者であること。

6 表 彰

各種別の第1位から第3位までに授与する。

7 参加申込方法

- (1) 所定のWebページ(国民スポーツ大会参加申込システム)へアクセスし、必要項目を入力の上、当該県スポーツ協会を通じて、令和7年8月1日(金)までに申込手続きを完了すること。
- (2) 参加申込選手に事故のあった時は、大会総則10(3)により、監督会議までに届け出、承認された者に限り変更を認める。なお、変更があった場合、所定の様式で8月23日(土)午前8時30分までに提出すること。

8 熱中症対策について

【 競技運営上の対策 】

- 監督・選手はベンチに座って応援する。日傘・うちわのコートへの持ち込みを認める。
(シルバーなどの反射するものはNG)
- チェンジサービスの際の水分補給(水筒・タオルを審判台の下に置く)を認める。
- ヒートルールを適用する場合は、競技規則により、ファイナルゲーム前に休憩時間を設ける。

【 会場運営上の対策 】

- 多目的広場を選手控え所とし、選手等の体調管理を行う。
- 注意喚起の掲示、放送等を行う。

9 その他

(1) 監督会議

- ・日 時 令和7年8月23日(土) 08:30 ~ 08:45
- ・会 場 ベネックス総合運動公園かきどまり庭球場クラブハウス

(2) 開 始 式

- ・日 時 令和7年8月23日(土) 08:50 ~ 09:10
- ・会 場 ベネックス総合運動公園かきどまり庭球場

(3) 会場住所

〒851-1134 長崎市柿泊町2210
TEL: 095-843-8100 FAX: 095-843-8101

(8) 軟式野球競技

1 期 日 令和7年8月23日(土)・24日(日)

種 別	8月23日(土)	8月24日(日)
成年男子	代表決定戦	代表決定戦

2 会 場 長崎市・諫早市

- (1) 競技会場 ・長崎県営野球場
・たちばなしんきんフィールド・オブ・ドリームス
(スポーツパークいさはや第1野球場)
- (2) 練習会場 ・SUNボールパークかきどまり
・たちばなしんきんボールパーク
(スポーツパークいさはや第2野球場)

3 種別及び参加人員

種 別	監 督	選 手	参加県数	小 計	合 計	本大会代表数
成年男子	1	15	8	128	128	5

4 競技上の規程及び方法

- (1) 競技上の規程
競技規則は2025年公認野球規則及び九州連合会で取り決めた特別規則を適用する。
なお、大会規程は公益財団法人全日本軟式野球連盟規程細則による。
- (2) 使用球は、公益財団法人全日本軟式野球連盟公認球M号を使用する。
- (3) 競技方法
1日目 8県による代表決定戦で、4県を選ぶ。
2日目 1日目の敗者4県によるトーナメント方式により、1県を選ぶ。

5 参加資格

第79回国民スポーツ大会実施要項総則5に定めるもののほか、次による。

- (1) 公益財団法人全日本軟式野球連盟に登録されたチームであること。
- (2) 公益財団法人全日本軟式野球連盟に登録されていないチームは、公益財団法人日本スポーツ協会及び公益財団法人全日本軟式野球連盟の定めた、スポーツ憲章並びに公益財団法人全日本軟式野球連盟で取り決めた事項の厳守を承諾したチームであること。
- (3) 未登録チームについては、参加料のほかに参加申込書並びに所定の承諾書を各県第一次予選会主催者に提出することによって仮登録とみなす。
- (4) 連盟の登録に関係なく、選抜チームを編成することができる。ただし、選抜チーム以外に参加希望チームがある場合は予選会を行わなければならない。
- (5) 予選会を行った参加チームによる選抜編成は差支えない。この場合、代表権を得たチームの意見を尊重する。
- (6) 「ふるさと選手制度」で参加する者は、総則5の別記1に該当する者とし、登録及び出場する県支部長に報告すること。
- (7) 選手は、2007年4月1日までに生まれた者とする。
なお、特例として2007年4月2日以降に生まれた者でも参加することができる。ただし、生徒は除く。なお、監督は選手として登録した場合、出場することができる。
- (8) 参加する監督は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認軟式

野球コーチ 1、公認軟式野球コーチ 2、公認軟式野球コーチ 3、公認軟式野球コーチ 4 のいずれかの有資格者であること。

(9) 参加人員

- ア 各県第一次予選から、国籍その他を調査し 16 名（監督 1 名、選手 15 名）以内で編成して出場すること。なお、監督は選手として出場することができる。
- イ 仮登録により出場するチームは、連盟の規程及び細則により編成されたチームでなければならない。
- ウ 各県支部は、ブロック大会参加申込時に 16 名の選手（監督含）登録の他に予備登録選手として 9 名まで登録することができる。

6 表 彰

代表権を獲得したチーム（県）に賞状を授与する。

7 参加申込方法

- (1) 所定の Web ページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスし、必要項目を入力の上、当該県スポーツ協会を通じて、令和 7 年 8 月 1 日（金）までに申込手続きを完了すること。
- (2) 選手・監督の変更は認めない。ただし、疾病、傷害等の特別な場合は資格審査の上、認めることもある。特別な事情で選手・監督を変更する場合は証明する書類（医師の診断書）を添付し、参加選手交代（変更）届を監督会議の 7 日前《8 月 15 日（金）》までに長崎県実行委員会と長崎県軟式野球連盟宛に提出すること。
なお、監督の変更が生じる場合には、公認軟式野球コーチ 1、公認軟式野球コーチ 2、公認軟式野球コーチ 3、公認軟式野球コーチ 4 のいずれかの有資格者とする。
- (3) 監督が監督会議の 7 日前を過ぎて疾病・傷害並びに特別な理由により不在となる事由が発生した場合は、資格審査の上、監督の変更を認めることもある。ただし、監督の変更は、登録選手および予備登録選手のうち上記の資格保有者とする。
- (4) 競技会において不正を行ったチームに対する措置は、公益財団法人全日本軟式野球連盟規程細則第 10 条を適用する。

8 参加上の注意

各県の代表選手は、ユニフォームの左腕に必ず所属県名を入れること。

9 熱中症対策について

公益財団法人全日本軟式野球連盟「J S B B 熱中症予防対策ガイドライン」に基づき実施する。

10 そ の 他

(1) 監督会議

- ・日 時 令和 7 年 8 月 22 日（金） 14：30～15：30
- ・会 場 ホテルグランドパレス諫早
〒854-0061 諫早市宇都町 3-35
TEL：0957-24-3939 FAX：0957-24-5858

(2) 開始式

実施しない。

(9) 柔道競技

1 期 日 令和7年8月24日(日)

種 別	8月24日(日)	
成年男子	リーグ戦	決勝トーナメント戦
少年男子	3位決定戦	決勝戦

2 会 場 諫早市

(1) 競技会場 諫早市中央体育館

(2) 練習会場 同上

3 種別及び参加人員

種 別	監 督	選 手	参加県数	小 計	合 計	本大会代表数
成年男子	1	5	8	48	96	3
少年男子	1	5	8	48		4

※成年選手は監督を兼任することができる。

4 競技上の規程及び方法

- (1) 試合は、最新の国際柔道連盟試合審判規程で行い、試合時間は4分間とする。
- (2) 勝敗の決定基準は、「一本」「技あり」「僅差」とする。「僅差」とは、双方の選手間に技による評価がない、または同等の場合、「指導」差が2以上あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。得点差が無く、かつ「指導」差が1以内の場合は「引き分け」とする。
- (3) チーム間の勝敗決定方法
 - ア 勝者数の多い方を勝ちとする。
 - イ アで同等の場合は、「一本勝ち」(それと同等の勝ちを含む)による勝者数の多いチームを勝ちとする。
 - ウ イで同等の場合は、「技あり」による勝利数の多いチームを勝ちとする。
 - エ リーグ戦において、全て同数の場合、チーム間は「引き分け」とする。
- (4) リーグ戦において、順位を決定する必要がある場合は、自由代表で本戦の4分1回を行い、差がない場合は時間無制限のゴールデンスコア方式により勝敗を決する(先に「技あり」以上の技評価を得た選手が勝ちとなり、先に「反則負け」を与えられた選手が負けとなる。)
- (5) 決勝トーナメントにおいて、チーム間の引き分けにおける代表戦は、「引き分け」であった対戦の中から抽選で1組を選び、時間無制限のゴールデンスコア方式により勝敗を決する。
- (6) ゴールデンスコアは、先に「技あり」以上の技評価を得た選手が勝ちとなり、先に「反則負け」を与えられた選手が負けとなる。
- (7) 試合方法
 - ① 抽選により2リーグに別れてリーグ戦を行う。
 - ② Aリーグ1位とBリーグ2位、Bリーグ1位とAリーグ2位による決勝トーナメントを行い、勝者同士で決勝戦を行う。また敗者同士で3位決定戦を行う。ただし、対戦が同リーグ同士になった場合には、試合は行わず、リーグ戦の順位をもって結果とする。
 - ③ 成年男子は1～3位、少年男子は1～4位を九州地区代表とする。
- (8) 柔道衣及びゼッケン

柔道衣は、全柔連柔道衣規格に適合したもの(上衣・下穿・帯)とし、上衣の背中には、必ず

下記の要領で所属県名と名字(姓)を明示したゼッケンを縫い付けること。

※「本連盟主催大会における柔道衣コントロール改正の適用について」(2023年7月24日)

③の共催大会のための協議が未開催のため、改正された柔道衣コントロール及び改正前の柔道衣コントロールのいずれかの柔道衣でも出場可とする。

ただし、国民スポーツ大会柔道競技会に出場する場合は、協議で定められた柔道衣コントロールで出場すること。

【例】

図1 ゼッケンの縫い付け方

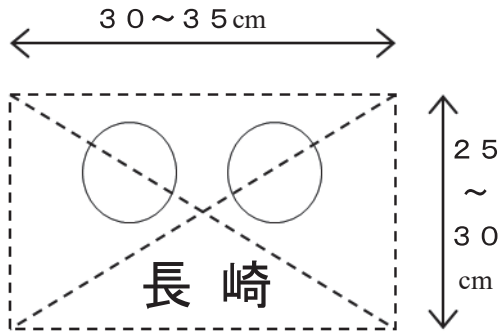
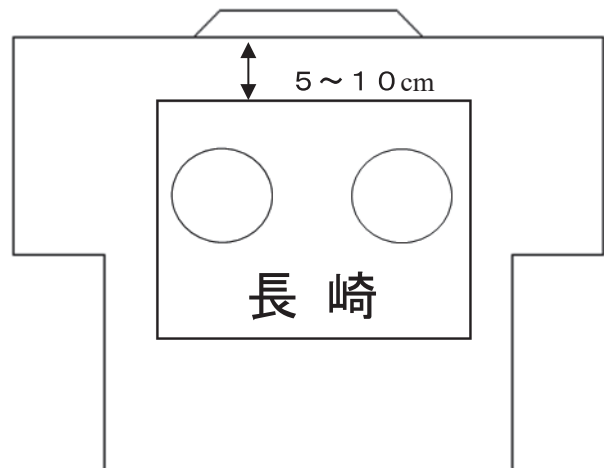


図2 ゼッケンの位置



※ゼッケンは、強い糸で図示のように縫いつけること。

ア 図1のとおり、-----の部分縫い付けること。(縦横並びに対角線)

イ 図2のとおり、後ろ襟から5~10cm下部に縫いつけること。

ウ 名字(姓)を上側2/3、県名を下側1/3に記載すること。

エ 書体は楷書で、太いゴシック体または明朝体とし、男子は黒色、女子は濃赤色とする。

オ サイズは縦25~30cm、横30~35cmとする。

5 参加資格

監督・選手の参加資格は、第79回国民スポーツ大会実施要項総則5に示された資格のほか、次による。

- (1) 参加者は、(公財)全日本柔道連盟に登録しており、登録をした県からのみ参加できる。
- (2) 成年種別に「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」で参加する者は、登録を行った都道府県にかかわらず、該当する県から参加できる。
- (3) 監督は、(公財)日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認柔道コーチ1、公認柔道コーチ2、公認柔道コーチ3、公認柔道コーチ4のいずれかの資格を有し、かつ、(公財)全日本柔道連盟公認柔道指導員資格制度に基づく、指導員の資格を有する者であること。

(4) 選手の配列順位

ア 成年男子

選手は、先鋒(体重60kg以下の者)、次鋒(体重60kgを超え73kg以下の者)、中堅(体重73kgを超え90kg以下の者)、副将(体重90kgを超える者)、大将(体重無差別)の順に配列すること。

イ 少年男子

選手は、先鋒（体重60kg以下の者）、次鋒（体重60kgを越え73kg以下の者）、中堅（体重73kgを超え90kg以下の少年）、副将（体重90kgを超え100kg以下の少年）、大将（体重無差別）の順に配列すること。

（５） 計量

選手は、本計量（計量器には1回限り上がる事ができる）に合格すること。

（６） 選手の年齢基準

ア 成年種別に参加する者は、2007年4月1日以前に生まれた者とする。

イ 少年種別に参加する者は、2007年4月2日以降に生まれた者とする。

ただし、中学生以下の生徒及び児童は参加することができない。

6 表 彰

各種別の第1位から第3位までに賞状を授与する。

7 参加申込み方法

（１） 所定のWebページ（国民スポーツ大会参加申込受付窓口）へアクセスし、必要事項を入力のうえ、当該県スポーツ協会を通じて、令和7年8月1日（金）までに申込み手続きを完了すること。

（２） 参加申込後に、選手が負傷等のため参加不可能な場合は、他の選手をもって代えることができる。ただし、大会総則10（３）により、令和7年8月23日（土）午後3時までに手続きを完了した場合に限る。

8 熱中症対策について

注意喚起の掲示、放送等を行う。

9 その他

（１） 審判・監督会議

○ 日 時 令和7年8月23日（土） 15：00～16：00

○ 会 場 諫早市中央体育館 会議室

（２） 計量

○ 日 時 令和7年8月23日（土） （非公式計量） 15：00～16：00

（公式計量） 16：00～17：00

○ 会 場 諫早市中央体育館
サブアリーナ

（３） 練習日時・場所

○ 日 時 令和7年8月23日（土） 13：00～17：00

○ 会 場 諫早市中央体育館 主会場

（４） 開始式

○ 日 時 令和7年8月24日（日） 10：00～

○ 会 場 諫早市中央体育館 主会場

10 代表権の取り扱いについて

(1) 悪天候による試合中止における代表権の取り扱い

大会中止の決定は前日の午後3時に九州柔道協会と協議の上決定する。

代表権については、九州柔道協会等と協議の上決定する。

また、悪天候等により、多数チームが出場できない場合の代表権の決定についても、九州柔道協会等と検討の上決定する。

(2) 悪天候による試合日程の短縮案、代表権の取り扱い

大会の予備日の設定及び短縮開催は実施しない。

(10) ソフトボール競技

1 期 日 令和7年8月23日(土)・24日(日)予備日25日(月)

種 別	8月23日(土)	8月24日(日)
成年男子	1回戦	2回戦・代表決定戦
成年女子	1回戦	代表決定戦
少年男子	1回戦	代表決定戦
少年女子	1回戦	代表決定戦

2 会 場 大村市・諫早市・東彼杵町

(1)競技会場

- ・ 成年男子：〔大村市総合運動公園運動広場 B・D 球場〕
- ・ 成年女子：〔大村市野球場〕
- ・ 少年男子：〔大村市総合運動公園運動広場 C・D 球場〕
- ・ 少年女子：〔大村市総合運動公園運動広場 A 球場〕

(2)練習会場 8月22日(金)

- ・福 岡 県：大村市鈴木運動広場
- ・大 分 県：長崎県立大村城南高等学校
- ・佐 賀 県：大村市森園運動広場
- ・宮 崎 県：大村市野球場補助グラウンド
- ・熊 本 県：諫早市なごみの里運動公園C球場
- ・鹿児島県：諫早市なごみの里運動公園F球場
- ・沖 縄 県：東彼杵町民グラウンド
- ・長 崎 県：諫早市なごみの里運動公園D球場

8月23日(土)・24日(日)試合前のチーム

試合会場の空きスペースで行う。

3 種別及び参加人数 480名

種 別	監 督	選 手	参加県数	小 計	合 計	本大会代表数
成年男子	1	14	8	120	480	1
成年女子	1	14	8	120		2
少年男子	1	14	8	120		2
少年女子	1	14	8	120		2

4 競技上の規定及び方法

(1)競技上の規定

- ア 競技規則は、「2025年度公益財団法人日本ソフトボール協会オフィシャル・ソフトボールルール」を適用する。但し、特別事項は、監督会議で決める。
- イ 5回以降7点以上の得点差によるコールドゲームを適用する。
- ウ 大会要項によりサスペンデッドゲームを採用する。
- エ 使用球は、成年男子「内外ゴム」、成年女子「ナガセケンコー」イエロー革製3号、少年男子「ナガセケンコー」、少年女子「内外ゴム」ゴム製3号球の検定球とする。

(2)試合方法

トーナメント方式による。代表権が確定するまで行う。

5 参加資格

第79回国民スポーツ大会実施要項総則5に定めるもののほか、次による。

- (1) 成年男女において、監督が選手を兼ねる場合は、選手登録をしなければならない。
- (2) 本大会に参加する監督は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認ソフトボールコーチ1、公認ソフトボールコーチ2、公認ソフトボールコーチ3、公認ソフトボールコーチ4の資格を有する者であること。

6 表 彰

各種別の第1位から第3位までに賞状を授与する。

7 参加申込方法

- (1) 所定のWebページ(国民スポーツ大会参加申込受付窓口)へアクセスし、必要項目を入力の上、当該県スポーツ協会を通じて、令和7年8月1日(金)までに申込手続きを完了すること。
- (2) 参加申込み締め切り後、特別な事情で選手交代(変更)する場合は、監督会議前日までに所定の様式を届け出なければならない。その場合、交代選手は本大会に出場するための県予選会(選考会を含む)にエントリーした選手の中から選ぶこととする。選手を交代する場合は、証拠となる資料(診断書等)の添付を必要とする。各県において国民スポーツ大会予選会を実施する場合には、必ず各県スポーツ協会との協議をした上で実施すること。

8 参加上の注意

- (1) 背中と胸下に番号をつけなければならない。監督は30番、主将は10番、他のプレーヤーは1番から99番までの番号とする。ユニフォームナンバーの大きさは、背中15cm以上で統一されたものであること。また、ユニフォームの上衣の胸下に背番号と同番号をつけること。大きさは、6cm以上12cm以内とする。
- (2) 競技に際しては、所属県名のみを明記したユニフォームを着用しなければならない。
ユニフォームの背中に個人名を付けてもよい。個人名を付ける場合は、ユニフォームのナンバーの上部にローマ字で全員付けること。
- (3) チーム名は、単独、補強及び選抜を問わず、所属県名のみを明示すること。
- (4) ベンチに入る人数は、監督1名、選手14名以内とする。

9 熱中症対策について

諸条件により給水タイムを取る場合がある。

そ の 他

(1) 監督会議及び抽選会

- ・ 日 時 令和7年8月22日(金) 14:00 ～ 15:00
- ・ 会 場 大村市郡コミュニティセンター
大村市富の原2丁目382番地1 電話番号:0957-55-3337

(2) 審判員・記録員会議

- ・ 日 時 令和7年8月22日(金) 15:00 ～ 16:00
- ・ 会 場 大村市郡コミュニティセンター
大村市富の原2丁目382番地1 電話番号:0957-55-3337

(3) 開始式

- ・ 日 時 令和7年8月22日(金) 17:00 ～ 18:00
- ・ 会 場 大村市総合運動公園 多目的広場
大村市黒丸町5-1

(1 1) バドミントン競技

1 期 日 令和7年8月23日(土)・24日(日)

種 別	8月23日(土)	8月24日(日)
成年男子	1回戦・2回戦・順位決定戦	決勝・順位決定戦
成年女子	1回戦・2回戦	決勝・第2代表決定戦
少年男子	1回戦・2回戦	決勝・第2代表決定戦

2 会 場 島原市

(1) 競技会場 島原復興アリーナ

(2) 練習会場 同 上

3 種別及び参加人員

種 別	監督	選手	参加県数	小計	合計	本大会代表数
成年男子	1	3	8	32	96	6
成年女子	1	3	8	32		2
少年男子	1	3	8	32		2

4 競技上の規程及び方法

(1) 競技上の規程

令和7年度(公財)日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程及び同公認審判員規程による。

(2) 競技方法

ア 組合せは、代表者会議において抽選を行う。

イ 各種別とも1複2単による各県対抗トーナメント方式及びバグナーワイルド方式とし、内2試合を得た方を勝ちとする。ただし、成年男子は変則トーナメント方式で上位6県を選ぶ。

ウ 勝敗決定後の試合は、打ち切る。

5 参加資格

第79回国民スポーツ大会実施要項総則5に定めるところによる。

なお、少年種別に参加できる選手は、平成22年4月2日から平成23年4月1日までの間に生まれた中学3年生を含むものとする。

監督は、(公財)日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認バドミントンコーチ1、公認バドミントンコーチ2、公認バドミントンコーチ3、公認バドミントンコーチ4のいずれかの資格を有する者であること。

6 表 彰

各種別の第1位と、バグナーワイルド方式の第1位(第2代表)及び第2位に賞状を授与する。

成年男子については、トーナメント方式の第3位まで賞状を授与する。

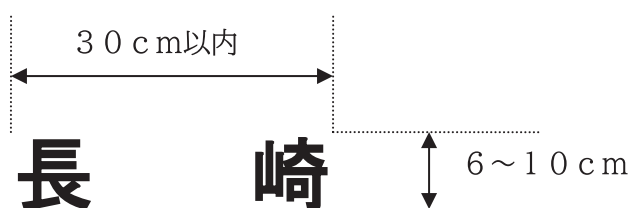
7 参加申込み方法

- (1) 所定のWebページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスし、必要項目を入力の上、当該県スポーツ協会を通じて、令和7年8月1日（金）までに申込手続きを完了すること。
- (2) 申込後の選手の変更は、疾病、傷害等特別な場合に限り認め、代表者会議開催前に変更届を提出すること。また、診断書も提出すること。

8 参加上の注意

競技に際しては、上衣背面中央に縦6～10cm、横30cm以内の範囲に都道府県名を明示すること。文字は、上衣背面の都道府県名明示部分の色と明確に区別できる文字色の漢字とする。また、ゼッケンを使用する場合には、縦15cm、横30cmを基準とし、必ず四隅を固定すること。なお、文字列の大きさについては公益財団法人日本バドミントン協会大会運営規程第24条による。

（例）



9 熱中症対策について

エアコンによる室温調整及び選手・監督、役員、観客等に対する飲料等の提供を行う。

10 その他

(1) 代表者会議

- ・日 時 令和7年8月22日（金） 16:00～17:00
- ・会 場 島原復興アリーナ(研修室)

(2) 開始式

- ・日 時 令和7年8月22日（金） 17:00～17:20
- ・会 場 島原復興アリーナ

(3) 審判会議

- ・日 時 令和7年8月22日（金） 18:00～19:00
- ・会 場 島原復興アリーナ（研修室）

(4) 練習会場

- ・日 時 令和7年8月22日（金） 13:00～16:00
- ・会 場 島原復興アリーナ

(1 2) 弓道競技

1 期 日 令和7年8月23日(土)・24日(日)

種 別	8月23日(土)	8月24日(日)
成年男子	近的1・2回戦	遠的1・2回戦 順位決定戦(近的による)
成年女子		
少年男子		
少年女子		

2 会 場 大村市

(1) 競技会場 大村市営弓道場

(2) 練習会場 同上

3 種別及び参加人員

種 別	監 督	小 計 (監督)	選 手	参加県数	小 計 (選手)	合 計	本大会 代表数
成年男子	1	8	3	8	24	120	4
成年女子			3	8	24		4
少年男子	1	8	3	8	24		3
少年女子	1	8	3	8	24		3

※ 選手と監督の兼任はできない。

4 競技上の規程及び方法

(1) 審判規程は、(公財)全日本弓道連盟競技規則による。

(2) 競技方法

ア 競技種目は、近的及び遠的競技とし、各種目とも各種別の同一選手によって行う。各種目毎にその順位により、下表の配点を行い、2種目の合計得点により種別の順位を決める。

順 位	1	2	3	4	5	6	7	8
得 点	8	7	6	5	4	3	2	1

イ 近的競技は坐射、遠的競技は立射で行う。

ウ 近的競技(射距離28m・36cm霞的・的中制・標的の中心は、敷上27cm・傾斜度5度)各種別とも、各自8射(4射ずつ2回)1チーム24射を行い、的中数により順位を決定し、順位得点を与える。

エ 遠的競技(射距離60m・100cm得点的・得点制・的の中心は地上97cm・傾斜度15度)各種別とも、各自8射(4射ずつ2回)1チーム24射を行い、得点数により順位を決定し、順位得点を与える。

オ 近的競技同中の場合は再競射を行わず、その順位を共有し次の順位を空位とする。順位得点はその合計を均分保有する。遠的競技は、競技規則38条を適用する。それでも同順位の場合は、再競射を行わず、その順位を共有し次の順位を空位とする。順位得点はその合計を均分保有する。

カ 各種目の合計順位得点が高点の場合は、その順位を共有し、次の順位を空位とする。但し、上位3位までの決定並びに本大会代表決定に係る場合に限り、近的にて、各自1射による競射を行う。

キ 日本弓を使用し、各自4矢のほか、予備の矢を持参すること。

ク 順位決定後に代表辞退が出た場合は次の県を代表とする。

5 参加資格

第79回国民スポーツ大会実施要項総則5に定めるもののほか、次による。

監督は、(公財)日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認弓道コーチ1、公認弓道コーチ2、公認弓道コーチ3のいずれかの資格を有する者であること。

6 表彰

各種別の第1位から第3位までに賞状を授与する。

7 参加申込方法

- (1) 所定のWebページ(国民スポーツ大会参加申込システム)へアクセスし、必要項目を入力の上、当該県スポーツ協会を通じて、令和7年8月1日(金)までに申込手続きを完了すること。
- (2) 申込書記載の立順は、変更することはできない。なお、やむを得ず選手を変更する場合は、大会総則10(3)により、監督会議前までに、届け出た者に限り認める。

8 熱中症対策について

- (1) 会場の換気と温度管理に留意する。
- (2) 注意喚起の掲示、放送等を行う。

9 その他

(1) 審判会議・監督会議

- ・日時 令和7年8月22日(金)
審判会議 15:00~15:40
監督会議 15:45~16:30
- ・会場 大村市中地区公民館
- ・住所 大村市古賀島町133番31
- ・電話 0957-53-1376

(2) 開始式

- ・日時 令和7年8月23日(土) 9:00~
- ・会場 大村市営弓道場(近的場)

(13) ライフル射撃競技

1 期 日 令和7年8月23日(土)・24日(日)

種 別	種 目	8月23日	8月24日
成年男子	50mライフル男子三姿勢60発競技(FR3×20)	決 勝	
	50mライフル男子伏射60発競技(FR60PR)		決 勝
	10mエア・ピストル男子60発競技(AP60)		決 勝
成年女子	50mライフル女子三姿勢60発競技(R3×20)	決 勝	
	10mエア・ライフル女子60発競技(AR60W)		決 勝
	10mエア・ピストル女子60発競技(AP60W)	決 勝	
少年男子	10mエア・ライフル少年男子立射60発競技(AR60J)		決 勝
	ビーム・ライフル少年男子60発競技(BR60J)	決 勝	
	ビーム・ピストル少年男子60発競技(BP60J)	決 勝	
少年女子	10mエア・ライフル少年女子立射60発競技(AR60WJ)	決 勝	
	ビーム・ピストル少年女子60発競技(BP60WJ)		決 勝

2 会 場 長崎市

(1) 競技会場 長崎県小江原射撃場

(2) 練習会場 同 上

3 種別及び参加人員

種 別	種 目	監 督	小 計 (監督)	選 手	参加 県数	合 計	本大会代 表数
成年男子	FR3×20	1	8	1	8	96	3
	FR60PR			1	8		3
	AP60			1	8		4
成年女子	R3×20			1	8		4
	AR60W			1	8		4
	AP60W			1	8		3
少年男子	AR60J			1	8		4
	BR60J			1	8		3
	BP60J			1	8		3
少年女子	AR60WJ			1	8		4
	BP60WJ			1	8		3

4 競技上の規程及び方法

(1) 準拠規程

各種目とも「ライフル射撃競技規則第1巻、第2巻最新版及び本国スポ要項」によるほか、本要項による。

(2) 服 装

競技規定に定められたもので、競技開始前に検査を受けるものとする。

(3) 銃器・弾薬

ア 10mライフル、AP種目の出場選手は、銃の所持許可証、射手手帳、及び会員証を、50mライフル種目の出場選手は、銃の所持許可証、火薬類譲受許可証、射手手帳、及び会員証を携帯し、用具検査の際に提示しなければならない。年少射撃資格者が銃を使用する場合は、当該空気銃の所持許可を受けている年少射撃監督者が帯同すること。ただし、省庁装備銃に関しては、所属長等の発行する携帯証明書をもって所持許可証に代えることができる。

イ 全ての銃は、公益社団法人日本ライフル射撃協会の公認シール（公認カード）が貼付されていること。

ウ 銃器は、各自携行し、競技開始前に検査を受けなければならない。

(4) 使用標的

- ア SB：電子標的
- イ AR：電子標的
- ウ AP：紙標的（4号G標的）
- エ BR：公式 10m BR射撃競技規則による標的
- オ BP：公式 10m BP射撃競技規則による標的

(5) 抗議

抗議に関しては、一般競技規則により処理する。

(6) 失格及び退場

「ライフル射撃競技規則」にいう「失格条項」に抵触した選手は失格とし、危害予防、円滑な大会運営にかかる競技役員等の指示に従わないものは退場させる。

(7) 競技方法

第79回国民スポーツ大会実施要項に定められた方法とするが、ファイナルは行わない。

5 参加資格

第79回国民スポーツ大会実施要項総則5に定めるもののほか、次による。

- (1) 大会に参加する監督・選手は、（公社）日本ライフル射撃協会の当該年度の会員登録者であり、インテグリティ講習を受講済のこと。
- (2) 監督は、（公財）日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認ライフル射撃コーチ3、公認ライフル射撃コーチ4のいずれかの資格を有する者で、かつ（公社）日本ライフル射撃協会認定B級コーチを有する者とする。なお、選手と監督は兼任できない。

6 表彰

各種目のブロック通過者に賞状を授与する。（表彰式は実施しない）

7 参加申込方法

- (1) 所定のWebページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスし、必要項目を入力の上、当該県スポーツ協会を通じて、令和7年8月1日（金）までに申込手続きを完了すること。
- (2) 申込後の選手の交代は疾病、傷害等特別な場合に限ることとし、大会総則10（3）の手続きを完了した者に限る。その可否は代表者会議において決定する。

8 参加上の注意

- (1) 参加選手はもちろん、監督は危害防止について細心の注意を払うこと。
- (2) 銃器、弾薬の携帯、保管については、各自十分注意すること。
- (3) 射座及び会場の清掃、整理整頓、後片付けは参加者全員が協力して実施すること。
- (4) ビーム・ライフル、ビーム・ピストル及びそれらに使用するバッテリーは各自持参すること。

9 その他

(1) 公式練習

- ・日時 令和7年8月22日（金）9：00～15：00
- ・会場 長崎県小江原射撃場

(2) 代表者会議

- ・日時 令和7年8月22日（金）15：00～16：30
- ・会場 長崎県小江原射撃場2階会議室

(3) 開始式・閉会式

実施しない。

(4) 熱中症対策

※館内放送及び掲示にて注意喚起を行う。

(1 4) 剣道競技

1 期 日 令和7年8月24日(日)

種 別	8月24日(日)
成年女子	リーグ戦
少年男子	
少年女子	

2 会 場 佐世保市

- (1) 競技会場 佐世保市東部スポーツ広場体育館メインアリーナ
 (2) 練習会場 佐世保市東部スポーツ広場体育館メインアリーナ及びサブアリーナ

3 種別及び参加人員

種 別	監 督	選 手	参加県数	小 計	合 計	本大会代表数
成年女子	3		8	24	120	3
少年男子	1	5	8	48		3
少年女子	1	5	8	48		3

4 競技上の規程及び方法

(1) 競技上の規程

- ア (公財)全日本剣道連盟剣道試合・審判規則・同細則及びに本大会の実施要項による。
 イ 審判員は剣道七段以上65歳以下とし、原則として各県5名(沖縄県3名)、開催県13名(審判長含む)とする。

(2) 競技方法

- ア 試合は、総当たりリーグ戦とし、勝者数法で行う。
 イ 試合は3本勝負とし、時間は4分とする。勝敗が決しない場合は引き分けとする。
 ※一試合ごとの代表者戦は行わない。

(3) 順位決定(次の順により順位を決定する。)

- ① 勝ち数の多いチーム。
- ② 引き分け数の多いチーム。
- ③ 勝者数の多いチーム。
- ④ 総本数の多いチーム。
- ⑤ ①から④が同数の場合は、敗者数の少ないチームを上位とする。
- ⑥ ①から⑤までが全て同数の場合は代表者戦を行う。ただし、3位以上の順位決定に限り、他は行わない。
- ⑦ 代表者戦は次の通りとする。

ア 成年女子は、監督の抽選により代表年代を決定する。
 ※代表者戦が3チーム以上の場合は、監督が抽選を行い、試合順を決定する。なお、その際の代表者は1試合ごと監督が抽選を行い、代表年代を決定する。

イ 少年男子、少年女子は、監督が任意に代表者を選出する。
 ※代表者戦が3チーム以上の場合は、監督が抽選を行い、試合順を決定する。なお、その際の代表者は1試合ごと任意の選手とする。(同一選手でもよい。)

ウ 代表者戦は時間無制限の1本勝負とする。

5 参加資格

第79回国民スポーツ大会実施要項総則5に定めるもののほか、次による。

- (1) 監督は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認剣道コーチ1、公認剣道コーチ2のいずれかの資格を有する者であること。
- (2) 成年女子の構成年齢について
 - 先鋒：1995年4月2日 ～ 2007年4月1日に生まれた者・・・1名
 - 中堅：1985年4月2日 ～ 1995年4月1日に生まれた者・・・1名
 - 大将：1985年4月1日以前に生まれた者・・・・・・・・・・・・・1名
- (3) 少年男子及び少年女子の構成年齢について
選手は、5名をもって1チームとし、2007年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、中学生以下の参加は認めない。

6 表 彰

各種別の第1位から第3位まで賞状を授与する。

7 参加申込方法

- (1) 所定のWebページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスし、必要項目を入力の上、当該県スポーツ協会を通じて、令和7年8月1日（金）までに申込手続きを完了すること。
- (2) 申込時に少年男子、少年女子は各2名の補欠選手を認める。
- (3) 申込後の選手の交代は、大会総則10（3）による。なお、特別な事情で選手を交代する場合、選手交代届は監督会議開催までとする。

8 参加上の注意

- (1) 紅白の目印（長さ70cm・幅5cm）は各チームで持参のこと。
- (2) 監督の服装は、剣道着、袴とする。

9 熱中症対策について

- (1) 会場の換気と温度管理に留意する。
- (2) 選手控室を設置し、選手等の体調管理を行う。
- (3) 注意喚起の掲示、放送等を行う。

10 そ の 他

(1) 練 習

・日 時	令和7年8月23日（土）	（午前）サブ	9：00～12：00
		（午後）メイン	13：00～17：00
	令和7年8月24日（日）	開始式前メイン	8：00～ 8：30
		開始式前サブ	8：00～ 8：30
		⇒開始式終了後終日開放	

・会 場 佐世保市東部スポーツ広場体育館メインアリーナ及びサブアリーナ

(2) 審判会議

・日 時	令和7年8月23日（土）	16：00～16：50
・会 場	佐世保市東部スポーツ広場体育館サブアリーナ	

(3) 監督会議

- ・日 時 令和7年8月23日(土) 17:00～17:50
- ・会 場 佐世保市東部スポーツ広場体育館サブアリーナ

(4) 竹刀計量・検査

- ・日 時 令和7年8月24日(日) 7:30～8:30
- ・場 所 佐世保市東部スポーツ広場体育館多目的室

(5) 開 始 式

- ・日 時 令和7年8月24日(日) 9:00～9:30
- ・会 場 佐世保市東部スポーツ広場体育館メインアリーナ

(1 5) 銃剣道競技

1 期 日 令和7年8月23日(土)

種 別	8月23日(土)
少年男子	リーグ戦

2 会 場 諫早市

(1) 競技会場 諫早市飯盛体育館 メインアリーナ

(2) 練習会場 諫早市飯盛体育館 サブアリーナ

3 種別及び参加人員

種 別	監 督	選 手	参加県数	合 計	本大会代表数
少年男子	1	3	8	32	2

4 競技上の規程及び方法

(1) 競技上の規程

ア 競技規則は、銃剣道教則、試合審判規則及び細則による。

イ 審判員は、(公社)全日本銃剣道連盟の指定審判員資格を有するB級以上の者とし、
佐賀県1名、宮崎県1名、大分県1名、長崎県1名、鹿児島県1名
福岡県2名、熊本県2名、なお、審判長は九州地区銃剣道協議会が推薦する。

(2) 競技方法

ア 全チームのリーグ戦を行い、順位を決定する。

イ 勝負は3本勝負、試合時間5分、延長2分、勝敗が決定しない場合は、「判定」で勝敗を決定する。

ウ 順位決定は、団体勝数、勝者数、勝本数の順序とし、勝本数同数の場合は代表戦(大将)とし、一本勝負をもって決定する。

5 参加資格

第79回国民スポーツ大会実施要項総則5に定めるものとする。

監督は(公財)日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格(銃剣道コーチ1又は銃剣道コーチ2)の保有者とする。

6 表 彰

第1位から第3位までに賞状を授与する。

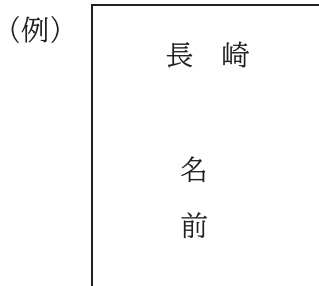
7 参加申込方法

所定のWebページ（国民スポーツ大会参加申込受付窓口）へアクセスし、必要項目を入力の上、長崎県スポーツ協会を通じて、令和7年8月1日（金）までに申込手続きを完了すること。

申し込み後の選手交代は、特別な事情がない限り認めない。なお特別な事情で選手を変更する場合は、総則10（3）により、監督会議の前までに届け出ることとする。

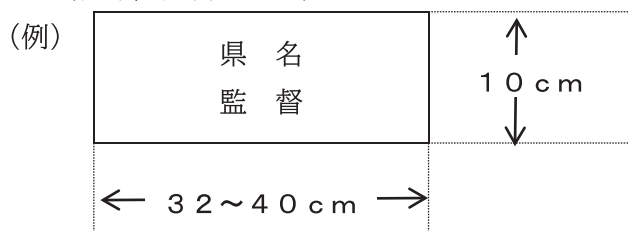
8 参加上の注意

- （1） 各県代表選手は競技に際し、防具の垂中央の一面に黒布を付け、所属県名及び姓を白書し縫着すること。



- （2） 各県の監督は、その責任を明確にするため、次に示す腕章を着装すること。

（白布，黒書とする）



9 その他

（1）審判・監督会議

- ・日 時 令和7年8月22日（金） 15：00～16：00
- ・会 場 諫早市飯盛体育館 会議室
(〒854-1111 諫早市飯盛町平古場266番地)

（2）開始式

- ・日 時 令和7年8月23日（土） 9：30～ 10：00
- ・会 場 諫早市飯盛体育館 会議室
(〒854-1111 諫早市飯盛町平古場266番地)

(1 6) なぎなた競技

1 期 日 令和7年8月24日(日)

種 別	8月24日(日)
少年女子	リーグ戦方式

2 会 場 松浦市

(1) 競技会場 松浦市文化会館 ふれあいホール

(2) 練習会場 8月23日(土) 13:00~17:00
松浦市立武道館

3 種別及び参加人員

種 別	監 督	選 手	参加県数	小 計	合 計	本大会代表数
少年女子	1	3	8	32	32	5

4 競技上の規程及び方法

(1) 競技規程及び審判員

ア (公財)全日本なぎなた連盟競技規定並びに審判規定による。

イ 種別の選手編成は1チーム3名(先鋒・中堅・大将)とする。

ウ 審判員は、九州なぎなた連盟において選出する。

(2) 競技方法

ア 試合はリーグ戦方式とする。

イ 試合時間は3分。勝敗が決しない場合は延長戦を行う。延長時間は2分、延長1回で勝敗が決しない場合は、審判員の判定とする。

ウ 順位決定方法

1) 勝数の多い県

2) 1)で同数の場合は、勝者数の多い県。

3) 2)で同数の場合は、総本数の多い県。

4) 3)で同数の場合は、負数の少ない県。

5) 4)で同数の場合は、負者数の少ない県。

6) 5)で同数の場合は、負本数の少ない県。

7) 6)で同数の場合は、代表決定戦を行い、必ず勝敗を決する。

5 参加資格

(1) 国民スポーツ大会実施要項総則5に定めるもののほか、国民スポーツ大会なぎなた競技実施要項による。ただし、少年女子の種別を対象とする。

(2) 監督は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認なぎなたコーチ1、公認なぎなたコーチ2、公認なぎなたコーチ3、公認なぎなたコーチ4のいずれかの資格を有する者とする。

6 表 彰

第1位から第3位までに賞状を授与する。

7 参加申込方法

- (1) 所定のWebページ(国民スポーツ大会参加申込システム)へアクセスし、必要項目を入力の上、当該県スポーツ協会を通じて、令和7年8月1日(金)までに申し込み手続きを完了すること。
- (2) 申込後の選手の交代は、大会総則10(3)により、疾病、傷病等特別な場合に限り認め、変更申請は監督会議までとする。ただし、変更する選手は県予選会に参加した選手に限り認めるが、試合の構成の変更は認めず、その欠如したところに出場させること。
- (3) 県予選の参加者名簿を申込と同時に主管県連盟へ報告すること。

8 参加上の注意

- (1) 試合選手は、垂れにゼッケン(黒地または紺地)をつける。ゼッケンの上部に白地で県名(横書き)中央に姓(縦書き)を明記する。
- (2) 選手の資格による構成は自由とする。

9 熱中症対策について

- 選手・監督、役員、観客等は、各自飲料を用意し適宜水分補給を行うこと。
- 注意喚起の放送等を行う。

10 その他

(1) 用具検定

- ・日時 令和7年8月23日(土) 15:00 ~ 15:30
- ・会場 松浦市文化会館 ふれあいホールロビー

(2) 監督会議

- ・日時 令和7年8月23日(土) 16:00 ~ 16:50
- ・会場 松浦市文化会館 小ホール

(3) 審判会議

- ・日時 令和7年8月23日(土) 17:00 ~ 17:50
- ・会場 松浦市文化会館 小ホール

(4) 開始式

- ・日時 令和7年8月24日(日) 9:00 ~ 9:20
- ・会場 松浦市文化会館 ふれあいホール

(17) ホッケー競技

1 期 日 令和7年8月29日(金)～9月1日(月)

種 別	8月29日(金)	8月30日(土)	8月31日(日)	9月1日(月)
成年男子	1回戦	準決勝戦	決勝戦	
成年女子	1回戦	準決勝戦	決勝戦	
少年男子		1回戦	準決勝戦	決勝戦
少年女子		1回戦	準決勝戦	決勝戦

2 会 場 佐世保市・川棚町

(1) 競技会場 川棚大崎自然公園交流広場

長崎県立佐世保青少年の天地プレイグラウンド

(2) 練習会場 同上

3 種別及び参加人員

種 別	監 督	選 手	参加県数	小 計	合 計	本大会代表数
成年男子	1	18	8	152	608	1
成年女子	1	18	8	152		1
少年男子	1	18	8	152		1
少年女子	1	18	8	152		1

※成年男女の監督は選手を兼ねることができる。

4 競技上の規程及び方法

(1) 公益社団法人日本ホッケー協会2025年度版ホッケー競技規則、競技運営規程、レギュレーション及び有効な通達事項に則り行われる。

1クォーター	クォーター間	2クォーター	ハーフタイム	3クォーター	クォーター間	4クォーター
15分	2分	15分	10分	15分	2分	15分

(2) クォーター制で実施するが、得点・ペナルティーコーナーのときは時間を止めずノンストップ方式で行う。

(3) 試合方法は、トーナメント方式で優勝を決定し、3位決定戦は行わない。

(4) 上記試合時間内に勝敗が決定しないときは、シュートアウト戦を行い、勝敗を決定する。

(5) 大会TDの判断により、サジェスションアンパイアを配置する場合(試合)もある。

(6) 全種別においてマウスガードの装着を義務付ける。(やむをえない事情により装着できない場合は、別途定める未装着届を大会TDに提出しなければならない。)

5 参加資格、所属県及び選手の年齢基準

第79回国民スポーツ大会参加資格、所属県及び選手の年齢基準によるもののほか次による。

(1) 監督・選手は、公益社団法人日本ホッケー協会に登録していること。

(2) 監督は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認ホッケーコーチ3、公認ホッケーコーチ4のいずれかの資格を有するものとする。

(3) 参加資格に疑義があるときは、公益社団法人日本ホッケー協会及び公益財団法人日本スポーツ協会がこれを調査、審議して決定する。なお、不正が発覚した場合はチームの出場を取り消す。

6 参加申し込み方法

(1) 所定のWebページ(国民スポーツ大会参加申込システム)へアクセスし、必要項目を入力

の上、当該県スポーツ協会を通じて、令和7年8月8日（金）までに申込手続きを完了すること。

- (2) 参加申込み締切り後の監督・選手の変更は、疾病、傷害、その他の事故等、やむをえない場合（TDが証明するものを求める場合がある）のみ認めるものとし、競技開始3日前【令和7年8月26日（火）】午後5時までに必要手続きを完了した書類をもって、下記の[A][B]に届けなければならない。なお、選手の交代者・追加者は、都道府県の予選会に出場した選手（登録したもの）の中から行うこととし、その人員は全種別とも6名以内とする。
- (3) 参加資格に疑義があるときは、公益社団法人日本ホッケー協会及び公益財団法人日本スポーツ協会がこれを調査、審議して決定する。なお、不正が発覚した場合はチームの出場を取り消す。

[A] 令和7年度国民スポーツ大会第45回九州ブロック大会 長崎県実行委員会事務局
〒852-8118 長崎市松山町 2-5 長崎県営野球場内 長崎県実行委員会
TEL：095-845-2083 FAX：095-848-7749
E-mail：kyuburo@nagasaki-sports.com

[B] 令和7年度国民スポーツ大会第45回九州ブロック大会 ホッケー競技事務局
〒859-3614 東彼杵郡川棚町中組郷 1506 川棚町教育委員会内
TEL：0956-82-2064 FAX：0956-82-4371
E-mail：nagasaki.hockey@gmail.com

7 参加上の注意

- (1) 選手のユニフォームは2種類用意し、明確に都道府県名（上着）及び背番号の標識を標示すること。また、都道府県名以外（背番号は除く）の標識の標示は一切認めない。ただし、製造業者のロゴは規程の範囲を超えなければ認める。背番号は1～18番とし、参加申し込み後の背番号の変更は認めない。必ず都道府県名は表示すること。
- (2) 各チームの主将は、キャプテンマークを準備し、試合に必ずつけること。
- (3) 選手交代は、必ずピブス等の受け渡しをして交代すること。
- (4) 炎天下を考慮し、帽子の着用を認める。ただし、「つば」のある帽子（キャップ）は、その「つば」の部分の後頭部の方に移動してかぶらなければならない。
- (5) その他、不適切な行為があったときは、そのチームの出場を停止することがある。

8 組合せ抽選会

- (1) 日 時 令和7年7月29日（火）午後1時頃から
- (2) 会 場 長崎県立川棚高等学校

9 監督・主将会議（代表者会議）

- (1) 日 時 「成年男女」は、令和7年8月28日（木）開始式終了後直ちに実施
「少年男女」は、令和7年8月29日（金）午後5時から
- (2) 会 場 川棚町中央公民館 2階講堂
〒859-3614 東彼杵郡川棚町中組郷 1506
TEL：0956-82-2064

*やむをえない理由で監督や主将が参加できない場合は、必ず大会TDの許可を必要とし、代理者を出席させること。その代理者について、監督は登録した同種別内のコーチ、主将は登録した選手の中からでなければならない。

また、同県内の他の種別の人員は代理者になることはできない。

*ユニフォームを2種類持参すること。（ゴールキーパーはフィールドプレーヤーと色の異なる2種類を持参。ただし上着のみで可。）

10 開始式

- (1) 日 時 令和7年8月28日（木）午後4時から
- (2) 会 場 川棚町中央公民館 2階講堂 *監督・主将のみの参加とする。

1 1 その他

- (1) 行動規範確認書は、監督会議までに大会事務局へ提出すること。また、チーム全員が、行動規範に関する規定について確認・厳守すること。
- (2) 個人情報・肖像権については、適切に取り扱うこと。
- (3) ホッケー競技からスポハラを無くします。『NO！スポハラ』
- (4) 熱中症予防のため、当日のグラウンド状況やWBGT値を参考に、インターバルを延長することがある。

(1 8) バレーボール競技 (6 人制)

1 期 日 令和7年8月30日(土)・31日(日)

種 別	8月30日(土)	8月31日(日)
成年男子	トーナメント1回戦・準決勝	決勝戦
成年女子		
少年男子	グループ戦	グループ戦・代表決定戦
少年女子		

2 会 場 諫早市・島原市

種 別	8月30日(土)	8月31日(日)	練習会場[8月29日(金)]
成年男子	諫早市小野体育館		諫早市森山スポーツ交流館
成年女子	諫早市中央体育館		諫早市飯盛体育館
少年男子	島原復興アリーナ		長崎県立島原工業高等学校
少年女子	島原復興アリーナ		長崎県立島原農業高等学校

3 種別及び参加人員

種 別	監 督	選 手	参加県数	小 計	合 計	本大会代表数
成年男子	1	14	8	120	448	1
成年女子	1	14	8	120		1
少年男子	1	12	8	104		4
少年女子	1	12	8	104		4

4 競技上の規程及び方法

(1) 競技規則

2025年度公益財団法人日本バレーボール協会6人制競技規則による。

注1) 全種別とも全試合3セット・マッチとする。

注2) 少年のネットの高さは、成年と同規定とする。

(2) 競技方法

成年種別はトーナメント方式により代表を決定する。

少年種別はグループ戦の後、代表決定戦を行う。

(3) チーム名

チーム名は県名とする。ユニフォームのチーム名も県名とし、高等学校名などのユニフォームの着用を認めない。また、チーム名(ユニフォームへの記載を含む)を「〇〇選抜」としないこと。

5 参加資格

第79回国民スポーツ大会実施要項総則5に定めるもののほか、次による。

(1) 公益財団法人日本バレーボール協会登録規程により、登録された者で構成されたチームで予選会に出場し、その結果推薦されたものでなければならない。

(2) 監督・選手は6人制種目とビーチバレーボール種目、両方に参加できる。なお、同一種目で異なる種別に参加することはできない。

(3) ブロック大会及び本大会に参加するチームは、都道府県協会が代表として認めた単独チームか選抜

チームでなければならない。ただし、チームの構成のいかんにかかわらず、チーム名は都道府県名とする。

注) チーム名(ユニフォームへの記載を含む)を「〇〇選抜」としないこと。

(4) 予選会を通過し本大会に代表として推薦された監督・選手の追加・変更(競技者番号の変更含む)は認められない。

(5) 監督は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認バレーボールコーチ1、公認バレーボールコーチ2、公認バレーボールコーチ3、公認バレーボールコーチ4の有資格者とする。

注) 参加申込みの際は、資格を証明する登録証の写しを添付すること。

6 表彰

各種別の代表権獲得県には、国スポ九州ブロック予選会通過賞状を授与する。

7 参加申込方法

(1) 参加申込は、所定のWebページ(国民スポーツ大会参加システム)へアクセスし、必要項目を記入の上、当該県スポーツ協会を通じて、令和7年8月8日(金)までに申込み手続きを完了すること。

(2) 参加チームは、公益財団法人日本バレーボール協会登録システムにより出力した「チーム加入選手一覧」に所属県協会長の押印(朱印)したものを同封すること。なお、監督については、資格を証明する登録証または認定証の写しを添付すること。

「ふるさと選手制度」を活用して参加するものにあつては、別に定める様式により所属県スポーツ協会会長宛に提出した書類の写しに所属県協会会長の押印(朱印)したものを同封する。

(3) 参加申込み締切り後の監督・選手の変更は、疾病・傷害・妊娠など、また、公益財団法人日本バレーボール協会が認めた日本代表選手に該当する場合など特別な場合に限り認めるものとし、疾病・傷害・妊娠に該当する場合は診断書を添付する。その届出は代表者会議までとする。

8 参加上の注意

(1) 監督章は、公益財団法人日本バレーボール協会規定のものを用いること。

(2) 監督は、資格を有する登録証又は認定ができる書類の写しを携帯すること。

9 熱中症対策について

体育館内にエアコンが入るが、場合によっては給水の為のタイムアウトを設けることもある。

その場合は、代表者会議にて事前に説明を行う。

10 その他

(1) 審判研修会議 場所 諫早市中央体育館

・日時 令和7年8月29日(金) 13:30~

(2) 委員長会議 場所 諫早市中央体育館 会議室

・日時 令和7年8月29日(金) 12:00~

(3) 代表者会議(成年男女: 場所 諫早市中央体育館・少年男女: 場所 島原復興サブアリーナ)

・日時 令和7年8月29日(金) 17:00~

(4) 表彰式

・日時 令和7年8月31日(日) 競技終了後

・場所 各会場にて実施する

(1 9) バスケットボール競技

1 期 日 令和7年8月30日(土)・31日(日)

種 別	8月30日(土)	8月31日(日)
成年男子	予選リーグ	決勝リーグ
成年女子		
少年男子		
少年女子		

2 会 場 長崎市・大村市

(1) 競技会場

- ・成年男子 シーハットおおむら(大村市体育文化センター)
- ・成年女子 シーハットおおむら
- ・少年男子 長崎県立総合体育館
- ・少年女子 長崎県立総合体育館

(2) 練習会場

- ・長崎県立総合体育館、シーハットおおむら

3 種別及び参加人員

種 別	監 督	選 手	参加県数	小 計	合 計	本大会代表数
成年男子	1	1 1	8	9 6	4 0 8	2
成年女子	1	1 2	8	1 0 4		2
少年男子	1	1 2	8	1 0 4		4
少年女子	1	1 2	8	1 0 4		4

※成年男女において選手と監督は兼任できる。

4 競技上の規程及び方法

(1) 競技規程

- ア 競技規則は、現行の公益財団法人日本バスケットボール協会競技規則による。
- イ 参加チームは、濃淡の2色のユニフォームを用意しなければならない。
- ウ ユニフォームの前面にユニフォームの色と異なり、明確に識別できる単色の文字で県名を付けなければならない。(漢字でなくても良い)
- エ ユニフォームの番号は、0、00及び1から99までとする。
- オ ユニフォームは、会社名、クラブ名、学校名は必ず完全に見えないように被覆のこと。また、大会参加時に着用するトレーニングウェア(上下)においても同様とする。
- カ その他、現行の公益財団法人日本バスケットボール協会ユニフォーム規定による。

(2) 競技方法

ア【成年男子・成年女子】

8県を3パートに分け、予選リーグをし、パート1位により決勝リーグ戦を行う。
各種別の1位、2位が本大会代表権を得る。

【少年男子・少年女子】

8県を3パートに分け、予選リーグをし、パート1位によるリーグ戦及びパート2位によるリーグ戦を行う。
パート1位リーグ戦出場チーム及びパート2位リーグ戦の1位チームが出場権を得る。

イ 試合時間は、全種目とも下表のとおりとする。

前 半			休 憩	後 半		
第1クォーター	休憩	第2クォーター		第3クォーター	休憩	第4クォーター
10分	2分	10分	10分	10分	2分	10分

ウ 前試合が遅れた場合は、10分間のインターバルをとる。

5 参加資格

国民スポーツ大会総則5に定めるもののほか、次による。

- (1) 全種別の監督は、公益財団法人日本バスケットボール協会公認コーチライセンスに基づくJBA公認S級コーチ、JBA公認A級コーチ（日本スポーツ協会公認コーチ4）、JBA公認B級コーチ（日本スポーツ協会公認コーチ3）、JBA公認C級コーチ（日本スポーツ協会公認コーチ2／日本スポーツ協会公認コーチ1）のいずれかの資格を有する者であること。

※コーチ登録証の携帯について

ベンチで指揮を執る者は、試合前、TOにてサインをする際、必ずコーチ登録証を提示すること。また、試合中は、コーチ登録証を公益財団法人日本バスケットボール協会指定のネックストラップを使用し、首から下げておくこと。

- (2) 選手は公益財団法人日本バスケットボール協会に登録された競技者とする。
- (3) 第79回国民スポーツ大会予選会と各ブロック大会及び都道府県内の別途選手権大会を兼ねる大会を実施する場合、第79回国民スポーツ大会実施要項に抵触する選手及びチームは第79回国民スポーツ大会予選会出場とはみなさない。
- (4) 外国籍競技者の参加

成年男子、成年女子、少年男子、少年女子種別について、総則5(1)アに定める日本国籍を有しない者の参加については、以下のとおりとする。

総則5(1)ア(ア)を除いた、(イ)(ウ)に規定される選手については

ア 成年男子、成年女子

(ア) 成年種別の選手の参加は1名までとする。

(イ) 早生まれを除く高校2年生及び高校3年生の選手を参加させることができる。

イ 少年男子、少年女子

(ア) 少年種別の選手の参加は2名までとし、オンコートは1名までとする。

(イ) 総則5(1)ア(ア)(イ)に定める早生まれの高校2年生および高校1年生、中学3年生の選手を参加させることができる。

- (5) その他

なお、競技上の規程及び方法、参加資格、年齢基準等の詳細は本年度、滋賀県で開催される国民スポーツ大会に準ずる。

6 表 彰

各種別の第1位から第3位までに賞状を授与する。

7 参加申込方法

- (1) 所定のWebページ(国民スポーツ大会参加申込システム)へアクセスし、必要項目を入力の上、当該県スポーツ協会を通じて、令和7年8月8日(金)までに申込手続きを完了すること。
- (2) 申込後の選手の変更は、原則として認めない。ただし、疾病、傷害等特別な事情により選手を変更する場合は、大会総則10(3)の手続きにより、診断書を送付して届け出ることとする。
- なお、8月28日(木)17:00までに長崎県実行委員会および長崎県バスケットボール協会にメールにて提出すること。

- (3) 各都道府県バスケットボール協会は、ブロック大会参加申込み時に全種別について、各種別24名まで選手（予備登録選手を含む）を登録すること。
本大会参加申込み時の選手（予備登録選手を含む）については、ブロック大会参加申込み時からの追加が認められない。
ブロック大会において予備登録選手と変更された選手は、本大会の参加にあたり予備登録選手と同じ扱いとなる。

8 熱中症対策について

- (1) 試合中、長崎県立総合体育館、シーハットおおむら会場内はエアコン（冷房）を使用する。
(2) 熱中症予防に関するポスター掲示及び館内放送による注意喚起を行う。

9 その他

- (1) 代表者会議
開催しない
- (2) 審判会議
・日 時 令和7年8月29日（金） 18:00～18:30
・会 場 各会場（審判控室）
- (3) 閉会式
開催しない

10 代表権の取り扱いについて

- (1) 悪天候による試合中止時における代表権の取り扱いについて
九州バスケットボール協会で協議し、決定する。
- (2) 悪天候による試合日程の短縮案、代表権の決定権の決定方法について
九州バスケットボール協会で協議し、決定する。

(20) 卓球競技

1 期 日 令和7年8月30日(土)・8月31日(日)

種 別	8月30日(土)	8月31日(日)
成年女子	リーグ戦	リーグ戦
少年男子		
少年女子		

2 会 場 佐世保市

(1) 競技会場 佐世保市体育文化館 大体育室

(2) 練習会場 佐世保市体育文化館 小体育室

3 種別及び参加人員

種 別	監 督	選 手	参加県数	小 計	合 計	本大会代表数
成年女子	1	3	8	32	96	3
少年男子	1	3	8	32		2
少年女子	1	3	8	32		5

※ 成年男子及び成年女子の監督は、選手を兼ねることができる。

4 競技上の規程及び方法

(1) 競技上の規程

ア 競技規則は現行の日本卓球ルールによる。

イ 使用球は、公益財団法人日本卓球協会公認プラスチック球40mm(白球)とする。

(2) 競技方法

ア 各種別とも、8県総当りのリーグ戦を行い、順位を決定する。

イ 各種別ともに3名の選手からなる。世界選手権方式(5シングルスで試合を行う。)ただし、外国籍の選手はC又はZのみの出場とする。

ABCチームは、1、A 2、B 3、C 4、A 5、B

XYZチームは、1、X 2、Y 3、Z 4、Y 5、X とする。

5 参加資格

第79回国民スポーツ大会実施要項総則5に定めるもののほか、次による。

(1) 少年種別に参加できる選手は、2010年4月2日から2011年4月1日までの間に生まれた中学3年生を含むものとする。

(2) 監督は、公益財団法人日本卓球協会が認定する公認審判員以上の審判員資格を有する者で、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認卓球コーチ2、公認卓球コーチ3、公認卓球コーチ4のいずれかの資格を有する者であること。

6 表 彰

各種別の第1位から第3位までに賞状を授与する。

7 参加申込方法

- (1) 所定のWebページ(国民スポーツ大会参加申込システム)へアクセスし、必要項目を入力の上、当該県スポーツ協会を通じて、令和7年8月8日(金)までに申込手続きを完了すること。
- (2) 申込後の選手の変更は、大会総則10(3)により、監督会議までとし、予備登録者であることを原則とする。

8 参加上の注意

各県の選手団は、競技に際し、ユニフォームに公益財団法人日本卓球協会指定のゼッケンをつけなければならない。(各県名のゼッケン)

9 熱中症予防対策について

各自、適宜水分補給を心がけること。

10 そ の 他

(1) 監督会議

- ・日 時 令和7年8月29日(金) 16:00~17:00
- ・会 場 佐世保市体育文化館 会議室

(2) 開 始 式

- ・日 時 令和7年8月29日(金) 17:00~18:00
- ・会 場 佐世保市体育文化館 大体育室

(2 1) ラグビーフットボール競技

1 期 日 令和7年8月29日(金)～31日(日)(3日間)

種 別	8月29日(金)	8月30日(土)	8月31日(日)
成年男子	予選プール	—	パート決 勝
女 子	予選プール	—	パート決 勝
少年男子	1 回 戦	—	パート決 勝

2 会 場 長崎市

(1) 競技会場

- ・成年男子：ベネックス総合運動公園かきどまり運動広場(芝)
(長崎市総合運動公園かきどまり運動広場(芝))
- ・女 子：ベネックス総合運動公園かきどまり陸上競技場
(長崎市総合運動公園かきどまり陸上競技場)
- ・少年男子：ベネックス総合運動公園かきどまり陸上競技場・運動広場(芝)

(2) 練習会場

- ・成年男子：長崎市営ラグビー・サッカー場
- ・女 子：ベネックス総合運動公園かきどまり運動広場(芝)
- ・少年男子：ベネックス総合運動公園かきどまり補助競技場
(長崎市総合運動公園かきどまり補助競技場)

3 種別及び参加人員

種 別	監 督	選 手	参加県数	小 計	合 計	本大会代表数
成年男子	1	10	8	88	368	2
女 子	1	10	8	88		2
少年男子	1	23	8	192		2

(注) 成年男子については、監督が男子の場合、選手を兼ねることができる。

女子については、監督が女子の場合は、選手を兼ねることができる。

4 競技上の規程及び方法

(1) 2025年度版 World Rugby 競技規則及び国民スポーツ大会競技規則にて実施する。

(2) 試合時間は、下記のとおりとする。

種 別		前 半	休 憩	後 半	備 考
成年男子	7人制	7分	2分以内	7分	パート決勝で同点の場合、下部(3)②のa)～c)でも決定しない場合は延長戦実施
女 子	7人制	7分	2分以内	7分	パート決勝で同点の場合、下部(3)②のa)～c)でも決定しない場合は延長戦実施
少年男子	15人制	25分	10分以内	25分	なし

(3) 成年男子の試合形式

- ・抽選により第1日目はAプール（4チーム）、Bプール（4チーム）に分け、各プールごとのリンクリーグ戦（各チーム2試合）を行う。
- ・第2日目は予選プールの成績結果により、各パート4チームによるパート決勝トーナメント方式とし、パート優勝した県に代表権を与える。

① 予選プール

予選プールにおける順位の決定は、各プール全試合の勝ち点の合計により決定する。各試合の勝ち点は、勝ち3点、引き分け2点、負け1点、棄権0点とする。
なお、予選プール終了時点で、勝ち点と同じ場合は、下記の順序に従い順位を決める。

- a) 予選プールでの、当該チーム間で勝利したチームを上位とする。
- b) 予選プール全試合の得点数と被得点数の差が最も大きいチームを上位とする。
- c) 予選プール全試合のトライ数と被トライ数の差が最も大きいチームを上位とする。
- d) 予選プール全試合で得点数が最も多かったチームを上位とする。
- e) 予選プール全試合でトライ数が最も多かったチームを上位とする。
- f) 上記基準を用いてもなお順位が付けられない場合は、抽選によって順位を決める。

② 決勝トーナメント

パート決勝トーナメント戦において、規定時間内に同点のため次の試合への出場チームが決まらない場合、次の方法で決める。

- a) トライ数の多いチーム。
- b) トライ数も同じ場合は、ペナルティートライ数の多いチーム。
- c) トライ数もペナルティートライ数も同じ場合は、トライ後のゴール数の多いチーム。
- d) 上記の方法で決定できないときは、抽選によって次回への出場チームを決める。

ただし決勝戦のみ、前後半終了時点で同点かつ、上記②、a)、b)、c)で決定できない場合は延長戦により勝敗を決定する。延長戦は、改めてトスを行いキックオフとサイドを決め、試合終了後の1分後に始まり、3分間の前後半を行いハーフタイムはとらない。どちらかのチームが得点（ドロップゴール、ペナルティーゴール、またはトライ）をした時点で終了する。なお、3分間の前後半を終えても順位が付けられない場合は、抽選により代表を決定する。

(4) 女子の試合形式

「(3) 成年男子の試合形式」に準ずる。

(5) 少年男子の試合形式

4チームによるパートトーナメント方式とし、パート優勝した県に代表権を与える。

パートトーナメントにおいて、規定時間内に、同点のため次の試合への出場チームが決まらない場合及び順位を決めなければならない場合、次の方法で決める。

- a) 総トライ数の多いチームを上位とする。
- b) 総トライ数も同じ場合は、ペナルティートライ数の多いチームを上位とする。
- c) 総トライ数も総ペナルティートライ数も同数の場合は、トライ後のゴール数の多いチームを上位とする。
- d) 上記の方法で決定できない時は、抽選によって次回への出場または順位を決める。

(6) 雷における「中断」「再開」「勝敗」について。

試合中に落雷（雷鳴・雷光）が発生した場合、直ちに試合を中断させる。中断ならびに再開の判断は競技担当責任者を中心に、気象庁から発表される気象警報を確認し、大会関係者と協議し決定する。再開の判断は概ね30分後を目途とする。チームのウォーミングアップ時間を十分に配慮した上で、試合再開時刻を決定する。試合が中断し再開できないと判断した場合、以下の方法で勝者を決定する。

■成年・女子（7人制）：予選プール戦

- 1) 中断時で前半が終了している場合は、試合は成立し、その得点を有効とする。
- 2) 後半途中で中断した場合は、試合は成立し、中断時の得点を有効とする。
- 3) 中断時に前半が終了していない場合は抽選とする。
- 4) 再度中断した場合は3)を適用する。

■少年（15人制）、成年・女子（7人制）、パートトーナメント戦

- 1) 中断時で前半が終了している場合は、試合は成立する。
- 2) 後半途中で中断した場合は、試合は成立する。
- 3) 中断時に前半が終了していない場合は抽選とする。
- 4) 再度中断した場合は3)を適用する。

5 参加資格

第79回国民スポーツ大会実施要項総則5に定めるもののほか、次による。

(1) 少年男子

高等学校在籍中の生徒は、所属長（居住地を示す現住所によるもののほかは都道府県ラグビーフットボール協会長）が人物、身体、学業など適当と認めたものとする。

(2) 女子

高校1年生を含む2010年4月1日以前に生まれた者。

高等学校在学中の生徒は、所属長（居住地を示す現住所によるもののほかは都道府県ラグビーフットボール協会長）が、人物、身体、学業など適当と認めたものとする。

(3) 監督

チームの監督は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認ラグビーフットボールコーチ3（公益財団法人日本ラグビーフットボール協会強化コーチ）、公認ラグビーフットボールコーチ4のいずれかの資格を有する者とする。

(4) その他

公益財団法人日本スポーツ協会規定及び公益財団法人日本ラグビーフットボール協会選手、役員規定に違反する者は参加できない。

6 表彰

各種別において、パート優勝し代表権を得たチームにそれぞれ賞状を授与する。

7 参加申込方法

- (1) 各県ラグビーフットボール協会は、基礎となる選手（予備登録選手を含む）成年男子及び女子35名以内、少年男子50名以内を所定のWebページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスし、当該ブロック国スポ参加申込期限、令和7年8月8日（金）迄に申し込む。
- (2) 参加申込締切り後の選手変更は、疾病、傷害等及び特別な場合は認める。又、監督変更は5（3）の条件を満たしていることとする。なお、選手・監督とも代表者会議の決定をもって最終とする。

※提出期限：令和7年8月28日（木）（開始式の受付前に提出すること。）

8 参加上の注意

(1) 予選結果の報告

大会を主管した県協会は、その状況を所定の様式により、試合終了後直ちに九州ラグビーフットボール協会に報告すること。

- (2) 本大会におけるアシスタントレフリー・サブコントローラー（選手入替・交代管理者）は大会

本部で配置する。セーフティーアシスタントは、各チームにて行うこと。準備できない場合は、大会本部にて行う。

- (3) 少年男子は、必ずマウスガード、歯を保護するもの及びヘッドギア（WRのマークがついたもの）着用を義務とすること。
- (4) 女子は、必ずマウスガード、歯を保護するものの着用を義務とすること。また、19歳未満の選手には、ヘッドギア（WRのマークがついたもの）着用も義務とすること。なお、競技規則はワールドラグビー制定の『2025年度競技規則』及び『2025年度7人制競技規則』を適用するが、安全面を考慮し、スクイズボールや危険とみなされたプレーにおいてはレフリーの判断で止める場合がある。
- (5) 競技中及びその前後に使用するユニフォーム類の胸には、必ず所属県名を明示すること。
- (6) 成年男子・女子・少年男子の試合球は、次のとおりとする。
 - ア 成年男子・女子 ギルバート GB-9142 クオンタム・セブンズ 5号球
 - イ 少年男子 セプター SP-13A WM-II 5号球

9 熱中症対策について

（競技運営上の対策）

- 試合中にウォーターブレイクを取る
- 熱中症対策のため、13:00～15:00の間は試合を行わない。
（会場運営上の対策の参考例）
- 避暑用テントを設置し、選手等の体調管理を行う。
- 役員等に対する飲料提供を行う。
- 注意喚起の掲示、放送等を行う。

10 その他

（1）開始式

- ・日 時 令和7年8月28日（木） 17:00～17:20
- ・会 場 長崎県立総合体育館 大研修室
- ・参加人員 成年男子、女子については各チーム選手3名、少年男子については各チーム5名参加。参加選手はユニフォーム着用のこと。

（2）代表者会議

- ・日 時 令和7年8月28日（木） 17:30～18:30
- ・会 場 長崎県立総合体育館 中研修室

（3）練習会場調整

使用希望のチームは、令和7年8月15日（金）までにご連絡下さい。

（担 当） 長崎県ラグビーフットボール協会 理事長 松本 浩

（連絡先） 携帯 090-1194-3170

メールアドレス hmatsumoto0502@hotmail.com

（4）表彰式

- ・日 時 令和7年8月31日（日）成年男子・女子・少年男子のパート決勝終了後
- ・会 場 ベネックス総合運動公園かきどまり陸上競技場（女子・少年男子）
ベネックス総合運動公園かきどまり運動広場（芝）（成年男子・少年男子）

競技別実施要項

冬 季 大 会

(1) アイスホッケー競技

1 期 日 令和7年12月6日(土)・7日(日)

種 別	12月6日(土)	12月7日(日)
成年男子	リンク戦①	リンク戦②
少年男子	第1回戦	第2回戦

2 会 場 福岡市

(1) 競技会場 福岡県立総合プール スケートリンク

(2) 練習会場 同 上

3 種別及び参加人員

種 別	監 督	選 手	参加県数	小 計	合 計	本大会代表数
成年男子	1	20	8	168	252	4
少年男子	1	20	4	84		1+(1)

※成年男子については監督兼任選手を認める。

※予備登録5名を別に認める。ただし、試合ごとの参加人員は1チーム16名とする。

4 競技上の規程及び方法

(1)(公財)日本アイスホッケー連盟競技規則による。

(2)競技方法

ア 競技はリンク戦として2ブロックに分かれる。前年度1位と2位の県を2ブロックに分け本大会主催県を1位ブロック枠の対角に配置する。他枠は抽選にて決定する。2ブロック総合の勝ち点4位までが本大会代表とする。順位は勝ち点・得失点差・ペナルティ時間差・抽選により決定し、勝ち点は勝利3点・引き分け1点・敗戦0点とする。

イ 少年男子の部において参加県が3県の場合は総当たり方式とし、順位を決定する。

ウ 競技時間は、正味15分の3ピリオド、インターバル5分とする。

5 参加資格、交代

第 80 回国民スポーツ大会冬季大会実施要項総則5に定めるもののほか、次による。

- (1) (公財)日本アイスホッケー連盟の1種、2種、3種に登録されている選手であること。
- (2) 各種別ともエントリーは、監督1名、選手20名以内、予備登録5名以内とする。
- (3) 監督は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認アイスホッケーコーチ1、公認アイスホッケーコーチ3、または公認アイスホッケーコーチ4のいずれかの資格を有すること。
- (4) 選手又は監督の交代届は、所定の様式により監督会議開始前までに提出するものとする。
- (5) 選手の交代は、予備登録選手に限り認める。
- (6) 監督は、特別な事情がある場合、大会期間中の交代を認める。
ただし、交代者は5(3)に掲げる監督要件を有する者に限る。

6 表彰

各種別とも第1位から第3位まで賞状を授与する。

7 参加申し込み方法

- (1) 所定のWebページ(国民スポーツ大会参加申込システム)へアクセスし、必要項目を入力の上、当該県スポーツ協会を通じて、令和7年11月14日(金)までに申込手続きを完了すること。
- (2) 参加申込後の選手変更は、疾病、傷病等特別な事情がない限り認めない。特別な事情で選手を交代(変更)する場合は、予備登録をしている選手から行うこととし、監督会議までに長崎県実行委員会事務局及び長崎県アイスホッケー連盟へ届け出なければならない。

8 参加上の注意

- (1) 監督会議には、必ずユニフォームを持参すること。
- (2) JIHF202条に基づき、参加選手のうち18歳以下のプレイヤー及びゴールキーパーは、フルフェイス・マスク、20歳以下のプレイヤー及びゴールキーパーは、首とどのどのプロテクターを着用、ヘルメットの耳あてを装着しなければならない。

9 その他

- (1) 監督会議
 - ・日 時 令和7年12月5日(金) 18:00～
 - ・会 場 福岡県立総合プール内(競技役員控室※スケートリンクサイド)
- (2) 開 始 式:実施しない
- (3) 閉 会 式:実施しない

令和7年度国民スポーツ大会第45回九州ブロック大会競技団体事務局一覧

No.	競 技 団 体 名		会 長 名	理 事 長 名	事務局担当者名	〒	連 絡 先 住 所	電話/FAX番号
1	長崎県カヌー協会		中山 功	内野 経久	西川 和昭	850-0991	長崎市末石町157-1 県立長崎鶴洋高等学校 西川 和昭様 気付	勤) 095-871-5675 勤) 095-871-5488
2	(一社)長崎県水泳連盟	水球 A S	大場 博文	北村 貴志	松本 敏勝 岳藤 翔	856-0806	大村市富の原2-318 ウォーターメイツスイムクラブ長崎内	0957-56-8861 0957-56-8862
3	長崎県テニス協会		菊田 広	山口 和彦	山口 和彦	850-0802	長崎市伊良林2-17-28 菊田 広様 気付	090-4483-0463 095-821-5509
4	(一財)長崎県バレーボール協会	ビーチ 6人制	白石 幹幸	山口 哲司	平野 智也 森 勇雄	850-0001	長崎市西山4-224-203	090-2505-8406 095-882-9480
5	長崎県馬術連盟		八江 利春	龍田 太朗	草野 賢二	854-0031	諫早市小野島町2232 諫早ゆうゆうランド干拓の里 馬事公園内	090-4342-2021 —
6	長崎県ボウリング連盟		深堀 義昭	久保 和幸	久布白 卓	850-0921	長崎市松ヶ枝町2-35	095-824-2771 095-824-2772
7	長崎県ローイング協会		植田 京子	中島 克彦	名切元 尊秀 植田 京子	851-2130	西彼杵郡長与町まなび野3-20-8 名切元 尊秀様 気付	095-887-3001 勤) 0957-52-6115
8	長崎県体操協会	競技 トランポリン 新体操	野島 進吾	鹿摩 幸政	鹿摩 幸政 岡 和子	854-0082	諫早市西栄田町469-4 鹿摩 幸政様 気付	090-9074-4747 0957-26-7071
9	長崎県ゴルフ協会		山下 新太郎	山下 哲也	村田 聖彦	859-0403	諫早市多良見町市布1656-1 喜々津カントリー倶楽部内	090-8916-4892 095-886-3564
10	長崎県山岳・スポーツクライミング連盟		古川 好幸	前川 文雄	増田 正治	856-0026	大村市池田1-1327-21 増田 正治様 気付	090-8411-1782 0957-20-7203
11	(一社)長崎県空手道連盟		崎村 俊策	山根 高義	太田 彰幸	857-0131	佐世保市大野町260-4 池野ハイツA棟203	0956-76-8300 0956-76-8313
12	長崎県ハンドボール協会		千住 良治	松尾 俊彦	中村 俊一郎	850-0834	長崎市上小島4-18-1 長崎市立小島中学校内 濱口 裕樹様 気付	095-821-9125 095-826-8149
13	長崎県フェンシング協会		坂口 慎一	笹田 健一	濱根 尚和	855-0066	島原市柿の木町3947番地2 ハッピーベル102	080-3960-1985 —
14	長崎県アーチェリー協会		佐藤 了	吉木 慎二	吉木 好香	850-8042	長崎市白鳥町8-23 市民アーチェリー場内	095-844-6456 同上
15	(一社)長崎県サッカー協会		殿村 育生	末吉 成仁	石田 久行	850-0851	長崎市古川町6-35 タナカビル 2F	095-829-3370 095-829-3371
16	長崎県ボクシング連盟		杉本 一成	山口 幸次	山口 幸次	851-0121	長崎市宿町38番地A201	090-8833-8448 095-832-0211
17	長崎県ウエイトリフティング協会		吉田 惣治	梅崎 昭夫	浦川 正也	856-0835	大村市久原1-416 県立大村城南高等学校内 浦川 正也様 気付	勤) 0957-54-3121 勤) 0957-54-8225
18	長崎県ソフトテニス連盟		吉田 昌敬	金子 正剛	山口 美詠子	852-8107	長崎市浜口町3-16 ヴィラ・フィオーレ202号	095-865-9236 同上
19	長崎県軟式野球連盟		八江 利春	森田 昭弘	向坂 亮輔	859-6124	佐世保市江迎町乱橋487-6 向坂 亮輔様 気付	090-4584-1171 —
20	長崎県柔道協会		佐原 恭輔	近藤 辰正	藤田 洋介	851-0133	長崎市矢上町26-23 近藤 辰正様 気付	095-839-9003 同上
21	長崎県ソフトボール協会		尾野 一男	米倉 博	米倉 博	859-3614	東彼杵郡川棚町中組郷1572-2 松井 敏明様 気付	0956-82-5335 0956-82-5533
22	長崎県バドミントン協会		里脇 清隆	大塚 省一	立山 ひかり	851-0241	長崎市茂木町176 立山 ひかり様 気付	090-9574-5480 050-3730-7513
23	長崎県弓道連盟		浦本 薫	松岡 誠二	渡邊 和秋	856-0807	大村市宮小路2-632-1 渡邊 和秋様 気付	0957-55-7455 同上
24	長崎県ライフル射撃協会		渡辺 雄児	伊東 誠	山田 精一郎	851-1132	長崎市小江原5丁目1-10 長崎県小江原射撃場内	095-845-0108 同上
25	(一財)長崎県剣道連盟		灰谷 達明	藤原 昌史	中元 史郎	850-0036	長崎市五島町5-34 トーカンマンション1-E	095-826-5220 同上
26	長崎県銃剣道連盟		住永 正徳	山内 幸男	齋藤 敏之	856-0834	大村市玖島2丁目217-24	090-1973-7978 0957-40-0554
27	長崎県なぎなた連盟		友田 吉泰	金子 由美子	荒木 勝之	848-0403	松浦市福島町塩浜免2944-21 福島診療所内 荒木 勝之様 気付	090-4996-5821 —
28	長崎県ホッケー協会		波戸 勇則	川津 興平	三坂 聡子	859-3614	東彼杵郡川棚町中組郷1506 川棚町教育委員会 野中 浩輝様 気付	090-8395-1091 —
29	(一社)長崎県バスケットボール協会		中尾 善蔵	太田 京子	中尾 哲也	850-0852	長崎市万屋町6-15 サンマネギビル402	095-895-9555 同上
30	長崎県卓球連盟		村 博愛	朝長 靖彦	成富 勝	856-0834	大村市玖島2丁目406-1 朝長 靖彦様 気付	0957-53-6531 同上
31	長崎県ラグビーフットボール協会		衛藤 正雄	松本 浩	海部 清治	852-8121	長崎市三川町944 松本 浩様 気付	095-846-8104 同上
32	長崎県アイスホッケー連盟		—	西村 泰徳	徳久 哲明	852-8047	長崎市若竹町7番14号	090-2717-5074 —
名 称			会 長 名	事 務 局 長 名	事務局担当者名	〒	連 絡 先 住 所	電話/FAX番号
長崎県実行委員会事務局			大石 賢吾	吉田 昌平	坂本 博文	852-8118	長崎市松山町2-5 県営野球場内	095-845-2083 095-848-7749

令和7年度国民スポーツ大会第45回九州ブロック大会 参加監督・選手【 交代(変更)届 ・ 棄権届 】

※いずれかを○印で囲む

1 参加申込監督・選手

競技名		種別		部・種目別	
参加申込監督・選手名					

2 交代(変更)・棄権の理由

--	--	--	--	--	--

3 交代(変更)選手 ※棄権の場合は記入不要

フリガナ			西暦		
氏 名			生年月日	年	月 日 歳
所属区分※1		所属の所在地※2	〒 県		
プログラム掲載用所属					
前々回大会参加 都道府県名	県	前回大会参加 都道府県名	県	例外適用 ※3	
中央競技団体 登録の有無	有 ・ 無	有の場合 番号等			
その他の必要事項 (身長、体重、記録等)					

※1 令和7年度国民スポーツ大会第45回九州ブロック大会所属都道府県について、次のいずれかを選択して参加したか記号で記入する。

成年種別：ア. 居住地を示す現住所 イ. 勤務地 ウ. ふるさと

少年種別：ア. 居住地を示す現住所 イ. 学校教育法第1条に規定する学校の所在地 ウ. 勤務地
エ. 「JOCリトアカデミーに係る選手の参加資格の特例」に定める小学校の所在地

※2 所在地は、市区町村名まで記入する。ふるさとを選択した場合には「卒業学校名」を記入する。

※3 今回と前回大会(不出場の場合は前々回大会)の参加都道府県が異なる場合、次のいずれか該当するものを記入する。[1.新卒業者 2.結婚又は離婚 3.ふるさと(成年) 4.一家転住(少年) 5.JOCリトアカデミー(少年)]

令和 7 年 月 日

ア：長 崎 県 実 行 委 員 会 会 長 殿
イ：長 崎 県 競 技 団 体 会 長 殿

県スポーツ協会

会長

協会・連盟

会長

令和7年度国民スポーツ大会第45回九州ブロック大会 参加監督・選手交代(変更)・棄権手続きにあたっての留意事項

1. 交代(変更)手続き

特別な事情で選手を交代(変更)する場合には次の交代(変更)手続きを行うこと。ただし、交代(変更)を認めるか否かについては、当該九州競技団体及び開催県競技団体の判断による。

- (1) 実施要項総則及び当該競技実施要項を参照し、交代(変更)する選手の参加資格を確認した上で、交代(変更)届に必要な事項を記入し、各競技が定める提出期限までに、各競技が定める提出先あてに提出すること。
- (2) 添付書類(診断書等)については、各競技の定めにより提出すること。
- (3) その他、競技により別に定める事項がある場合はそれに従うこと。

2. 棄権手続き

参加申込締切後から競技初戦までの間において、特別な事情で選手が競技会を棄権する場合には、次の棄権手続きを行うこと。

- (1) 参加申込締切後から各競技の定める交代(変更)届提出締切までの間において棄権が発生した場合には、上記1交代(変更)手続きと同様の手続きにより棄権届を提出すること。
- (2) 各競技が定める交代(変更)届提出締切以降から競技初戦までの間において棄権が発生した場合には、以下の手続きを行うこと。
 - ① 当該監督又は選手は、所属県の連絡責任者へ連絡すること。連絡を受けた連絡責任者は棄権届に必要な事項を記入し、開催県実行委員会事務局宛に提出すること。
 - ② その他、競技により別に定める事項がある場合はそれに従うこと。

※ 各県選手団連絡責任者は、長崎県実行委員会事務局が大会開催前に各県スポーツ協会に対し照会を行い、取りまとめのうえ開催県競技団体に通知する。

長崎県開催地一覧

前期競技 令和7年5月18日(日)～7月27日(日)

後期競技 令和7年8月16日(土)～9月1日(月)

冬季大会 令和7年12月6日(土)～12月7日(日)

..... 県外で開催の競技

鹿児島県湧水町
大分県豊後高田市
福岡県福岡市



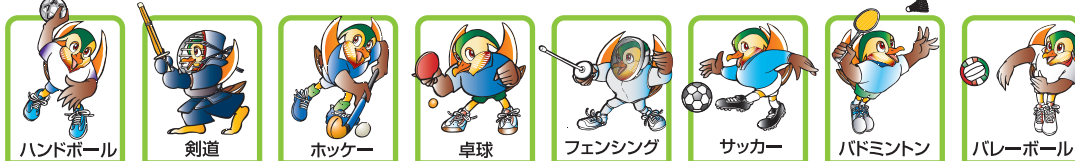
長崎市



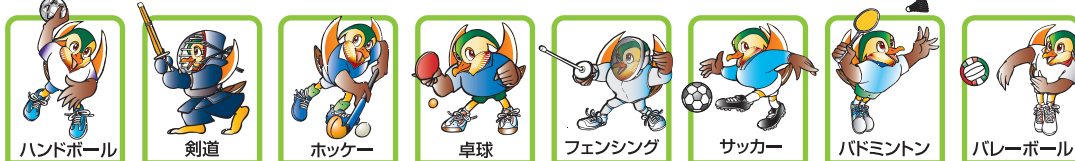
諫早市



佐世保市



島原市



雲仙市



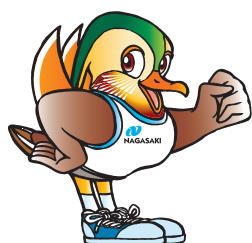
東彼杵町



松浦市



川棚町



鹿児島県



大分県



福岡県

